

安政七年
 咸臨丸洋行日録零卷

自裁挿入部分終了

寫本

洋学文庫
 文庫8
 C 426





晴
侯
氏
曰
藏
書

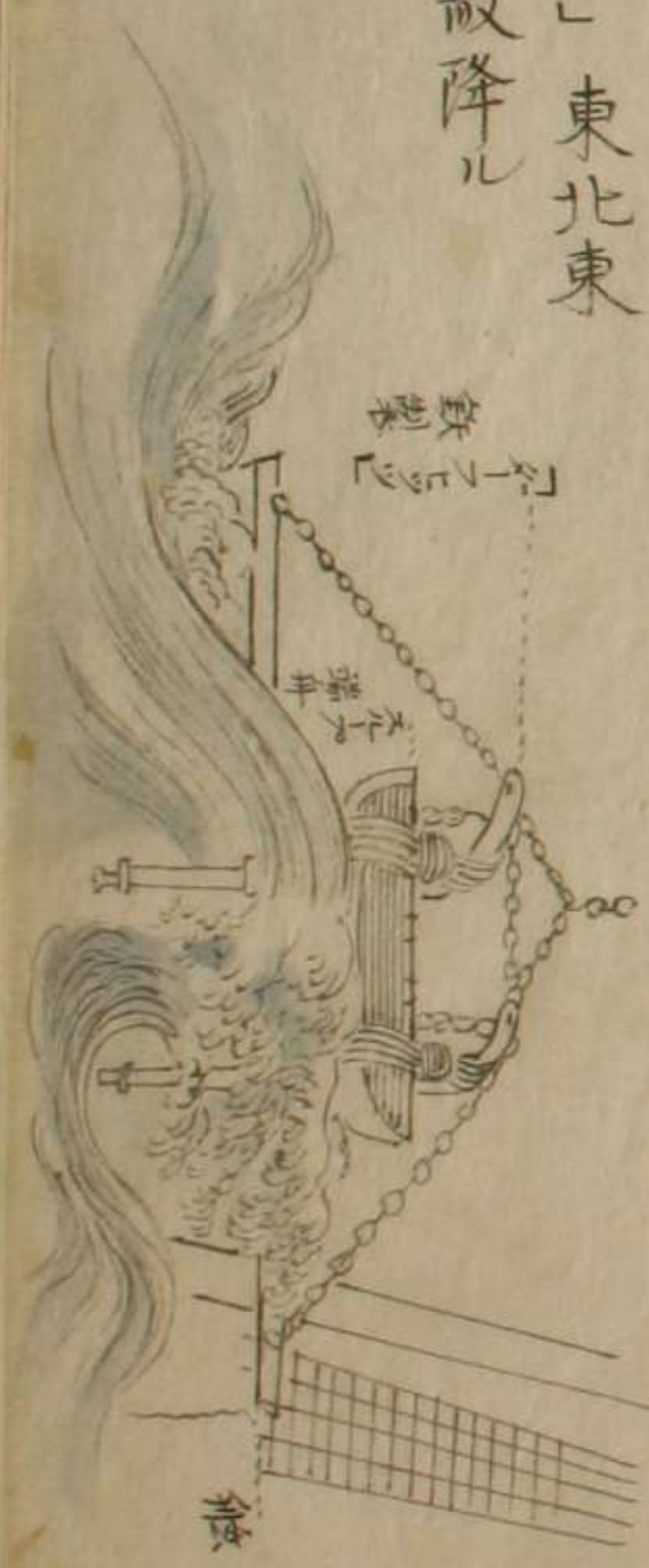


以下
4 丁
白紙

一今夜風強折々雪降ル

正月廿三日

一浦賀港出帆以來古向波立亦續キ是々為メニ「スチエールボウル」ノ「スループ」
 「カースヒツ」損折レハニ付「スループ」ヲ「デッキ上」ニ取入ル
 「カース」東北東
 一雨霰降ル



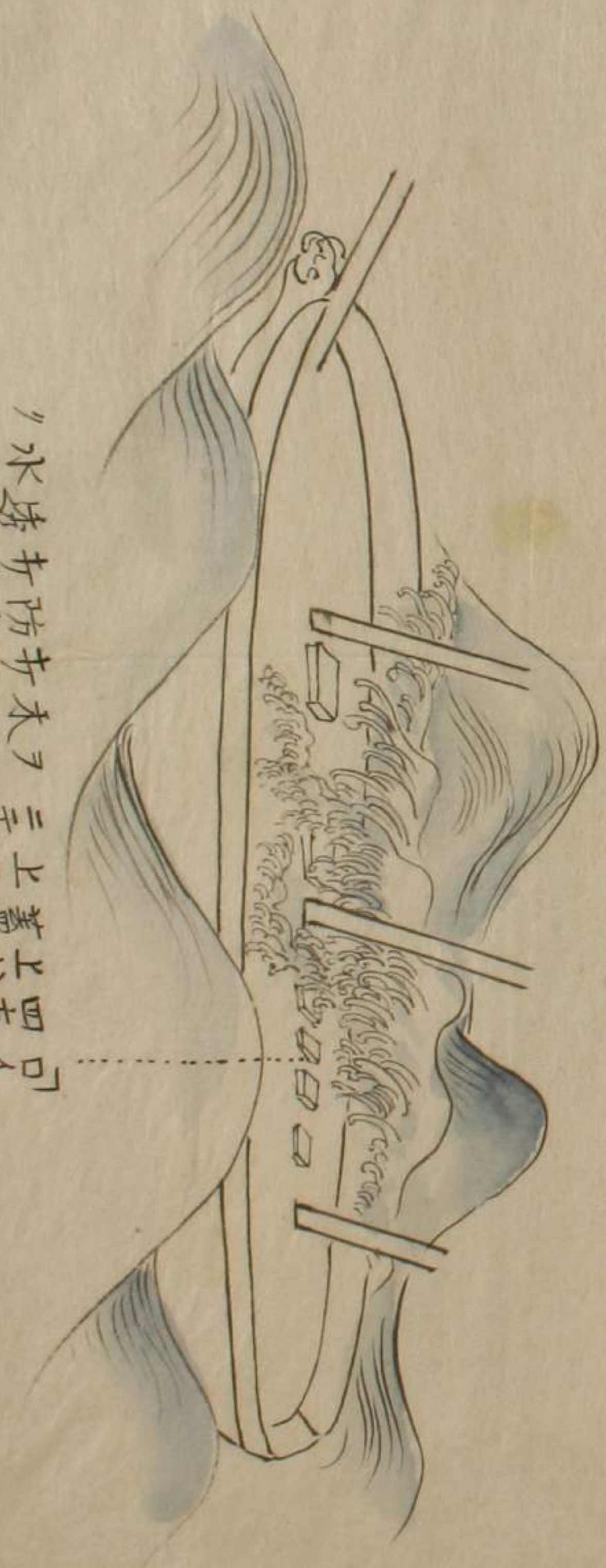
一風弱
一可^レフ
七里 四里 二里 二里半 三里 五里

船行 北緯三十七度十四分三十五秒
東徑百四十八度三十八分
抄六
七十二里

正月廿四日

一朝霞^レ降ル 八時過ヨリ日出ル
一風 北北西 宜適ハルフルウ^レ井^レド

可いとはハ
 四方三硝子ヲ強
 上六層キ板ヲ
 蓋ヲ覆ヒ具
 上ヨリ帆木綿
 ニテ制衣ヲ袋
 フカセ四方
 木ヲ当テ釘ヲ
 付付テ水入ヲ
 防ギ越高波ヲ
 舟ノ最ハ具
 透空ヨリ船内ニ
 水入ルナリ如

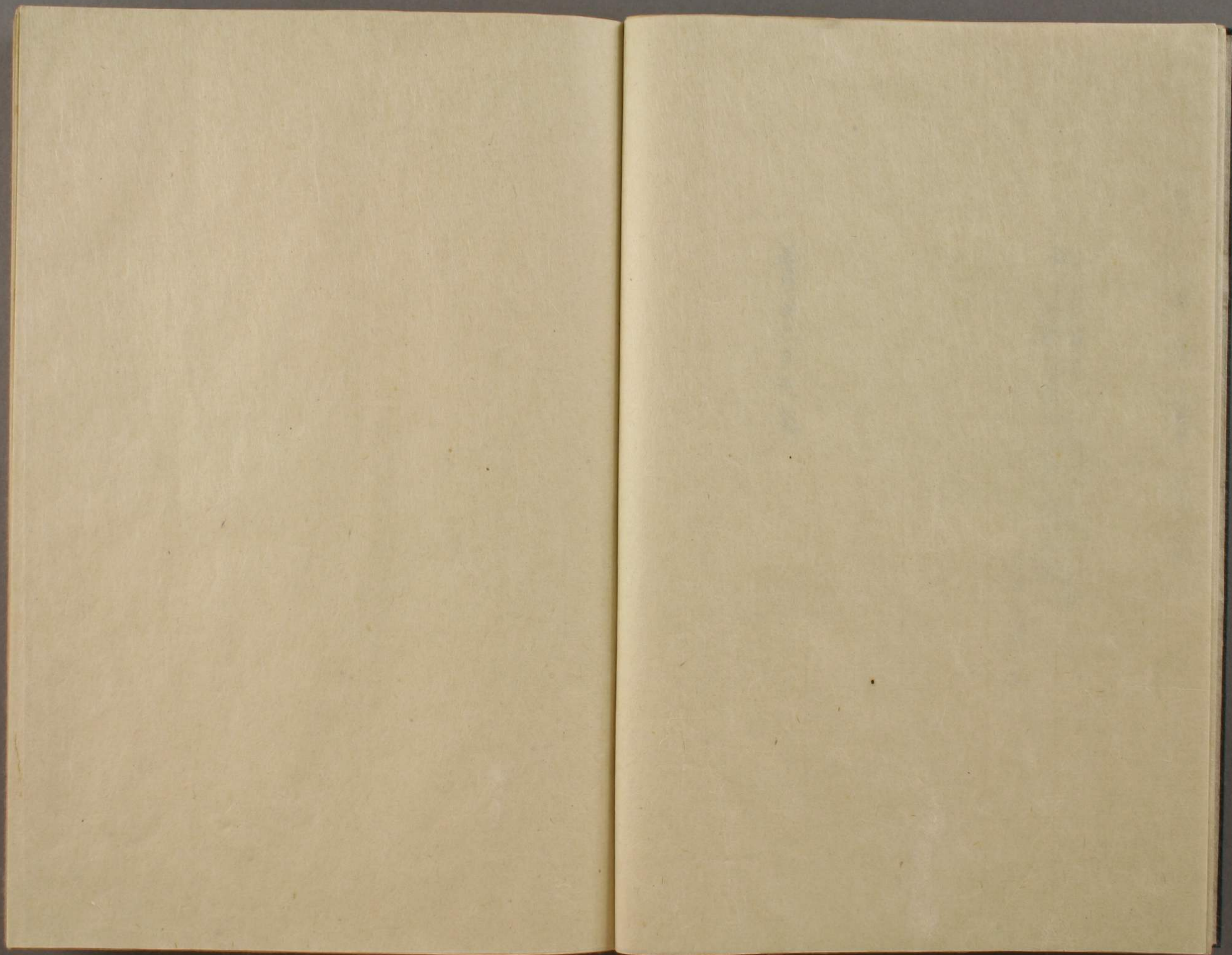


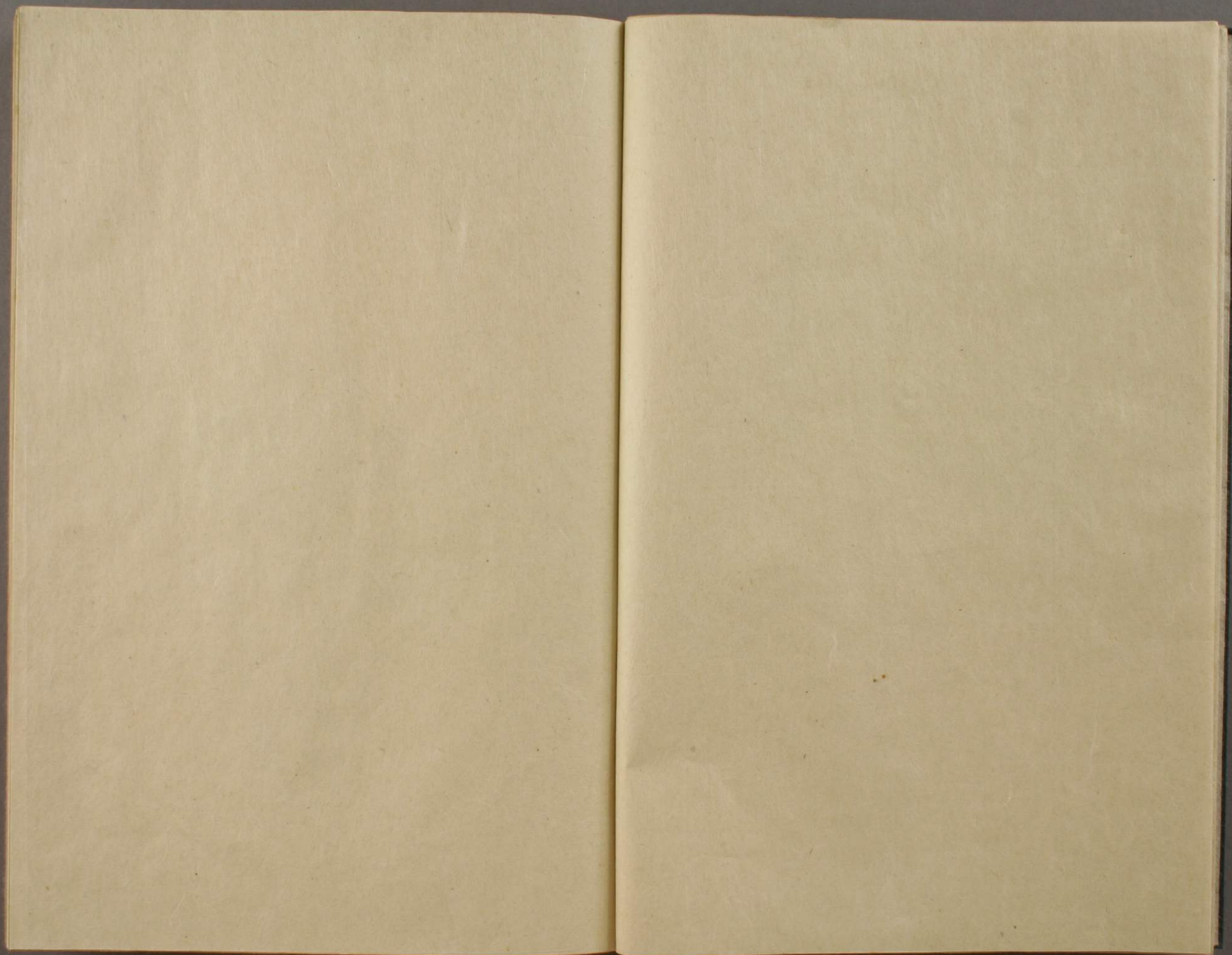
一口
六里
九里
二里半
五里
二里

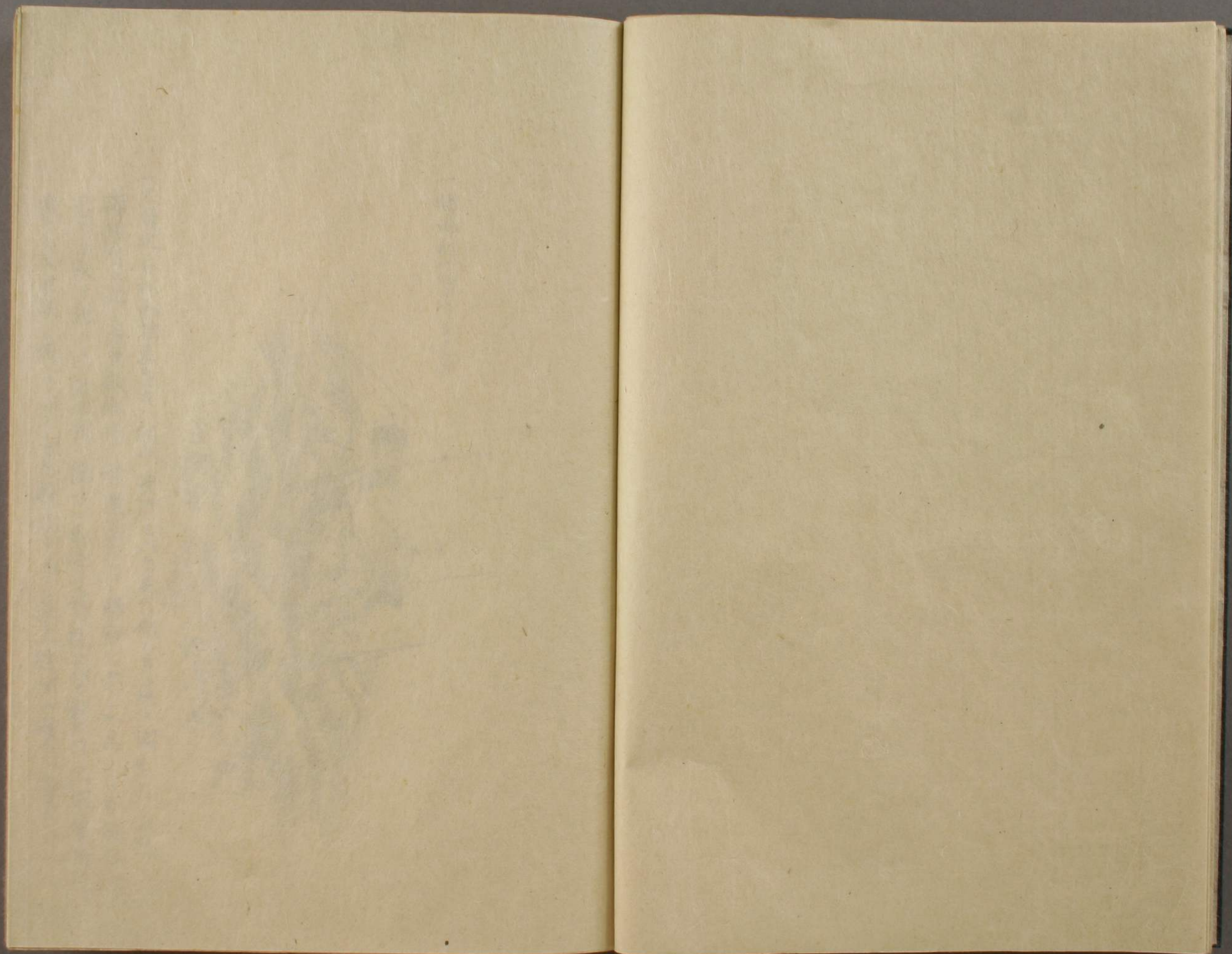
船行
北緯三十六度二十三分二十五秒
東徑百五十四度五十四分〇秒

六十六里二五

正月廿六日天氣





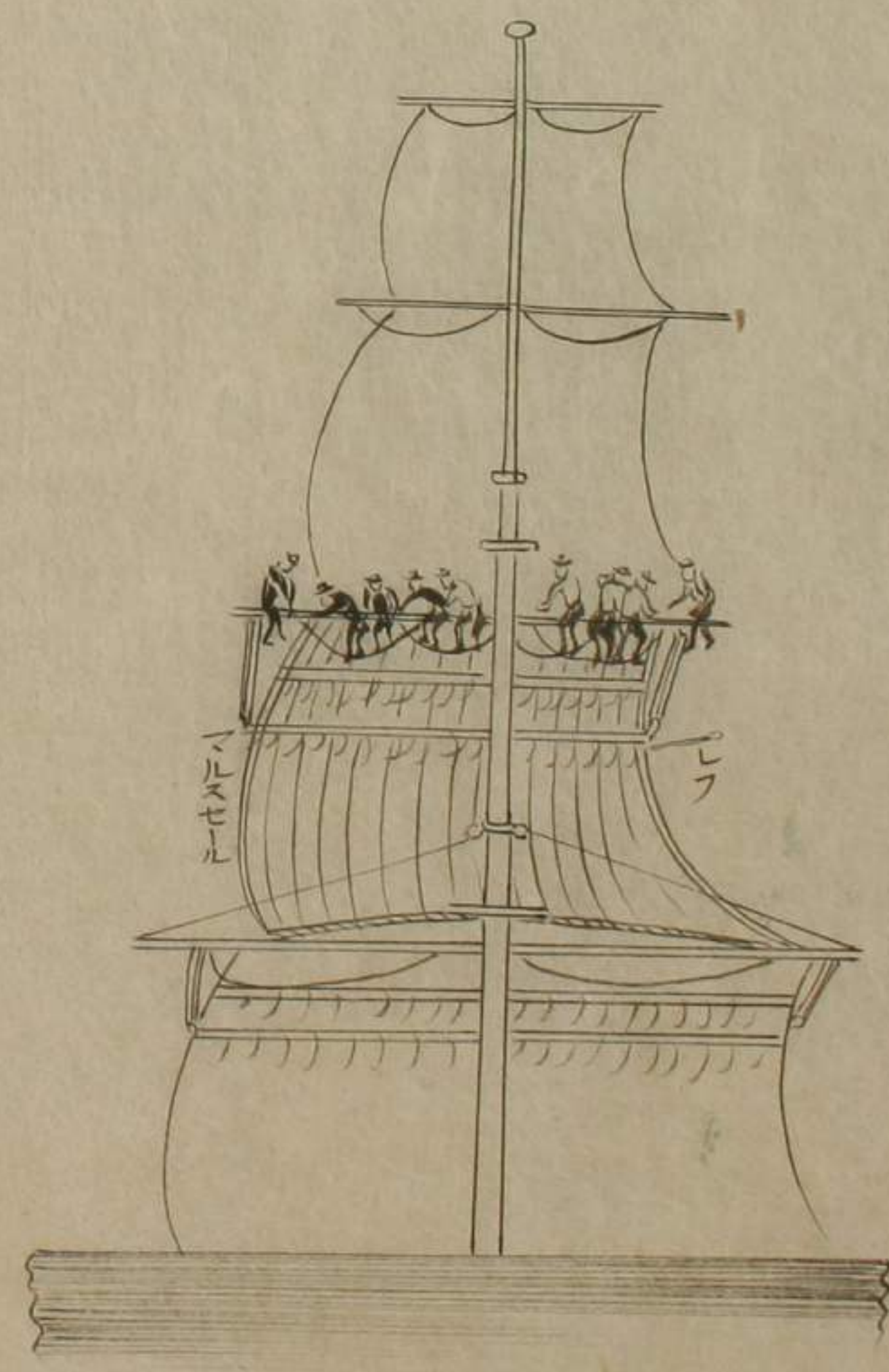


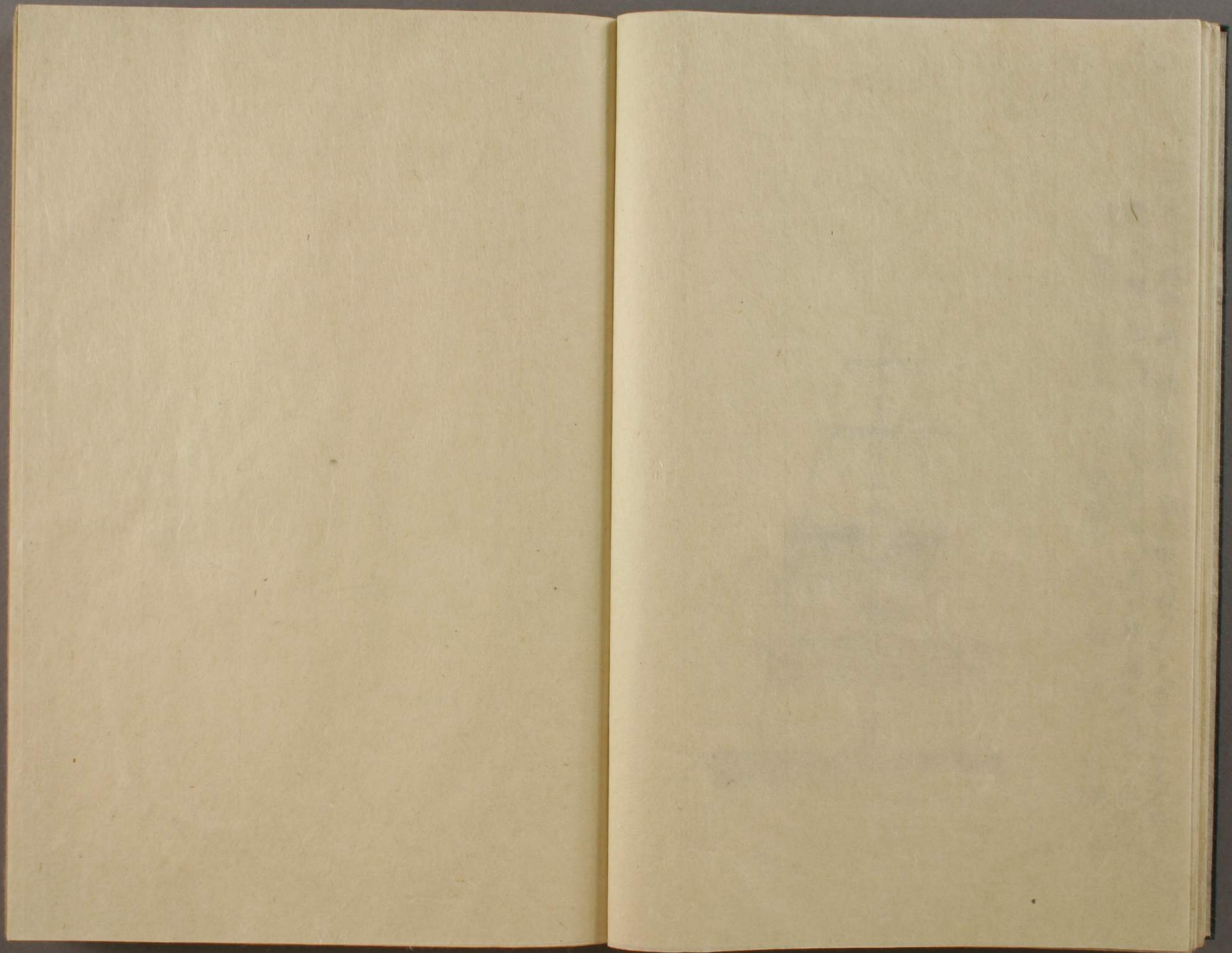
一晴雨計七百六十ストリア



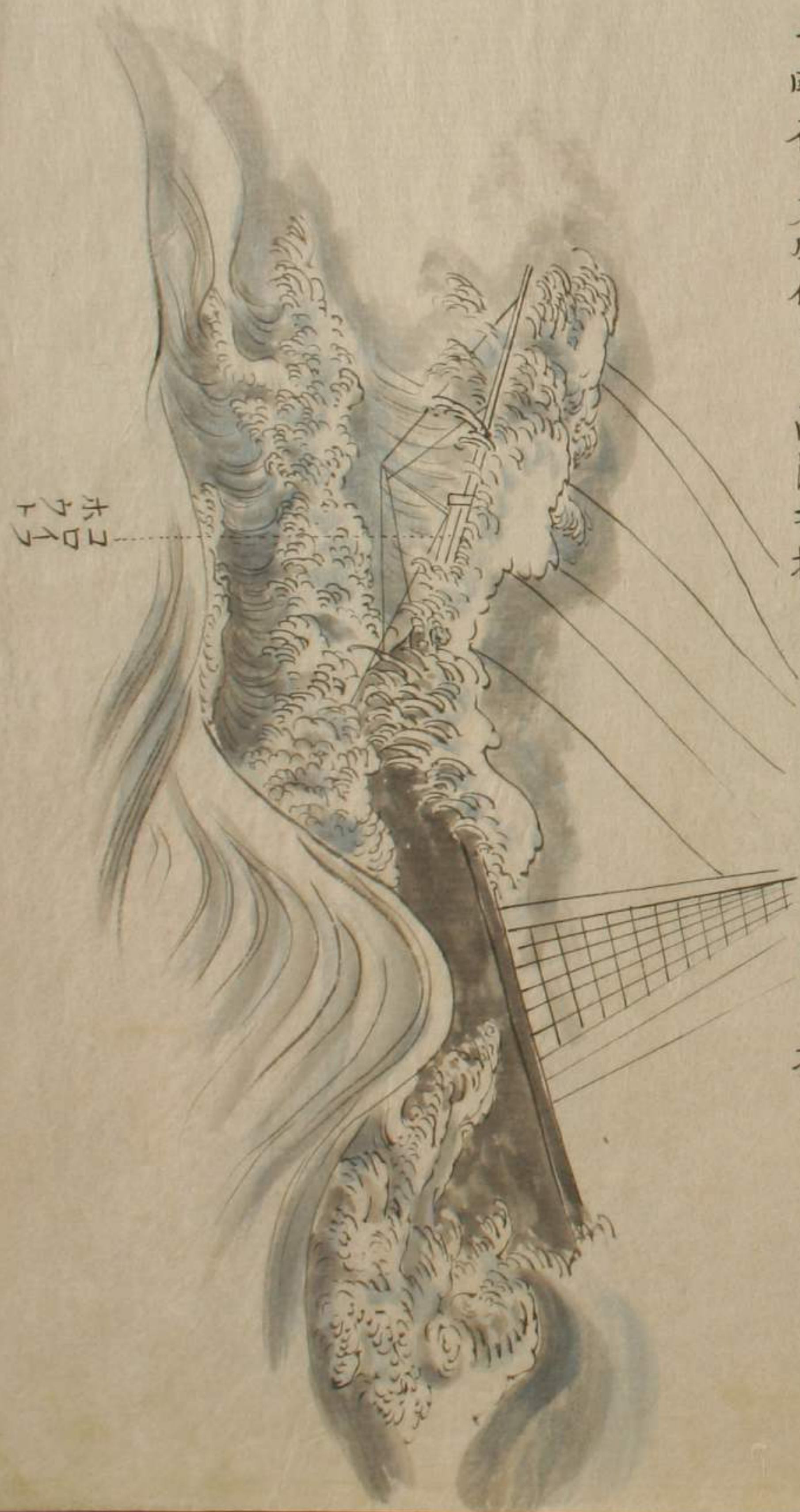
一大時化云船動揺を要すハ船中歩行モ六テ要只例レサル故ニ細ク外ノ物ニ
取付居ル位ノ牙故船内ノ諸道具左右ニ轉動シテ之ノ加爲メニ日用出シ
ニ垂キノ水ヲ揺リ出ほ志或ハ潮水ヲホ込ニ吏レ故火ヲ焚テ不成喰物ハ
煮ラレズ衣服ニ乾ク方ナシ其難洗ナルヲ陸上於テハ譬言ル物ナシ

一夜ニ入風西ニ廻リ依之方向ノ為メニ帆ハ「ホツグ」ト「ホローテマルスセール」
 計ニる艫ルをモ「ブルスセール」ハニ「レフ」ヲ為シ用ニ此「レフ」ト云フハ
 風ノ強弱ニ随ヒぬ何ナル動搖中ニテモ帆ノ戻クヲ引縮メルナリ





以下
3 丁
白紙

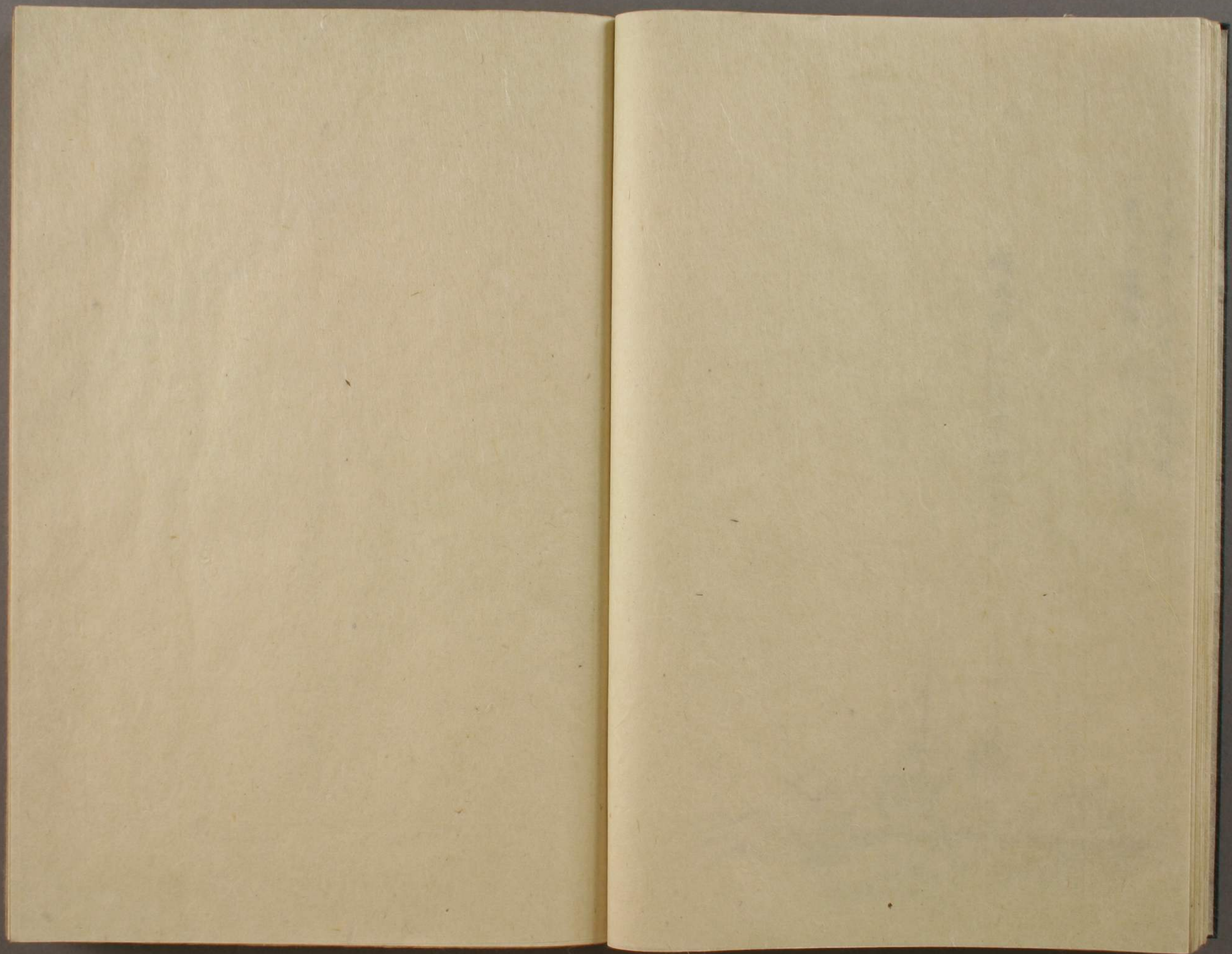


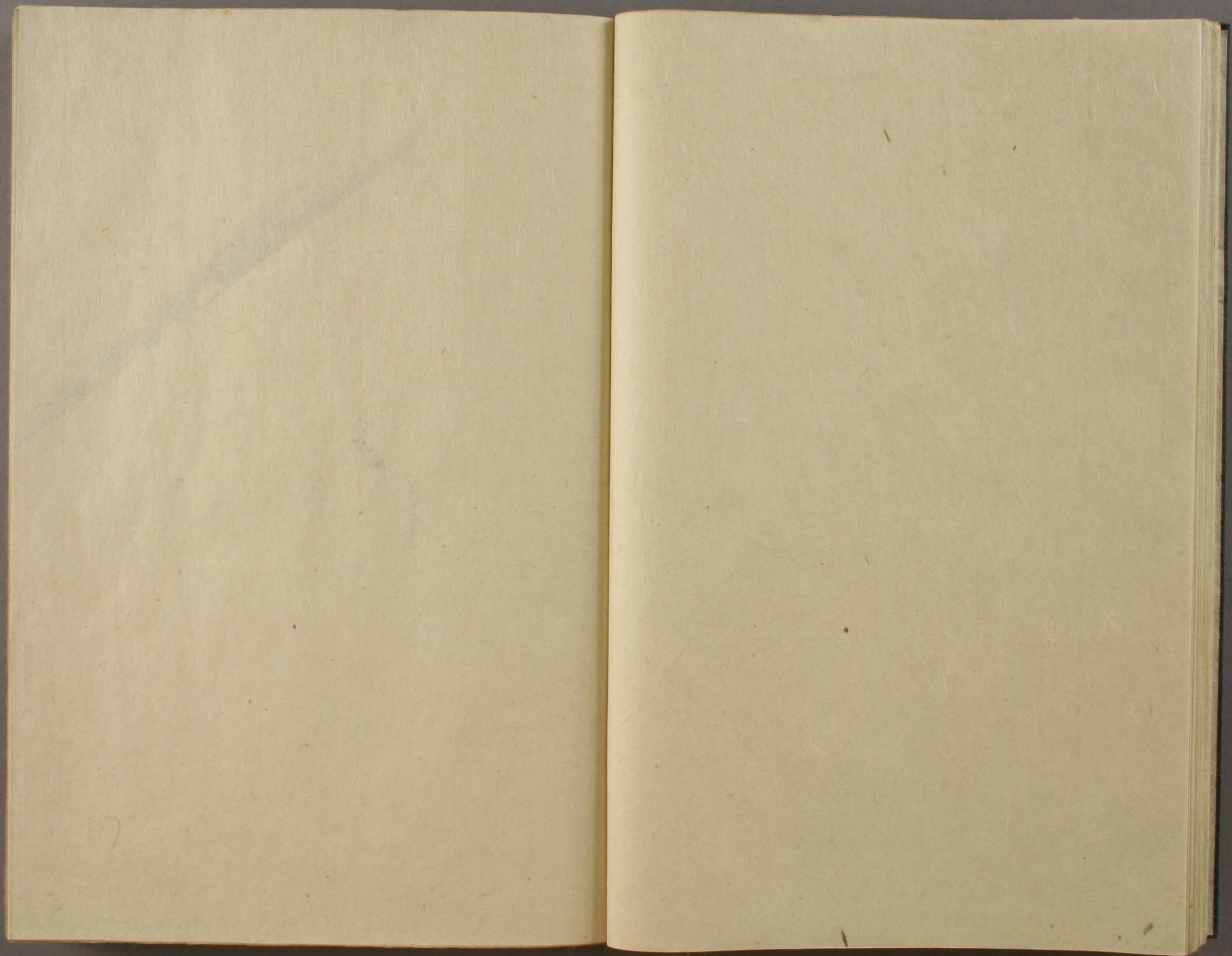
一昨夜ノ大時化ニテ高波ヲ擧ケコロイフホウトレヲ損ズ

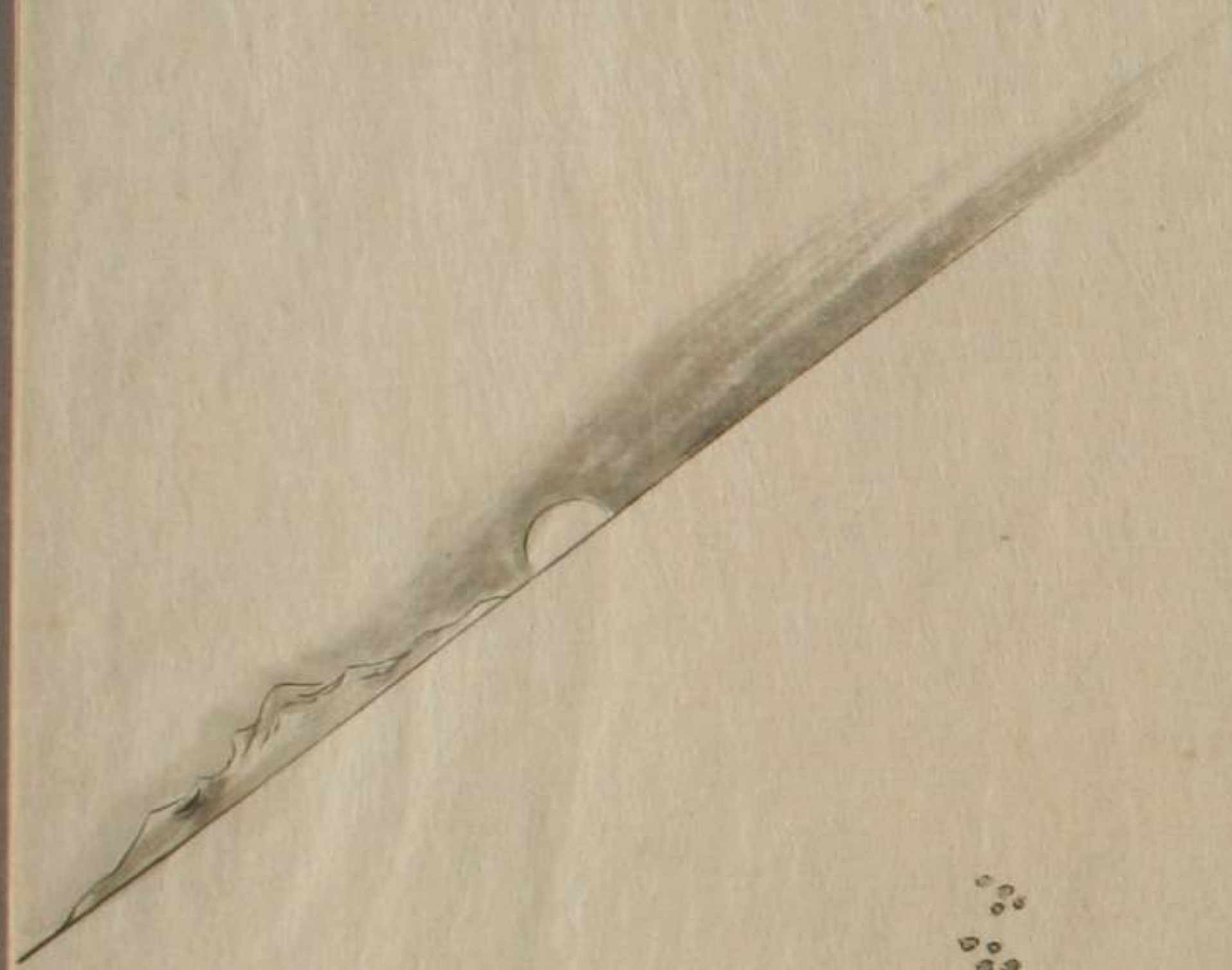
一夕方ヨリ「スチル」風不定
一夜ニ入霞降りおゞ「ホイ」来ル

晴雨計 七百五十四ストレップ







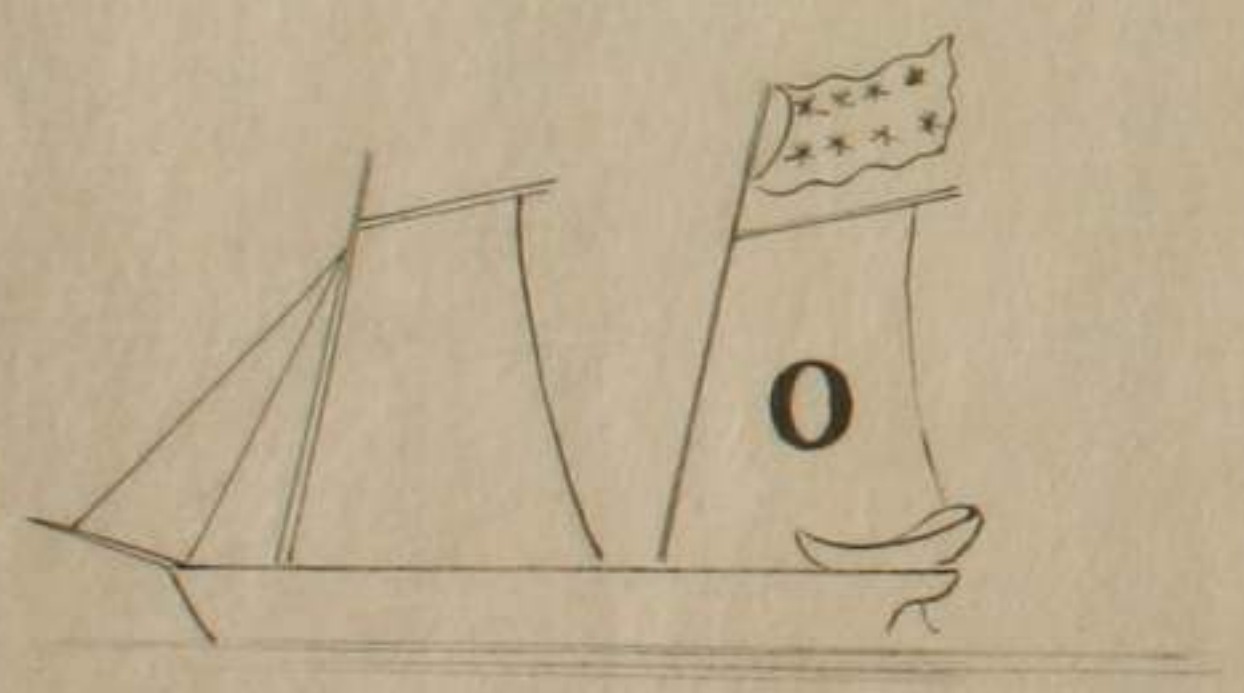


スリチール

一西風強ク高波立
 一六極上々晴天
 一著船前ニ付
 一ベサンスハツフル江
 一ホローテトツプ江
 一ベサーニストツプ江
 一ホールトツプ江
 御國旗
 日ウキンフル
 船將ノ旗
 乗組五人
 右引揚ケル

是ハ御地ニ白ク☆ノ付キタル
 ノ印ナリ 五人乗組居ルヲ知ラ
 ヘルガ為メニ揚ル

一八時過發蒸機ヲ運轉ス
 一十一時半カンフランシスコヨリ水先キ案内者乗組スクー子ル
 船来ル
 右五人乗リ



一午前ヨリ風追々柔ホラリ

一右スクー子ル船御船ノ側へ颯リ付国旗ヲ下ス御船ニテモ亜国ノ旗ヲ一度上下ス是ハ彼ノ案内者ニ礼ヲナシタルナリ

一右案内者「スル」^{舟端}ヲ卸ロシ是ニ乗リ移リ以船ト乗込ム此時蒸気ヲ止メ船ノ颯リヲ留メル



案内者 是家業ノ由

晴雨計 七百六十六

寒暖計 五十五

一水先キ案内船ハ六七里計リ沖合迄乗出シ待テ居リ

右案内相断リ不乗込ハ右ノ半高ヲ差出内際シハ事

一案内者乗組居リハテ若シ船暗礁ニ乗掛ケ破損等有之ハ

ハ案内者ノ方ニテ修復致差出シハ取極メノ由

港口皇場号ハ
 バツクステインラ以テ築ク

大砲
 十挺



一先月廿三日ハヨリ二三日前迄ハ洋中日々馬麻鳥藤九郎鳥ヲ見
 ル具外山燕ニ似タル鳥ト鳩位ノ水鳥ヲ兩度計リ見其外ハ
 木ノ葉ヲ一枚見タル事ナシ
 一今日ハ港口沖ニ於テ二三尺位ノ大キサノ魚鯨ハ港口ニハ
 小鴨位ノ水鳥多ク水中ニ泳リ又ハ船底ヨリクバリ出羽ヲ
 開ヒテ水上ヲ走ル丁大風ニ地上ヲ木ノ葉ノ飛ブカ如シ
 一港口ハ波高ク潮流早シ



一港口ニテ二人繋リノ「バッテリー」舟一艘由船中繋舟内一人英服着タル者
 由船中繋舟内一人英服着タル者
 罷裁由

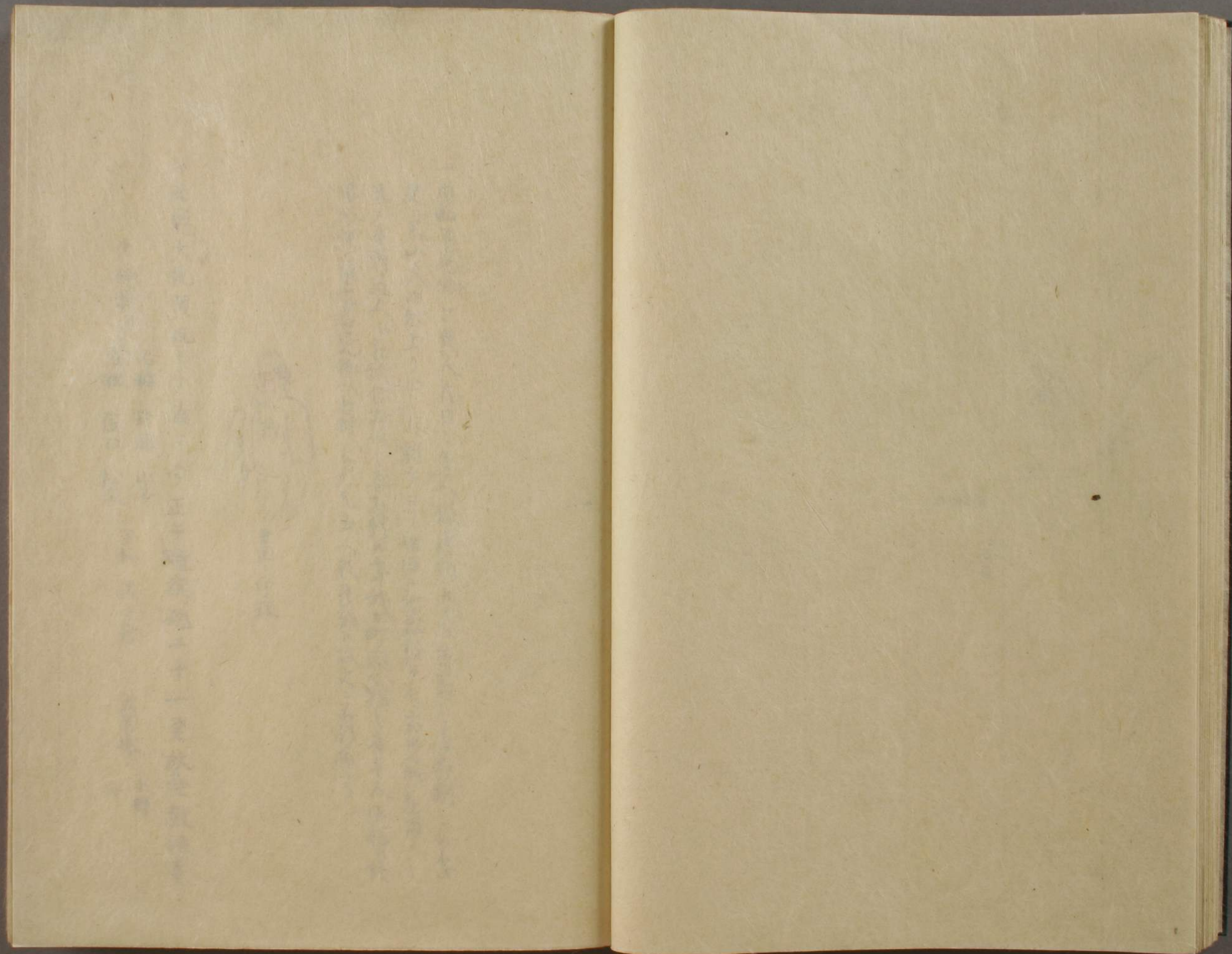
寒暖計 五十九

一二時前ハッサンフランシスコ港江着船投錨

深六ハーム 鎖

此所潮流早ク海水始終濁リ此清
ミタルヲ不見





一由船為見物と異人丸日く多人致拜禮は甘当有し者お制ししは
 文三不波入川船上り口し外諸方ヨリ世法ニ世船被り甘右見物差留りし
 為り当所役人にお揖合出候し者お礼に承我か町同心様し者其人由船は終
 日由船被り右見物人お制ししは凡多人致拜禮は故文ニ不仍候りし



亞国ノ印銀

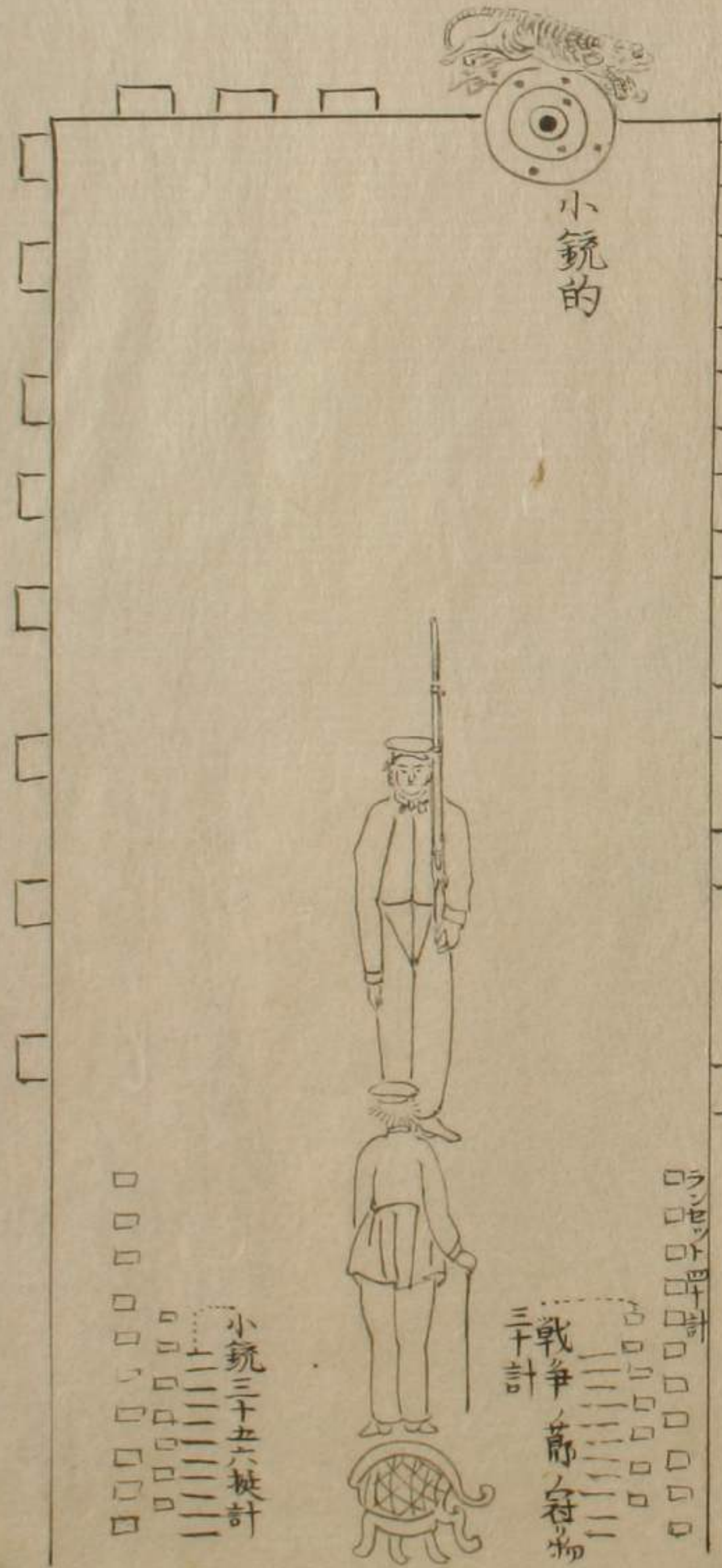
一亞国「大統領」祝しノ為り今正午時祝砲二十一発放致候事

大砲掛り
 右舷 鈴藤 山本
 左舷 濱口 松岡
 下知 佐々倉
 火薬掛り 小野
 伴

一 行旅肥田松屋中濱根障赤松小杉小永井外ニ氷丈并火焚人九百を
午後ヨリ上陸被り交見物人多人散抄者たし前後九右ニ西巻と旅
宿近種裁り途中側を不致教吏ヨリ旅宿ニ寄りし如旅宿ニ見
物人土勢侍借居男如小児ニ似て追々強賊ケ中ニ高女ニ似
た房杯を連れ来り又も他如士友杯種裁等何し何
し誰杯と迫力付杯中掛ケその他鳴物し師通とウ中婦人如
旅宿客居處ニ備へ付ある不し鳴物を志く、又ウ先男女
たり巻き被り中掛ケり丸丸夢トヨリ言治を不通土地ノ根
子も子夢内ナリあり迫り先りわいやき見々杯等と
皆矣ニして男ハ多く難装をな女志女之衣服を画さる天
人ニ似く是も物言めても来り丸丸を考尙惑持居所不
以和ニ雲組居所西人カアン各出で来りま猶七種裁不瓦
致魚船を先出しゆに甘用ニニ肉の油ヲ以テ煮り付丸物

を喰し吏レヨリ右カアン外ニ役人共負案内較市中見物ニ
我本途中歩卒学校に立寄リその二階ニ上リ見物被り如カ
タン彼一人從外役人伴し着居在右カヒタン歩兵一人呼
出し小銃手前を為被見せ呉り
右市中見物し希肥田中濱兩人を認高ニ居幾ル

右役所ニ「カビタシ」像其外武器等備付有之



額
步兵役所
三方ノ兼塵ニ諸國ノ戦争之因ヲ画キタル額ヲ掛ケ置ク

小銃的

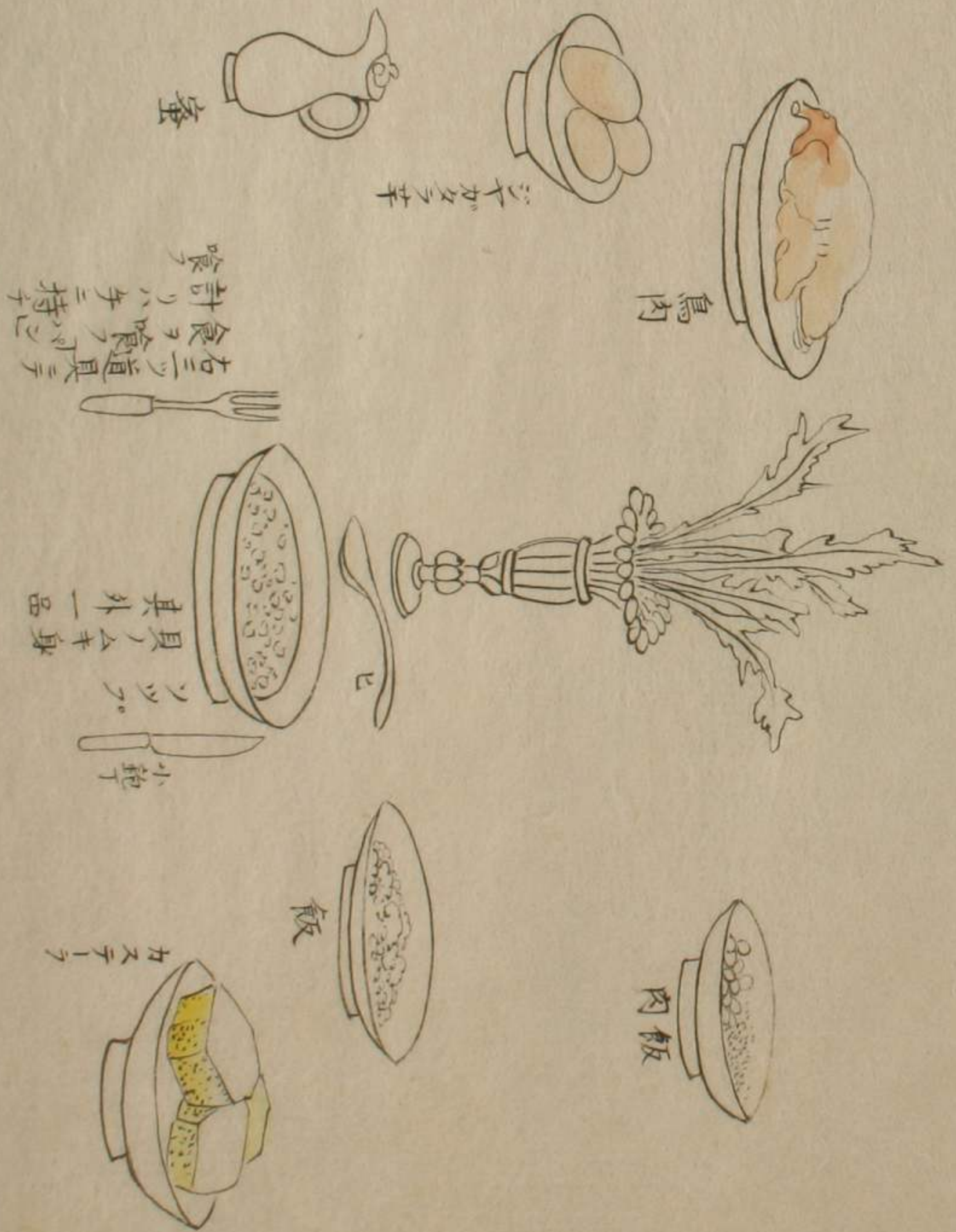
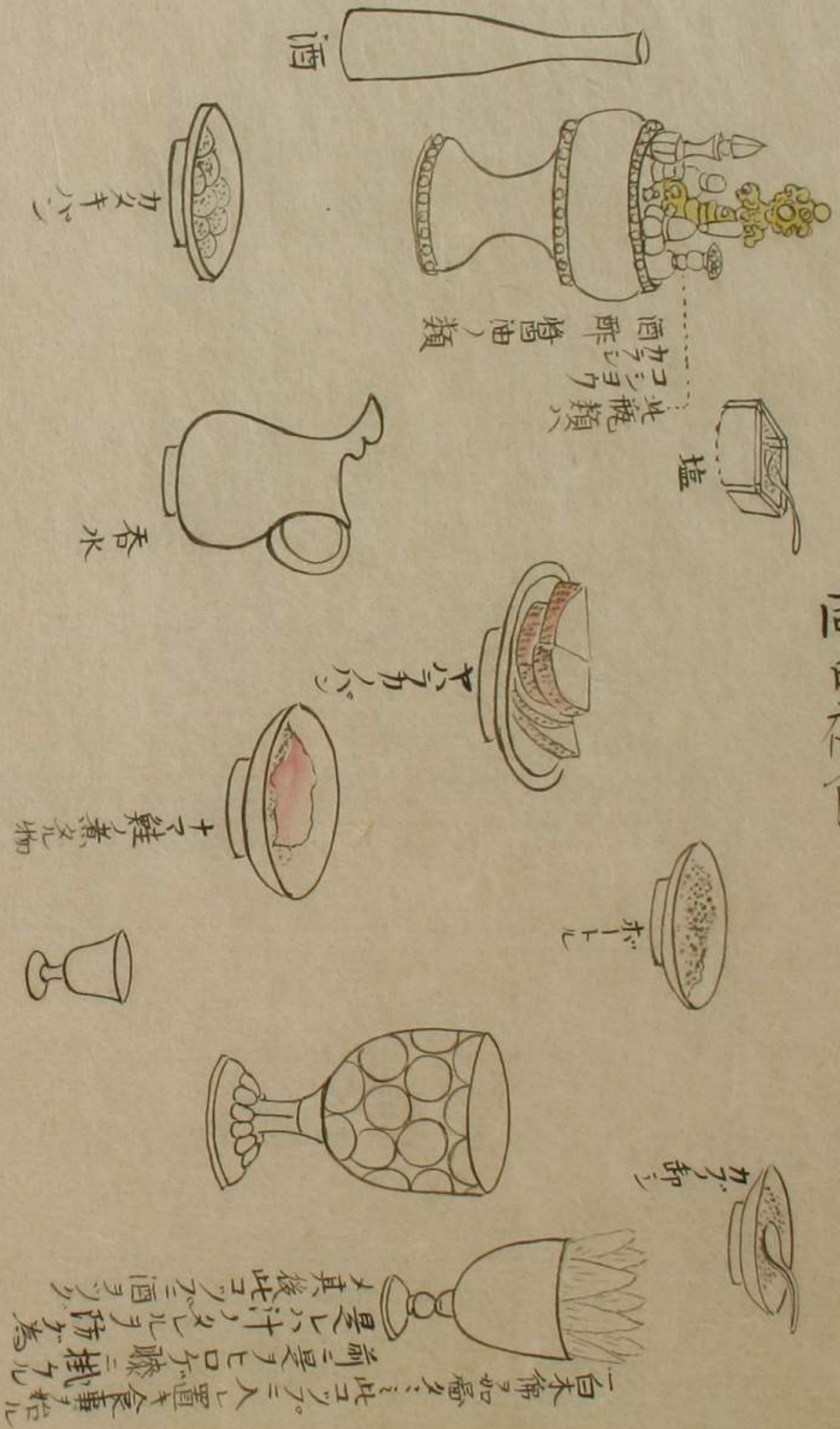


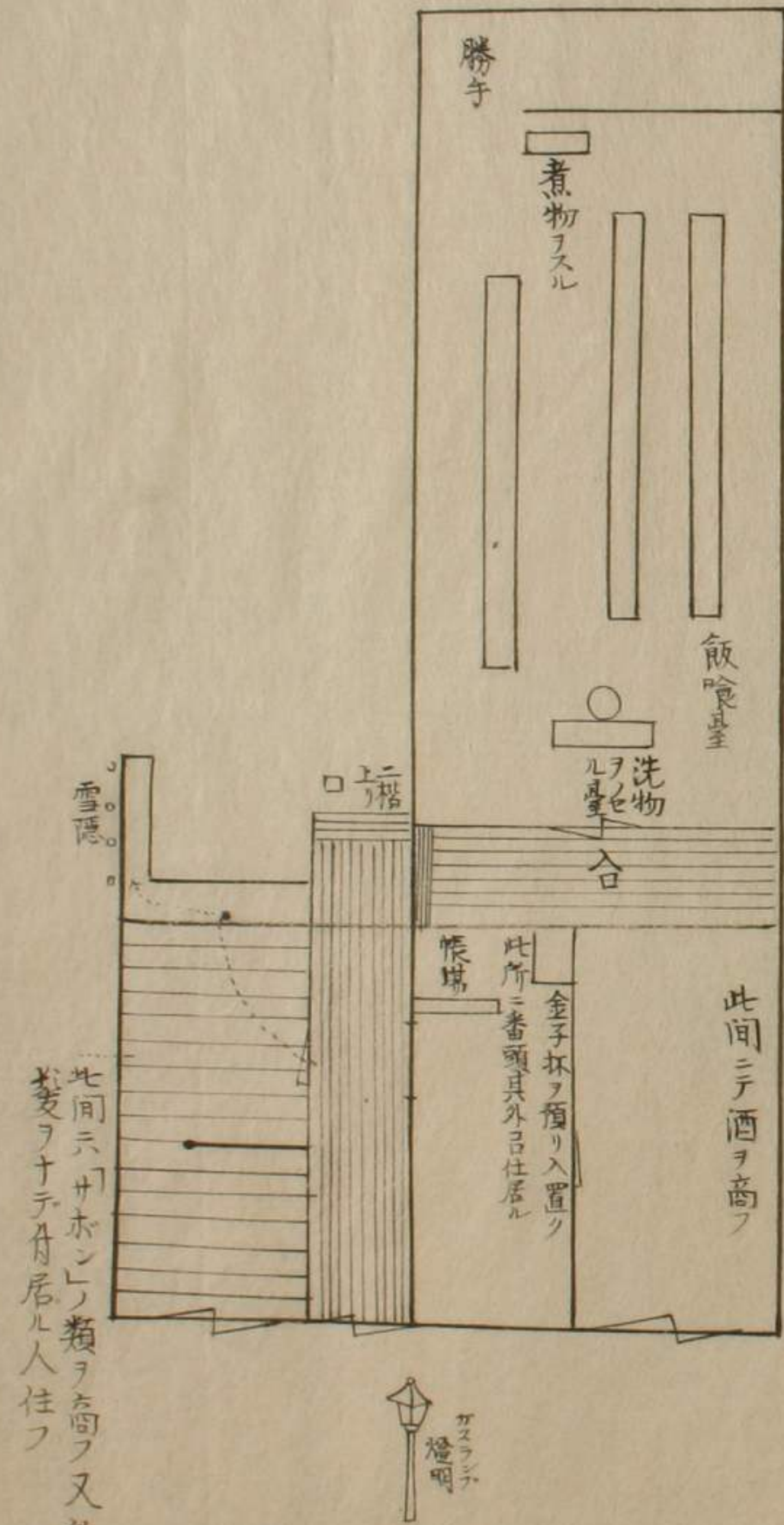
小銃三千六百枝計

戦争ノ節ノ箱物
三千計



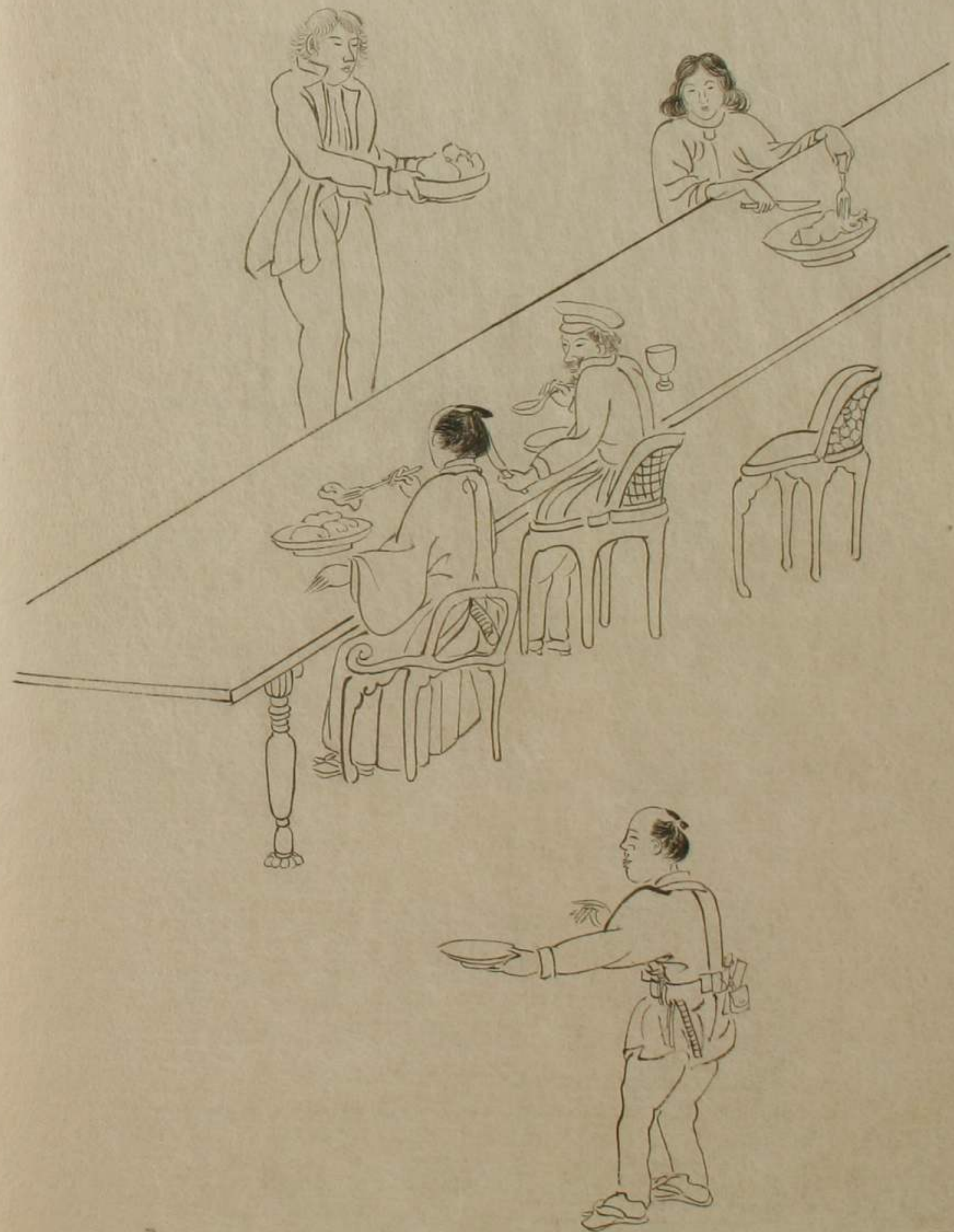
同日夜食



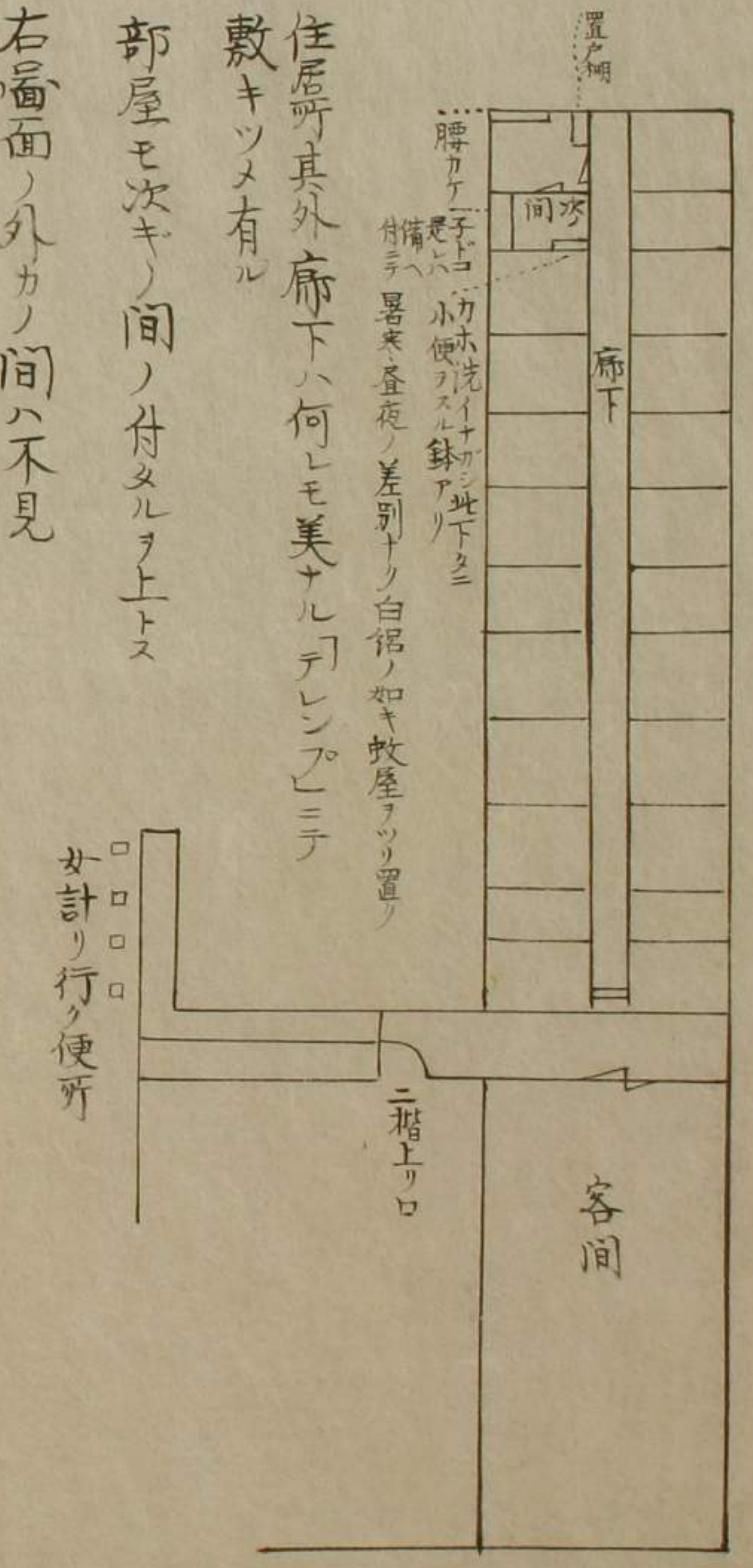


旅宿ノ下々ノ間略圖

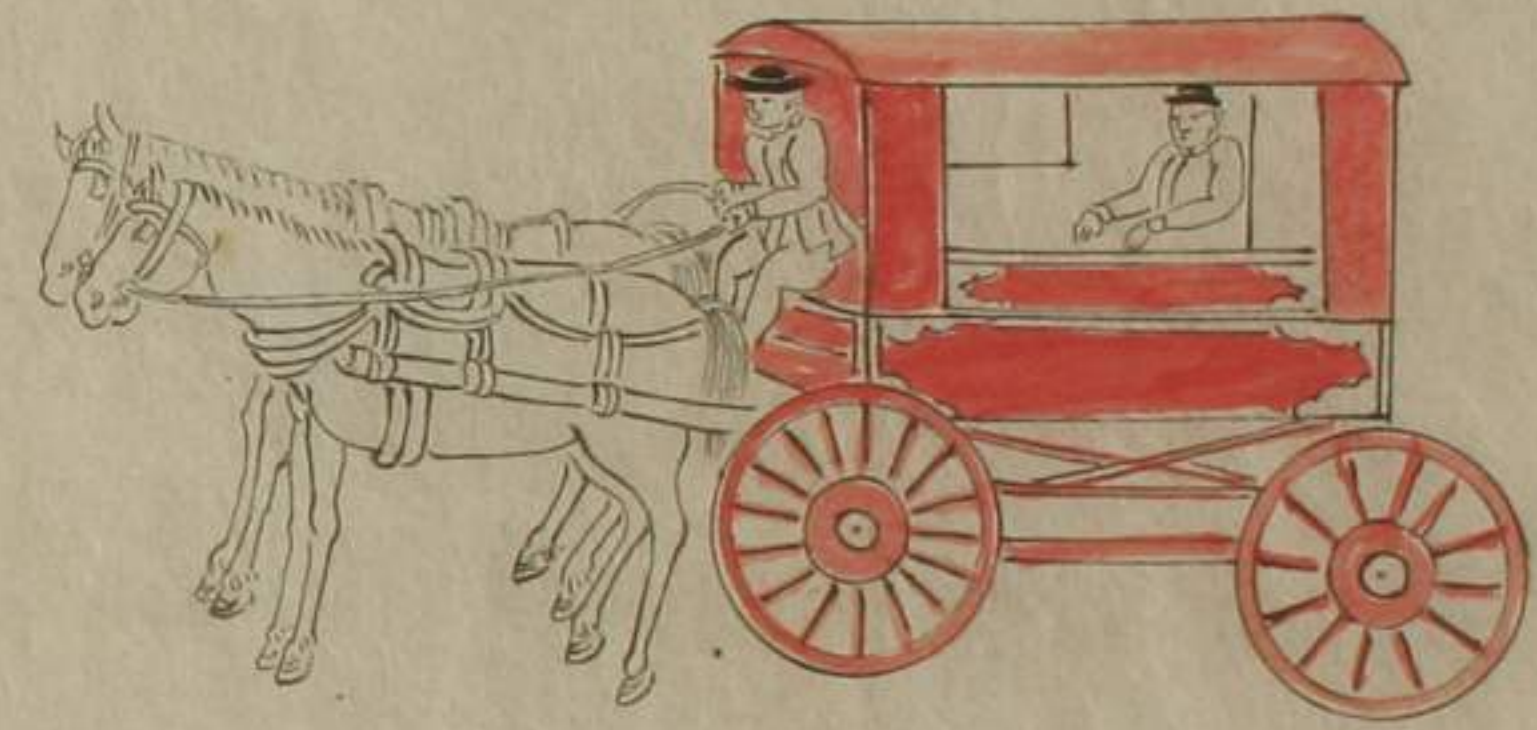
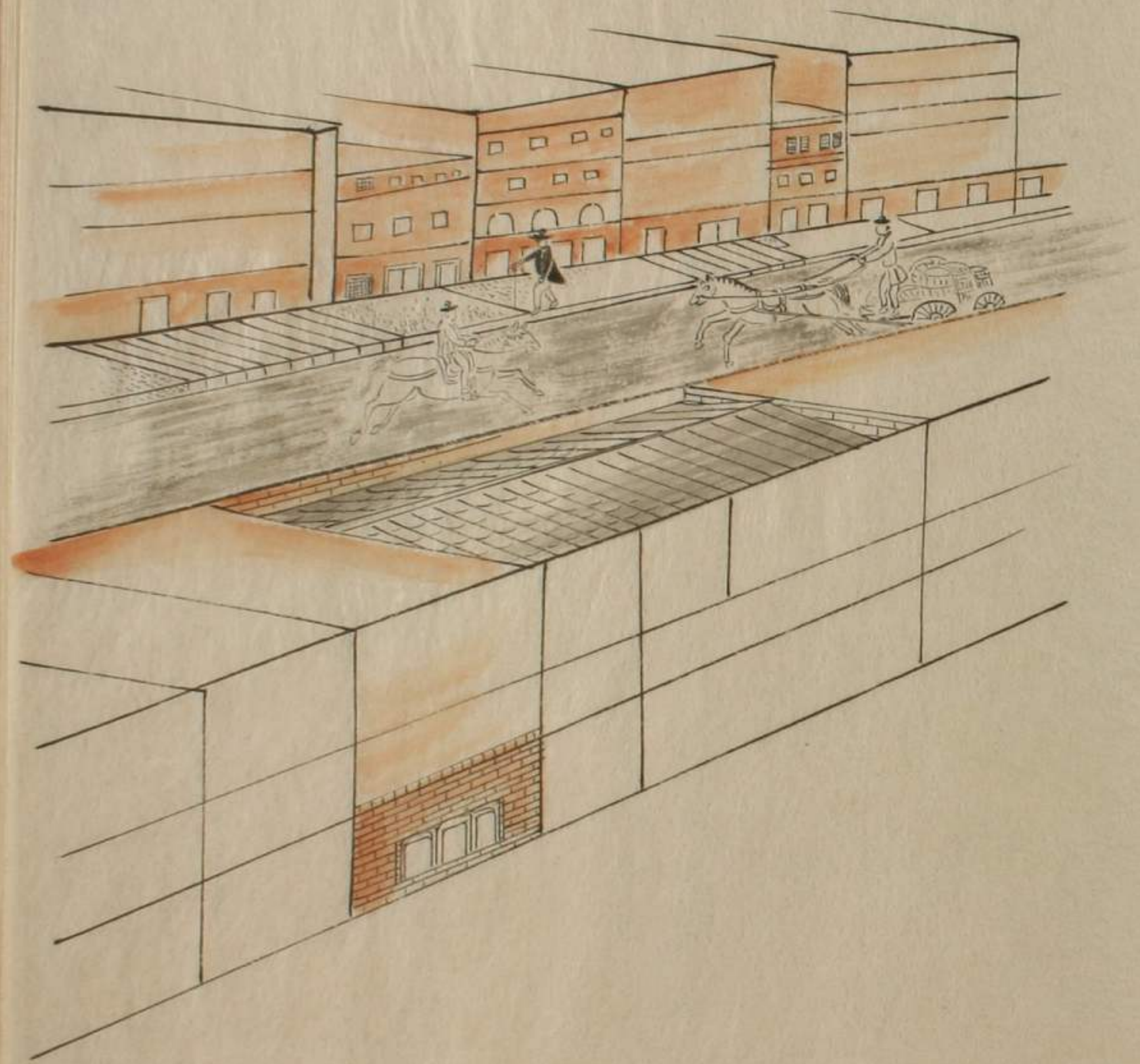
旅人ノ住ム所ハ五階作り



- 一 住居所其外廊下ハ何レモ美ナル「テレンプ」ニテ敷キツメ有ル
- 一 部屋モ次キノ間ノ付タルヲ上トス
- 一 右画面ノ外カノ間ハ不見



一他國他村ヨリ往來スル旅人の為メ且大小の蘆氣船目々昼夜港
ヲ出入ス大ナル蘆氣船ハ旅人三百人前後ツ、蘆氣船大小の
蘆氣船且牛馬追モ當セ運送ス右船の番又ハ出船着船刻限
等相印シ旅宿の見世ニ張り出し置ク其外朝楷子ヲ荷ふて
來ルモノ有リ此を見ル且引札のめきものを旅宿の見世ニ
張り出し置ル又ハ評判記杯ヲ賣ルモノ草花ヲ賣ル者杯未
ル此國ニテハ草花ヲ大ニ愛ス男女瓦花を衣服ノ為リ婦人
ハ頭飾ニ付ケ愛ス又左の番のめき車馬も旅宿ノ前或ハ市
中ノ中力程ニ有ル 調練場松ノ廣場ノまわり又出客を待チ
居ル



一此善チル物ハ朱塗リニテ車馬具共銀
 ムクノ金物ナリ車ハ種類多ク乗車ノ
 人ノ多少ニヨリ馬一疋ニ疋或ハ四疋
 フ用ユ馬ノ尾加みの毛短し馬ノ目ハ
 革ニテ覆フ是ハ左右ノ不見振ニ向フ
 計リ見ユルヤラニナス四疋共金踏ヲ
 キツ市中往來ノ中ハ右ノ馬或ハ荷物
 フ引キ運送スル馬人ノ乗リタル馬救
 十疋不能奔走ス故ニ歩行人ハ往來
 ノ左右ぬきの下ヲを通行ス

一夜ニ入八時帆船一統御船江陵ル

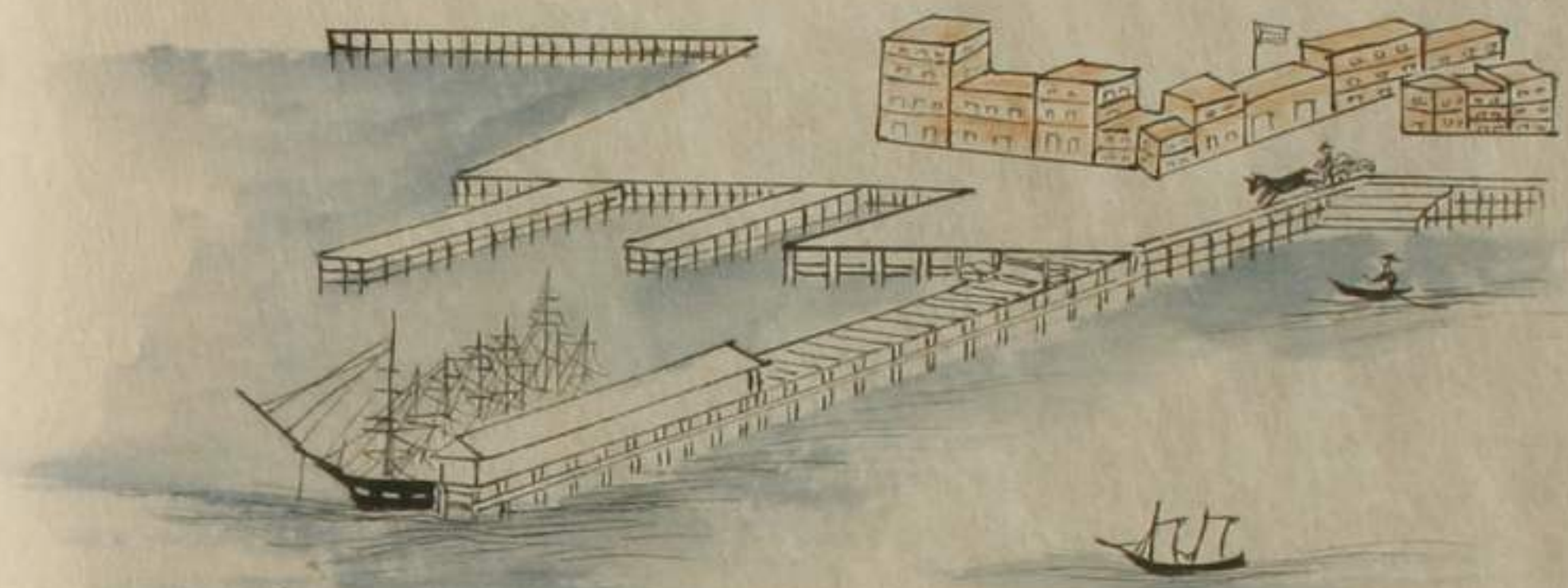
二月廿九日晴天風吹

一港中諸国ノ商船二百艘計リ中カニハ四槳ノ大船又ハ四五
十間位ノ長サノ帆柱ナシノ蒸氣船杯碇泊

一昼夜ノ別ナナリ他方ニ往來スル人ヲ運送スル蒸氣船出入
スルヲ大凡五六艘位宛

一早朝ヨリ市中船揚ケ荷物運送ノ車ヲ數回馬ニ引カセ板張
リノ上ヲ奔走スル音ト又ハ蒸氣船出入ニ鐘ヲナラシ蒸氣
車ノ水ヲカリ音トニテ海中迄ソウソウ敷事甚シク日出ル
片ハ町村ノ戸障子不殘硝子板ニテ張りタル故是レニ日光
ウツリ家毎ニ光リ輝キ日光眼目ヲ穿ツカ如シ

一市中海岸通りハ左ノ畧ノ如ク張り出シ有之是ニ諸商船ヲ
 接付ニナシ荷揚ヲ積入等ヲナス



此荷揚ハ橋ハ海ノ深淺ニ依テ長短アリ
 長キ方ハ大凡百間餘ニ見ユル
 橋杭ハ大材ヲナチ込ミ其上ヲ厚キ板
 ニテ張ル

一當所陸軍カピタン並ニ士官之者礼服ヲ着シ多人救罪裁シ
 木村公勝君ヲ相談ヒ先方ノ「スループ」船ニ乗組当國蒸氣仕
 掛ケノ測量船見物トシテ相裁シ以ニ付当方士官小舟赤松
 等モ罷教ス右カピタンヲ祝シ大砲十七發発ス
 右祝砲之節ハ一統「スループ」ニ乗組由船ヲ離レルト四五
 十間沖へ漕出シ「スループ」ヲ留メ祝砲放火スルヲ見請
 ケテ後又端舟ヲ漕出ス此時舟ヲ留ルハ規則ナルベシ

一陸軍士官ノ礼服ハ海軍士官ノ礼服ヨリ飾リ多シテ其兵ナ
ルヲ眼目ヲオドロカス



三月朔日晴天

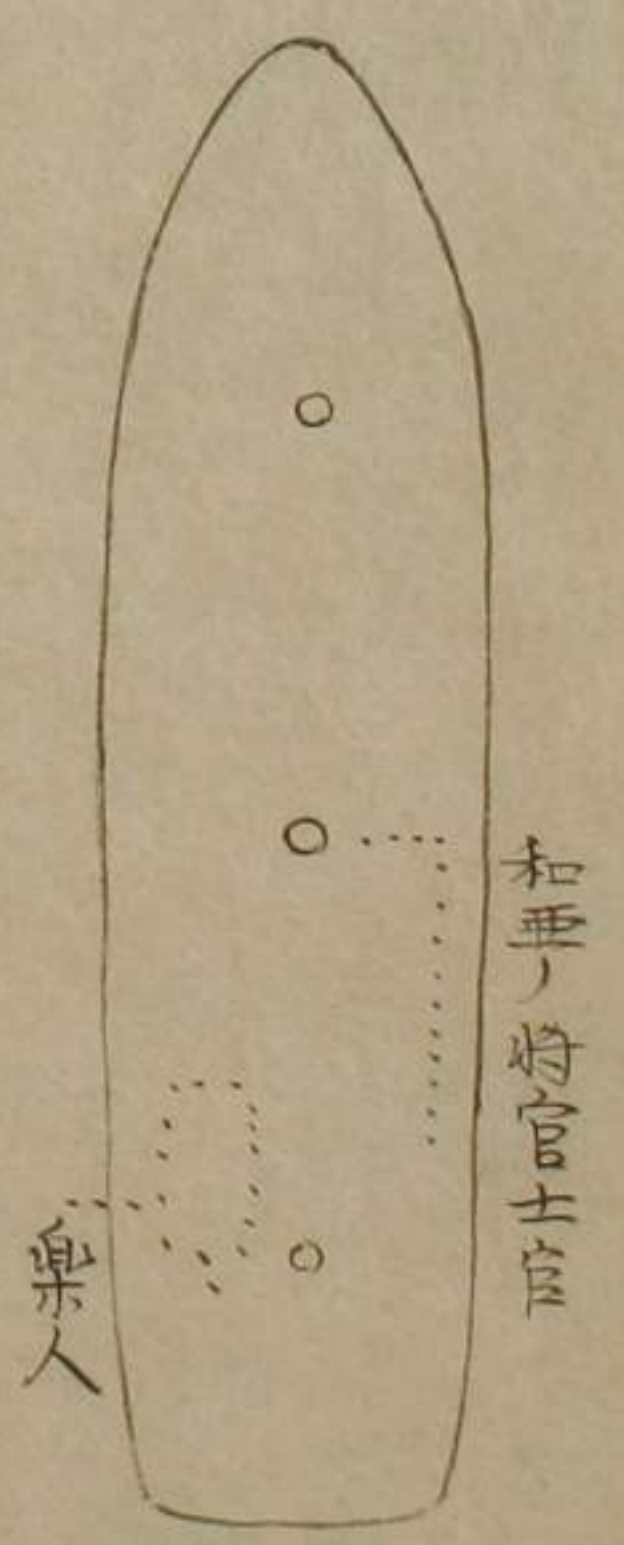
一今午後佛蘭西英吉利サルジニヤ右三ヶ国ヨリ当地在勤
死在ハ「ニストル」三負礼服ヲ着シハ船に罷載シハニ付右之
者及陸軍節祝砲放発被ル

右祝砲

一「フランス国旗ヲ「ホルルトツブ」に引揚ケ
七発
一「イギリス国旗同断
七発
一「サルジニヤ」是レハ国旗所船ニ無之祝砲計七発

一午後同所陸軍ノ上官其外ノ者四五人大統領ヨリ馳走ニ相
 送りト由ニテ音楽師百連シ甲板上ニ於テ音楽有之ルヲ
 右ノ平服ノ者ト礼服ヲ着シタル者アリ此礼服ヲ着シタル者ハ樂人ヲ支配
 スル概子ナリ

- 一 大中小ラッパ吹キ士人
- 一 横笛吹
- 一 一人
- 一 豎笛吹
- 一 一人
- 一 大太鼓
- 一 一人
- 一 小太鼓
- 一 一人
- メ 十四人



一右樂人ハ皆礼服ヲ着シ太刀ヲ提ケ衣服樂器殊ノ外義ナリ



左に... 右に... 上... 下...
 一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十...
 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十...

一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十...

一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十...

一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十...



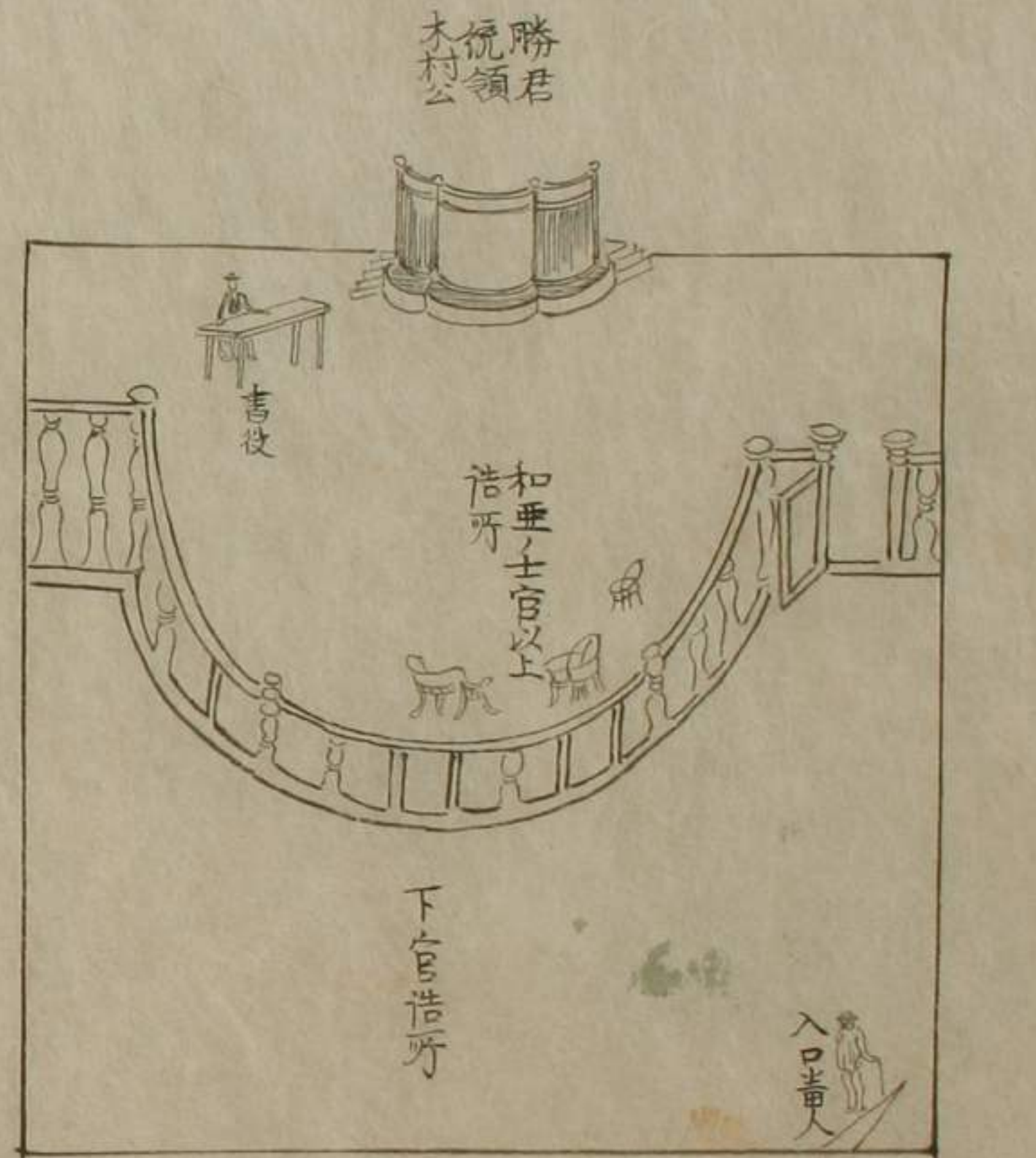
ノ空地ノ端ニ国旗ヲ引揚ケタル柱建アリモ下タニ「ボウト
 ホウウヰツスル」ニ挺備ヘ有リ木村公ヲ祝シ空砲十七放発スレ
 ヨリ役所ニ上リ左の図ノ如く為ス
 右役所ハ三四階造リニテ一番上ノ間ニ詰ル

一此空地ノ柵ハ唐草ヲ彫リ付タル
 鉄ノ鑄物ニテ造ル

一 對面ノ際互ニ手ヲ握リ
 合フ異國ノ礼ニテ男
 女ノ差別ナシ上官ニ
 逢ヒ又ハ叮嚀ニ挨拶
 為ス其ハ必冠物ヲ取
 ル



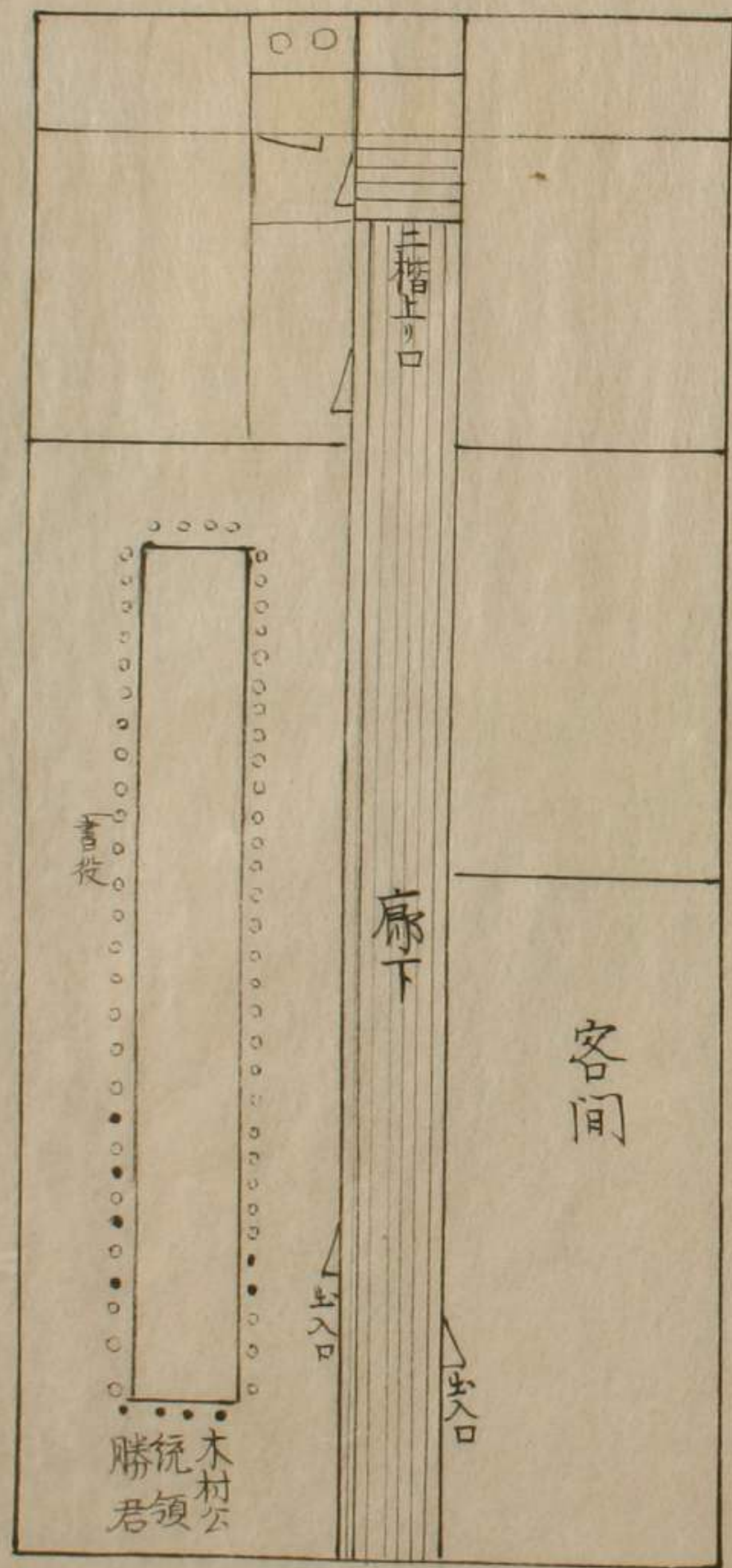
一 右ノ如キ所ノ上ニ於テ統領諸役人ニ向ハ何れ中流ス其時書役一書
 留メ其上ニテ諸役人木村公勝君ニ近カ付キニ其成其状此方士友一統
 二 近カ付キ被右其狀一統幕内被料理屋ニ行キ大統領ヨリ
 馳走見出ス



楷子段

惣人数五六十人

料理屋二階略因他人間ハ不見下タニテハ婦人菓子ヲ商居ル



一料理は菓子に交り刻料理を差出ス是を見ルニ酒肴菓子山
 のめく雪内紅白ノ雪を出ス是を味ふニ砂糖と鶏卵とを煉
 りませたる極其味似ナリ酒の中へ氷りのサツカきとら
 を入し出ス此料理ハ過日旅者ニ於テ出しタル料理より其
 味を尋し右ニ倍する多ク暑氣を去る多ク油取を
 出何れも一ツツ、嗜ふるもなるす物ニ略因ニ三粒後子ニ
 品ス



五色ノ上菓子

硝子器



菜ノ葉

此中カニ肉類ニ味付玉子ノ白
 身ニテ白アイノ如クナシタル

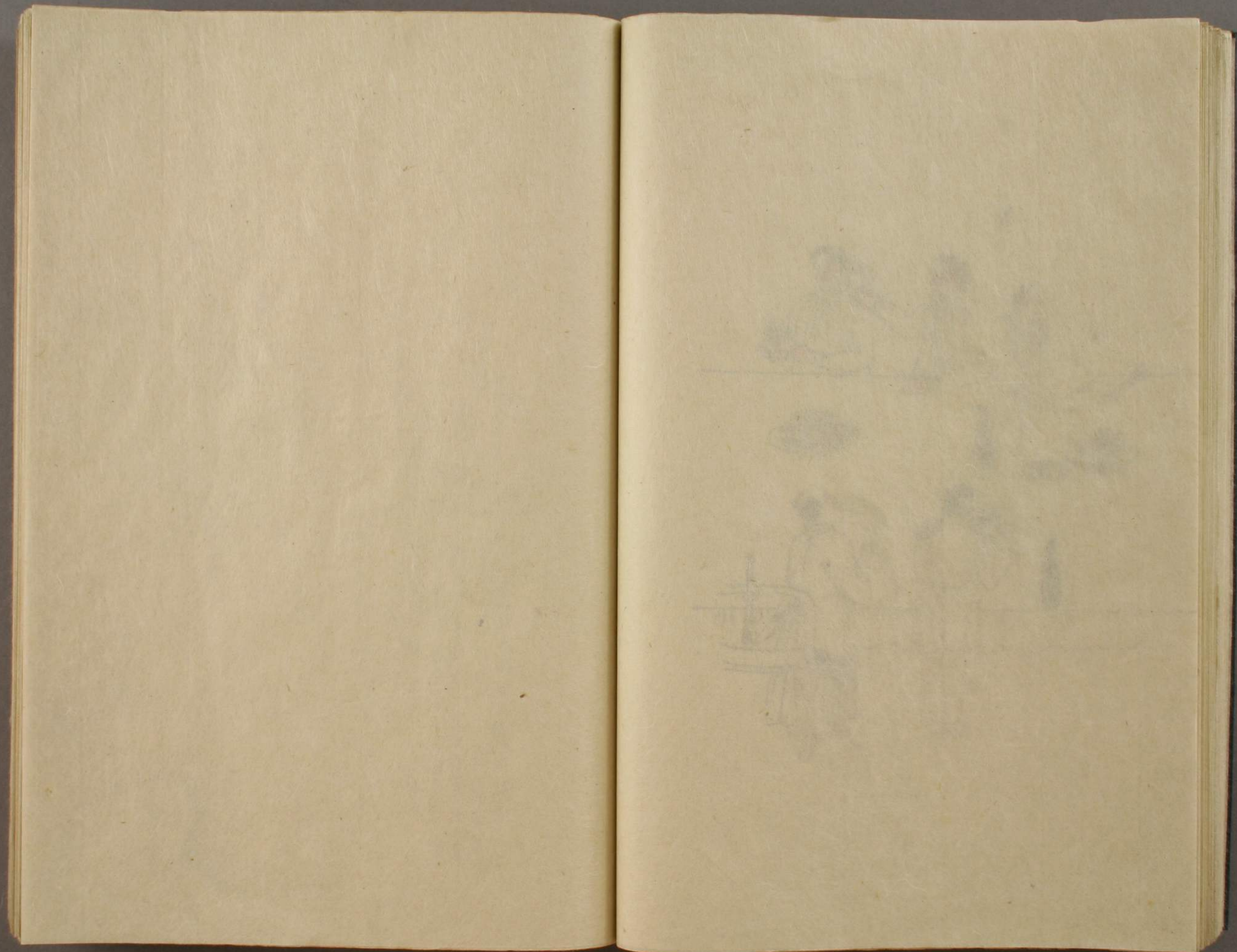
ニテ玉子ノカハムキ

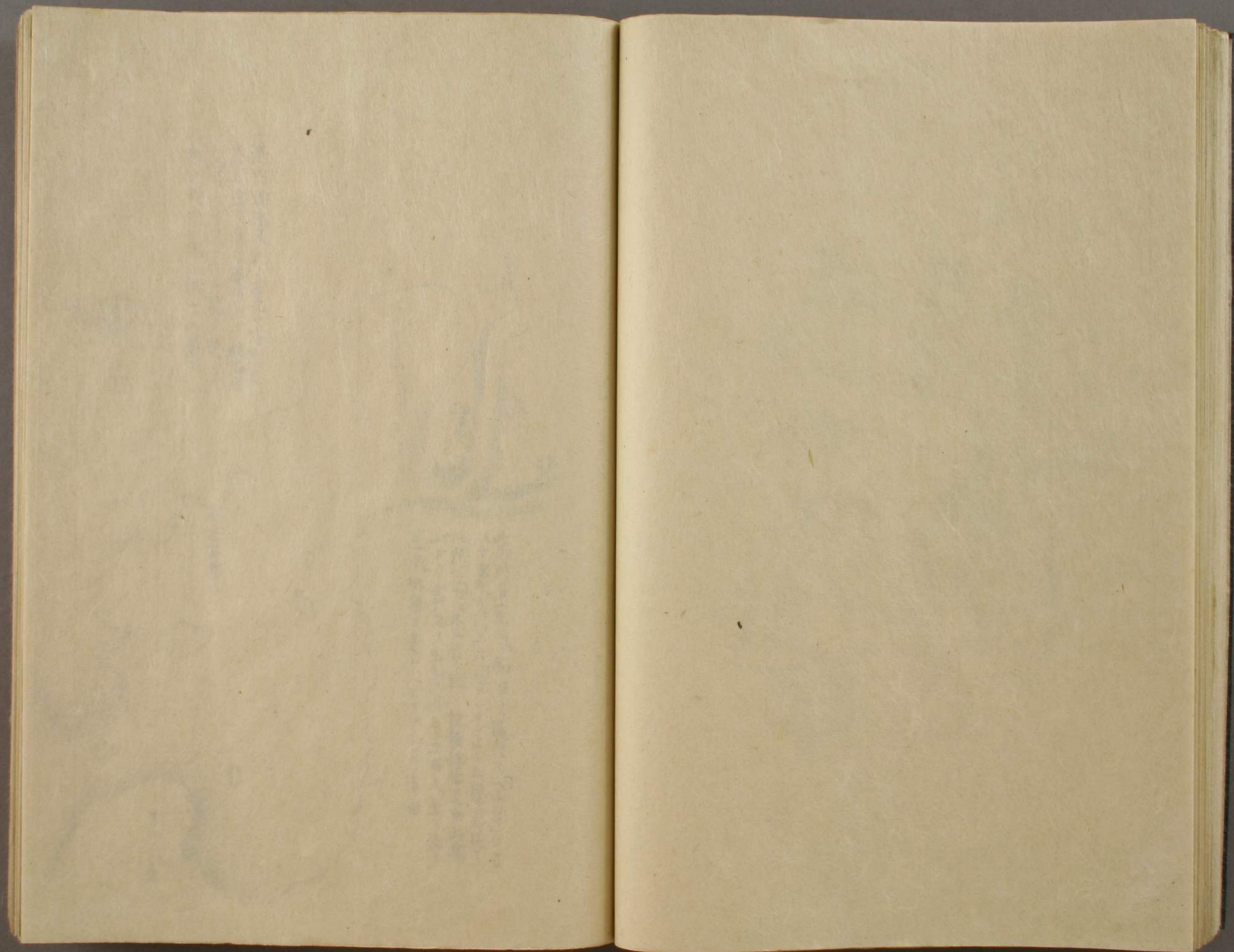
一「カバウ井」ト云フ酒ハ沸騰甚敷キ故ニ「ラソコロ」ノ口ヲ針金ニテ固締
致置リ是レヲ吞ム片ハ彼ノ針金ヲ小刀ニテ切り放テバ小瓶ヲ放テシタ
ル如ク大ナル音トヲ発シ其口ヲ天井ニキチ付又一ツノ音
トヲナス右口発スルヤイナヤ器中ノ酒沸騰致シ故ニイソ
キ吞マサレバ皆フキ出ス又金銀ノ紙ニ包ミタル菓子アリ
此紙ニカンシヤク玉仕拭ケアリ菓子ヲ喰ント欲シテ紙ヲ
引キサク片ハ又酒ノ如ク大ナル音トヲ発ス夫レ故五六
人ノ者吞酒喰菓ヲナス故ホンムパチニ其ニギヤカナル
火車場ノ如シ

一酒宴中統領諸役員ニ申渡スニ日本ハ是レ迄外國トツキア
イヲセズ其ワケ更ラニワカラズ其内近來軍艦ヲ造ル此船
出来タカト思フ内ニ速カニ此國ニ來ル其用ヲケル誠ニ
早シ今ニ三年モタツ後ハ他國ニ高船ヲ出スベシ是ヲ大統
領受リ片ハ嚙タノモシク歡ブベシ是レニ依テ日本ヲ祝ス
ト云イ諸役人腰掛ケヨリ腰ヲハツシ酒ノ口ヲ切り放シ拳
ニテ臺ヲタミキゴツブヲ三ベンマワシ酒ヲ吞ミ左ノ如ク
唱フ

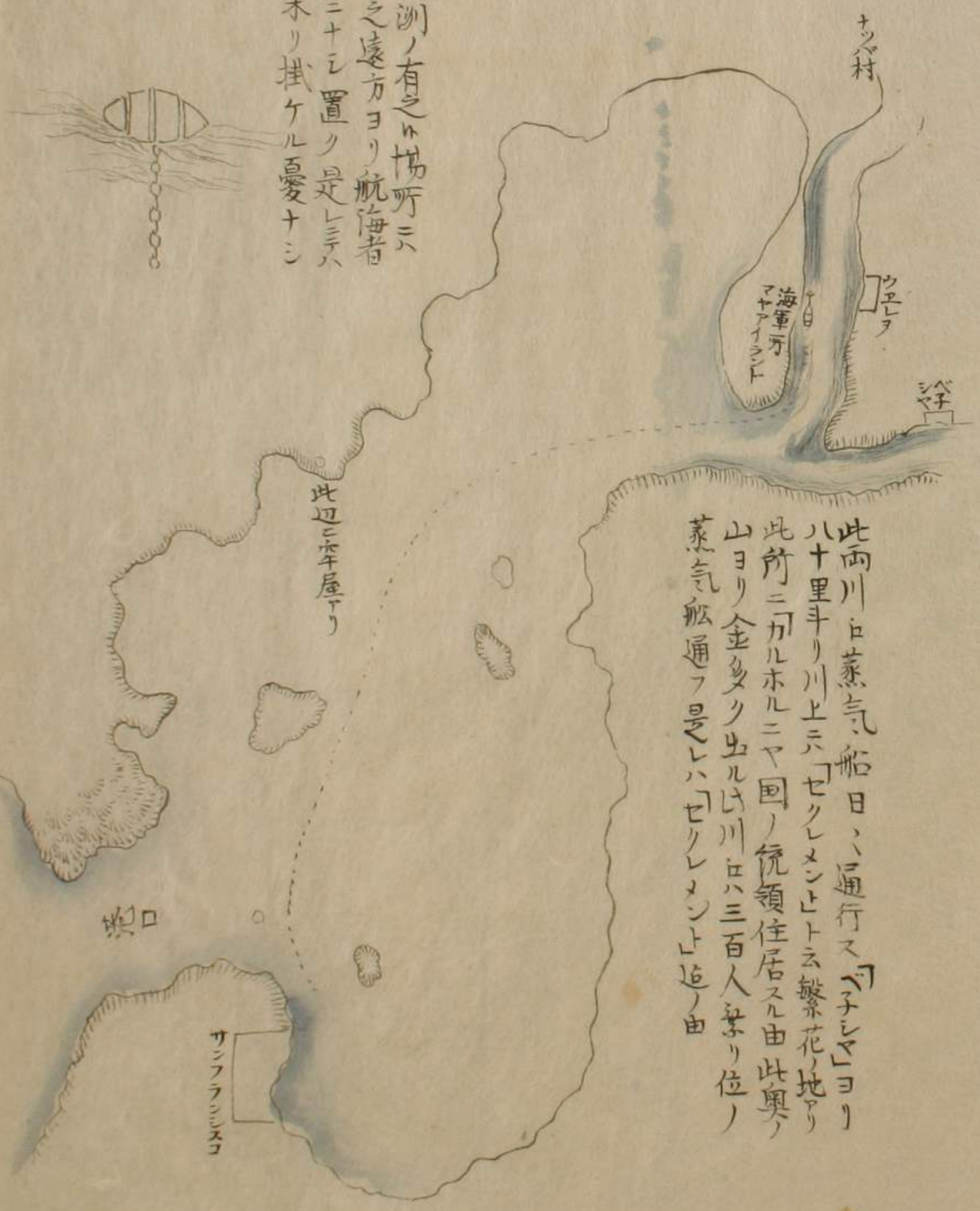
ヘツプ　ヘツプ　ウラア　是ハ祝シテ唱フコトノ由





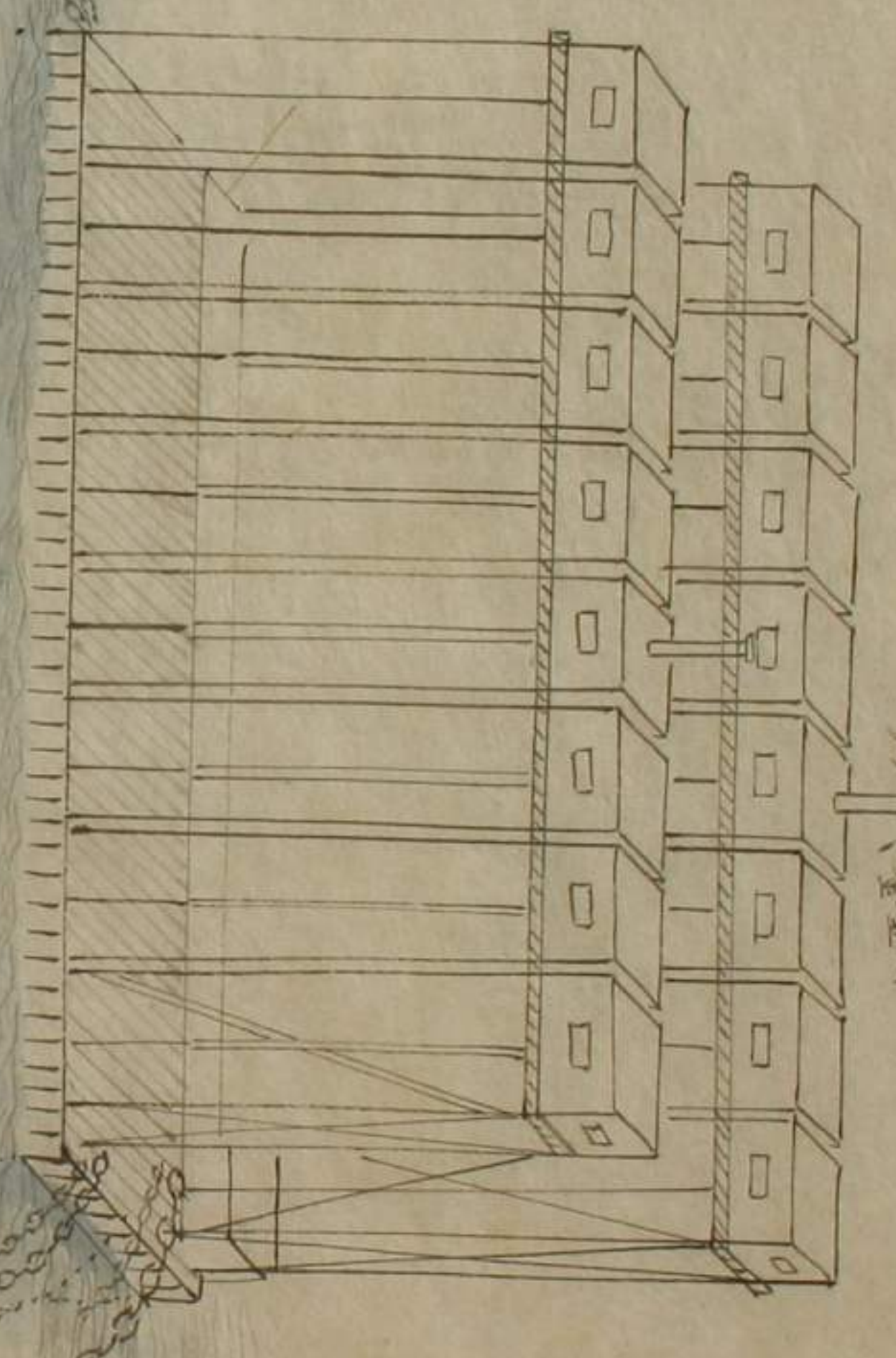


一港内暗礁又洲ノ有之ハ揚所ニハ
 大ナル浮キ有之遠方ヨリ航海者
 ニ分カルヤウニシ置ク是レシテハ
 船ヲ暗礁ニ来リ掛ケル憂ナシ



此両川ハ蒸気船日々通行スベシヤヨリ
 八十里半リ川上ニ「セクレメント」云繁花ノ地アリ
 此所ニ「ガルホルニヤ」國ノ統領住居スル由此奥ノ
 山ヨリ金多ク出ルハ川ハ三百人乗リ位ノ
 蒸気船通フ是レハ「セクレメント」迄ノ由

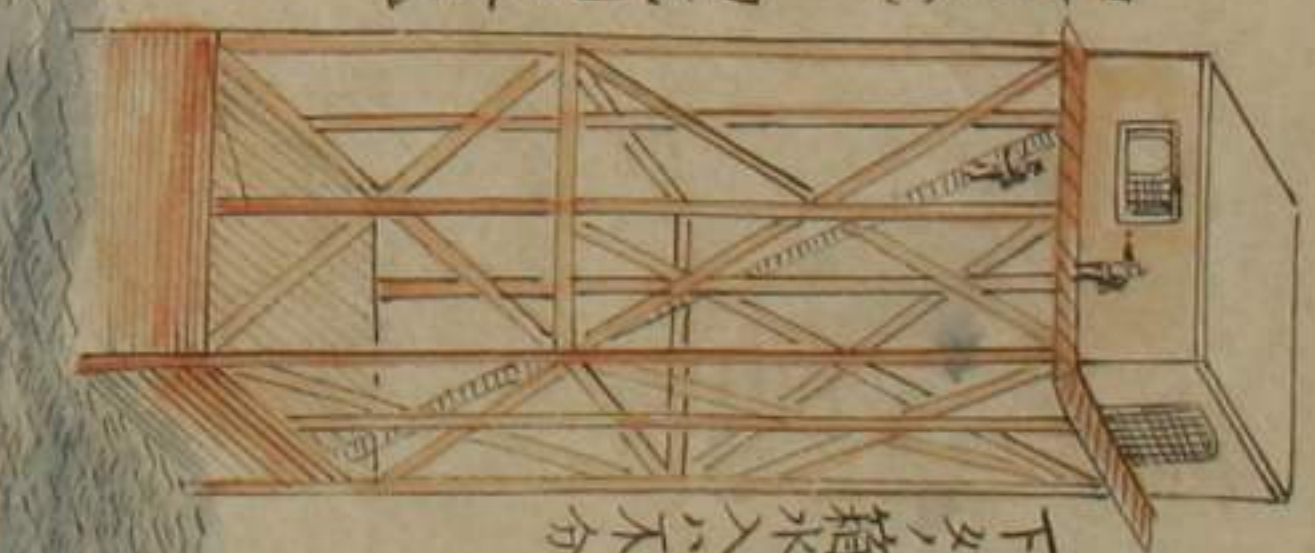
一木ノ鐵四船ニテ船ヲ浮レ箱ヲ水中ニ留置シ
鎖水入ノ留方不分明



煙出ニ此箱
ニ蒸氣ハ全
仕掛ナ有蓋
西側ニツク
煙輪ニ機
面

此箱ニ蒸氣機ヲ
ニ水ヲ入ルニ箱
水底ニ沉ム然レキ
其中ニ船ヲ來
入ナリ
船ヲ來入タル
後ナ又右仕掛
テ箱ノ水ヲ引
出ス然レキハ箱
空ニ塵ニナレ故箱
水上ニ浮ム

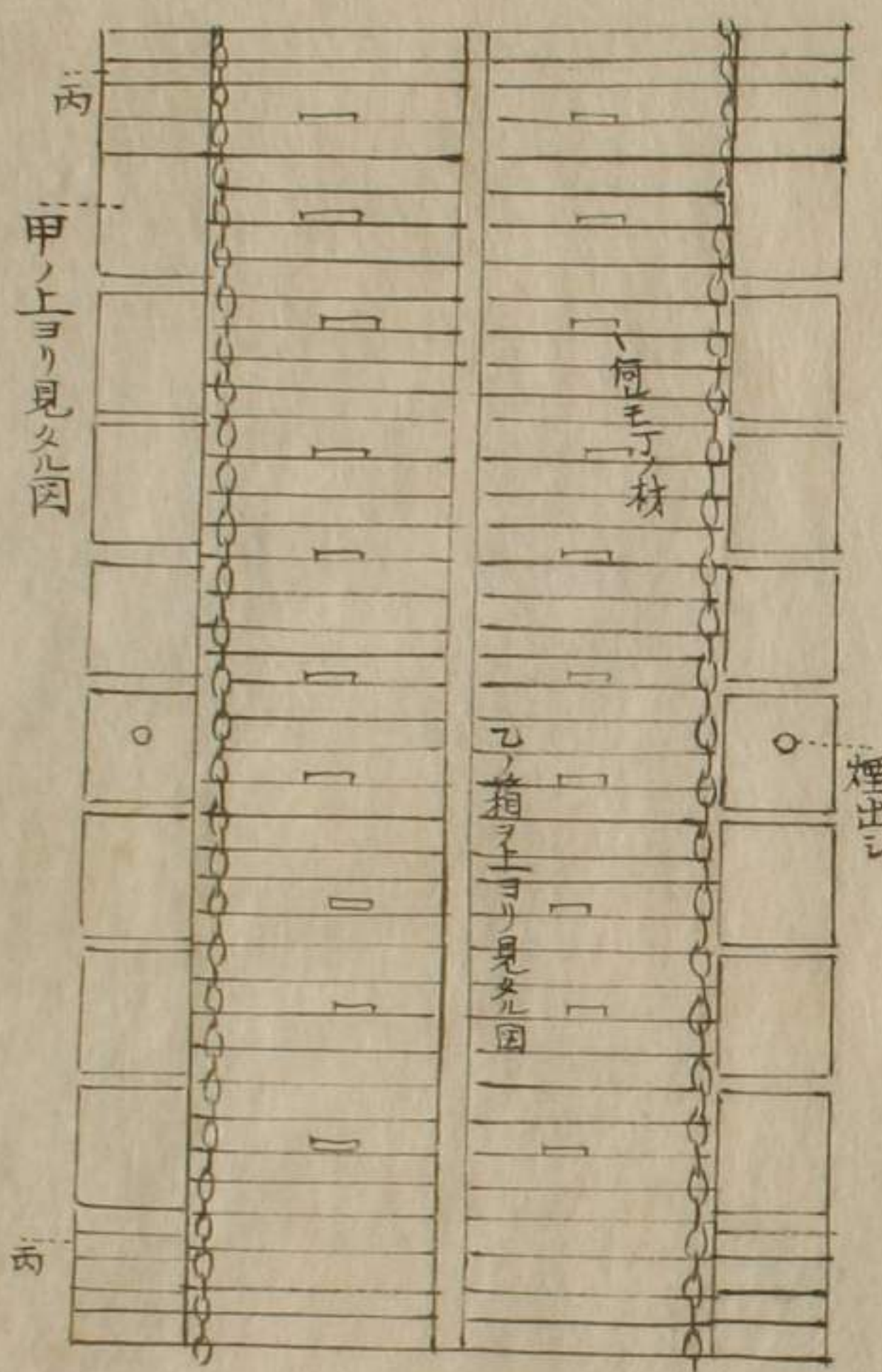
如前仕掛ノ物ハ側ニ完
西側ニ都合六ヶ所備ル



上下ノ箱ニ機械仕掛ナ置
下々ノ箱水入ニ不分明

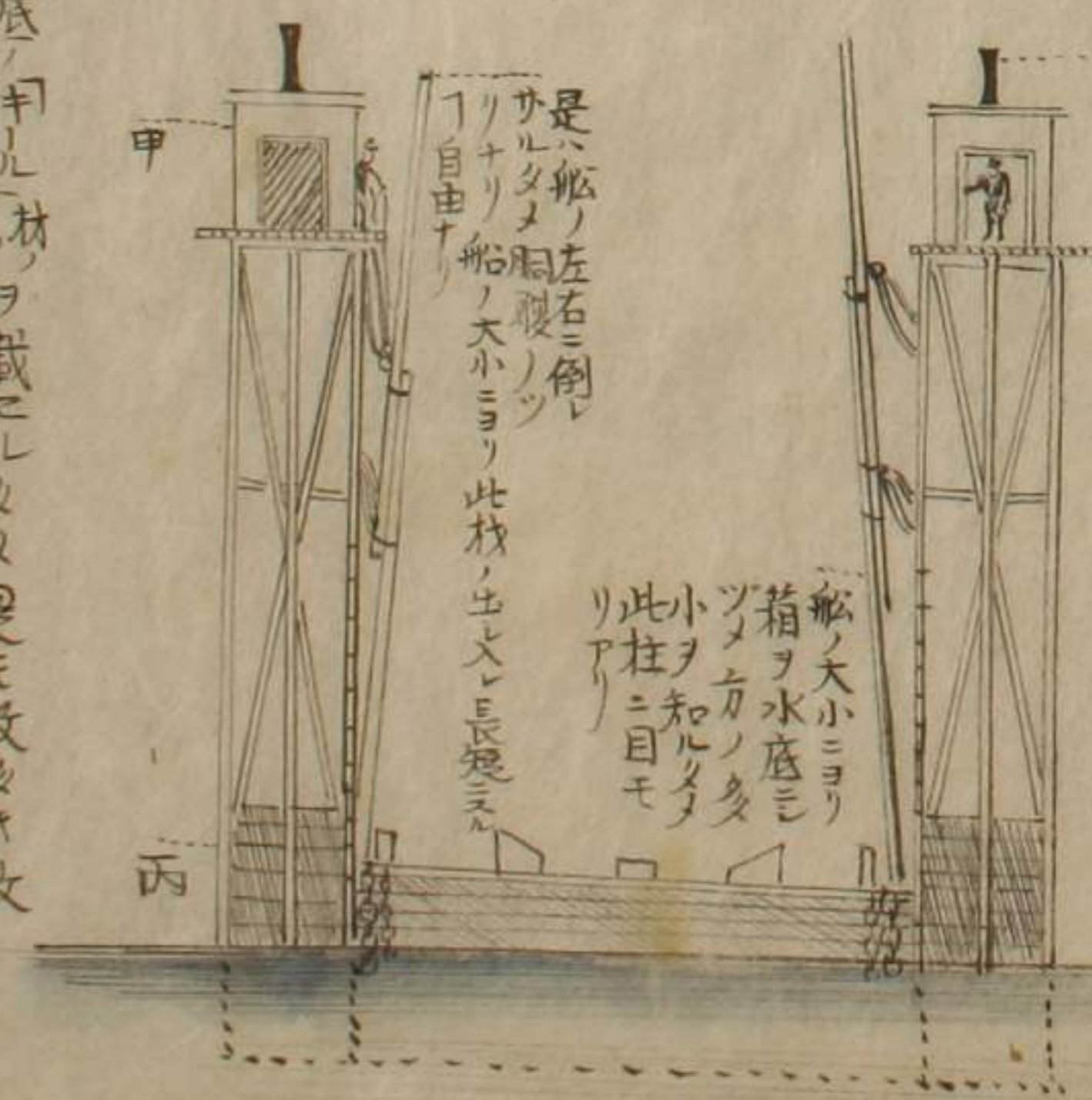
一 船造場略圖

一 船造場ヲ上ヨリ見ツグシタル圖



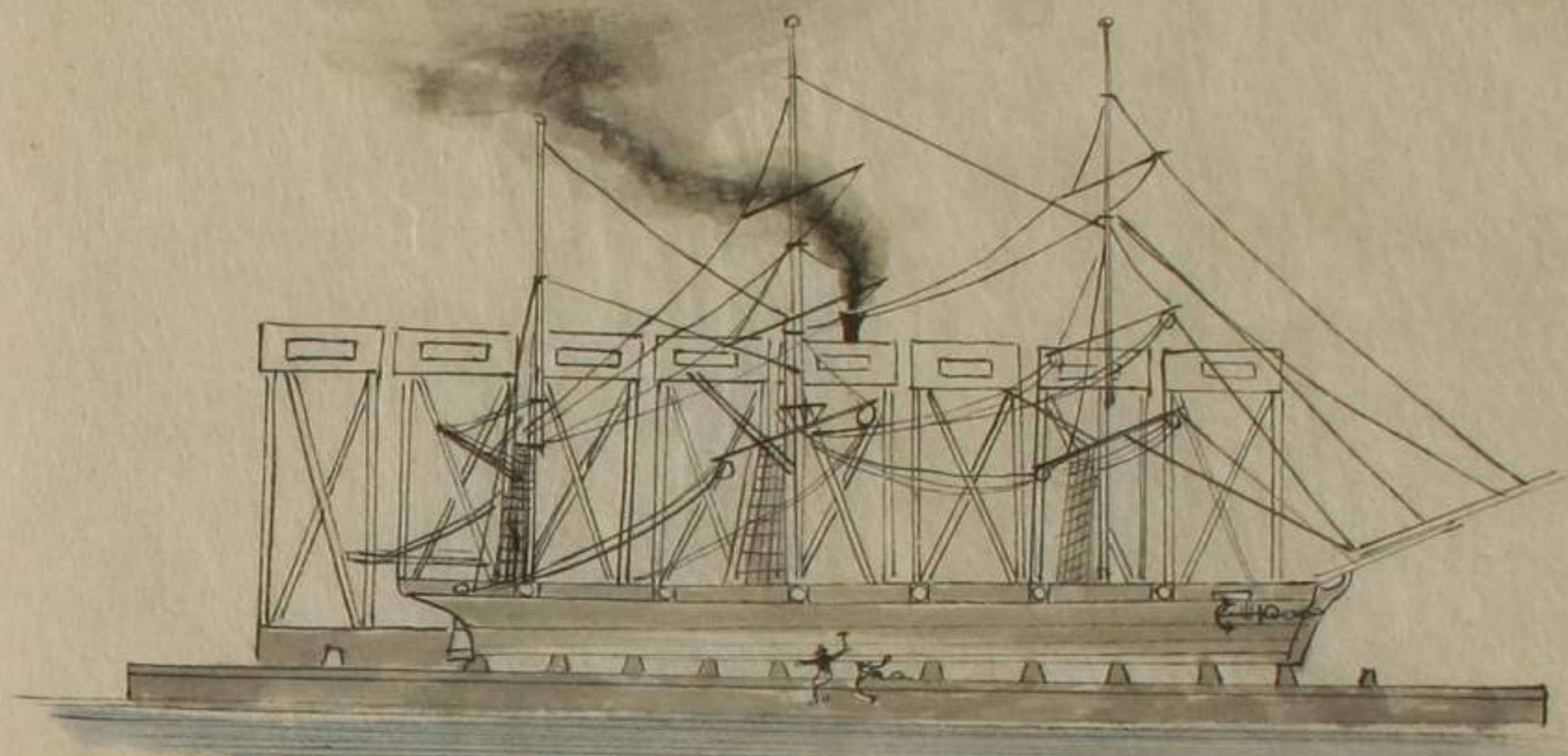
○丁ノ材ハ船ノ胴腹ニカウニモ船巾ノ廣狭ニ依テ
出シ入レ自由ナリ右モ鉄鏡取付アリ是ヲ以テ動
カス

一同前正面ヲ見タル圖

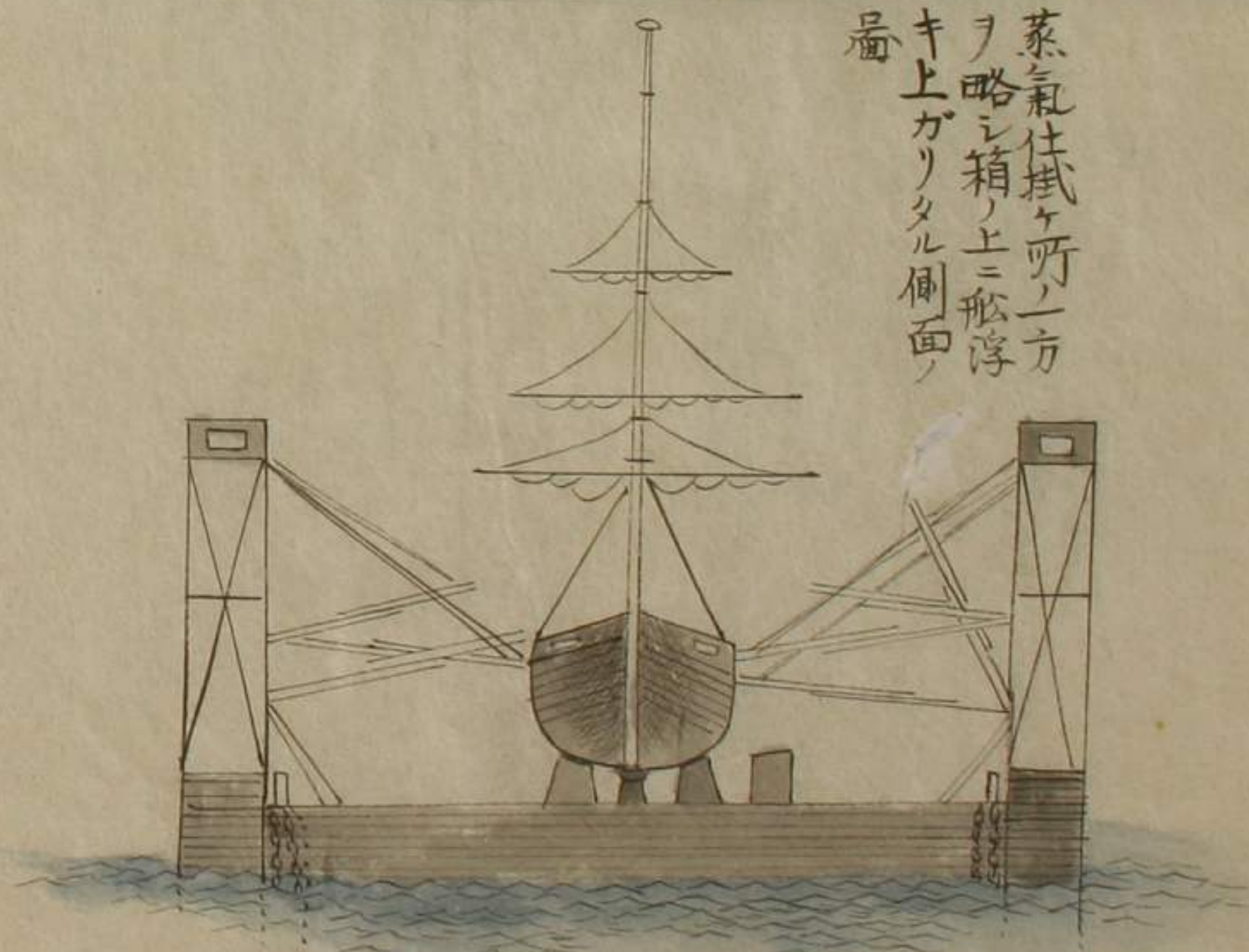


一 戊ハ船底ノ材料ヲ載セルタメニ是モ枚多キ故
何レノ所ヲ簞フニモ差支ナシ

是ハ船ノ左右ニ倒レ
カルタメ胴腹ノツ
リナリ船ノ大小ヨリ此材ノ出入レ長短ニ
自由ナリ
船ノ大小ヨリ
箱ヲ水底ニ
ツクメ方ノ多
小ヲ知ルタメ
此柱ニ目モ
リアリ



蒸氣は機ヶ所ニ方
ヲ略シ箱ノ上ニ船浮
キ上ガリタル側面
圖



船箱ノ上ニ浮ミ
出タル前正面ノ圖

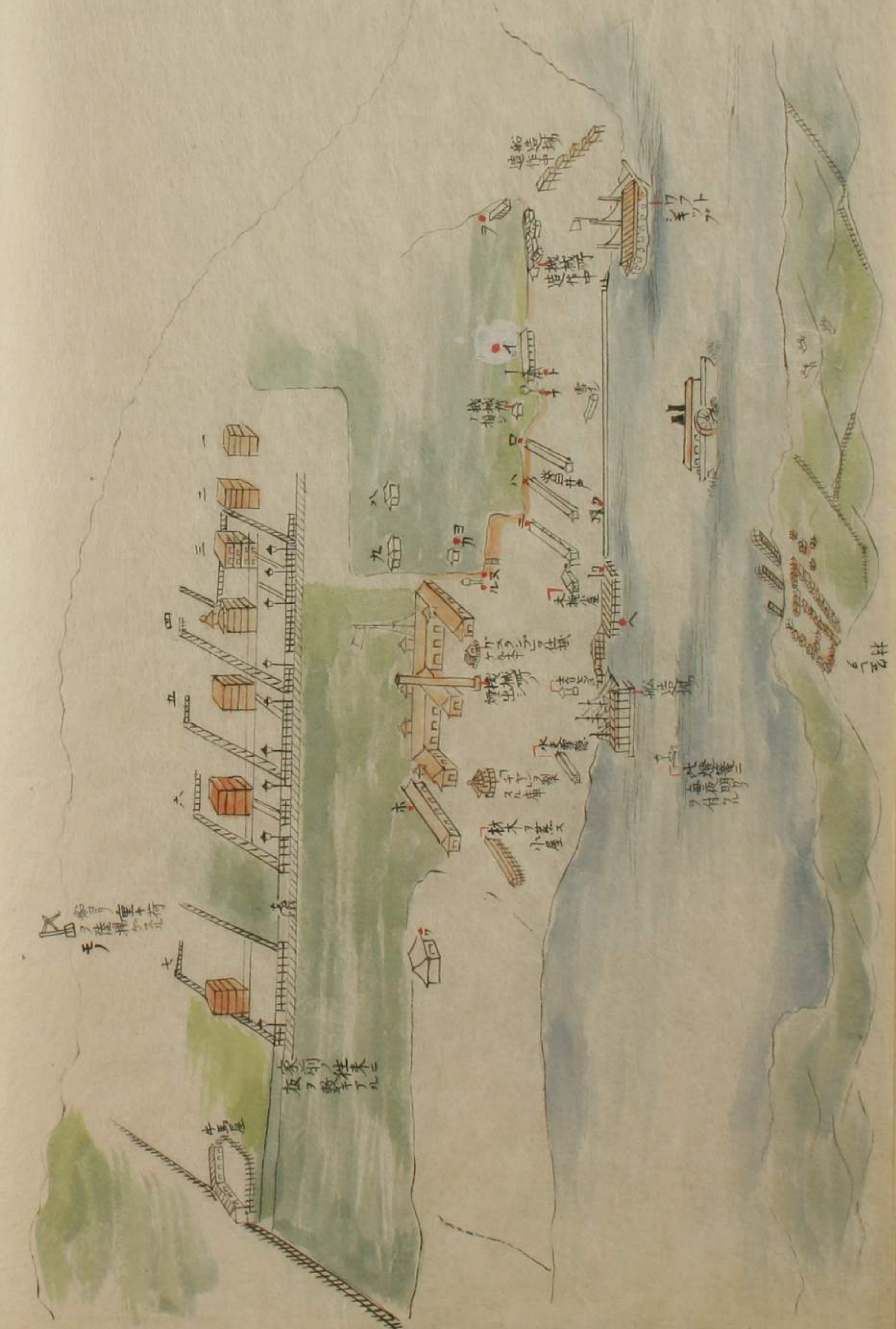
是ハ銅製ノ筒ニシテ
箱中ノ水ヲ蒸氣仕機
ケニテ引出スニ用

一右トローヘトツリテ蒸氣ヲ発シ機械ノ運轉ニテ水面ノ箱ノ水ヲ入レ此箱
ヲ水底ニ沈メタル要ニテ具カニ修覆ヲ為ス船ヲ繋入レタ
ル儀ハ又前ノ業ヲ以テ箱ヲ水上ニ浮メルをモ其箱ノ浮ム
ニ随テ左右ヨリ船ノ倒レサルヤウニ船ノ胴腹ニ杖ヲ以テ
ツクヲカウ此業ヲ為スニ我ガ一時計リノ内ニ為シ終ル右
岳面トローヘトツリノ大キサハスコノ子ル船ヨリコルヘツト船以
上ノ船迄修覆ヲ為スニ差支キレ大船ノ長サハ四十間前後
巾ハ六七間前後ノ船迄繋リ入レ寸間ニ水面ニ浮メルヲ以
テ右弘大ナル丁ヲ察スヘシ



火蒸庫

海運呀、大材等
多、故、置、
了、引、也、用、年



船、了、荷、
了、運、
了、

家、引、
了、
了、

小屋

水車

機台

造船場

三、
明、
何、

井、

六、

七、

八、

九、

一、

二、

三、

四、

五、

一 亜墨利加供和政治中ニ「子ベヤアル」海軍ハケ所有ル由右「マヤアイ
ラント」海軍所ハケ所ノ内ノオ七番目ナリト聞ク

一ハ 当時造作中

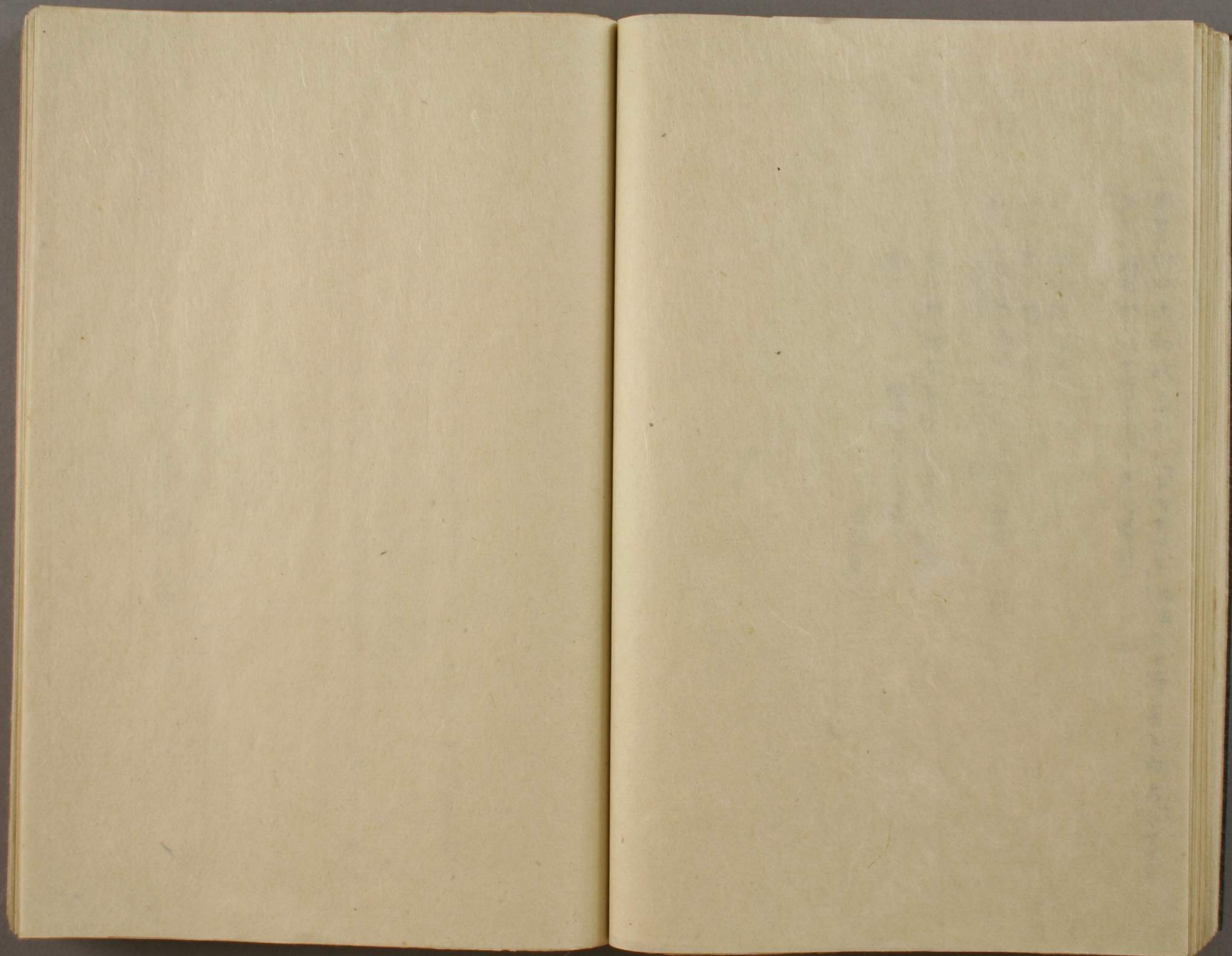
二ハ 未タ明キ家

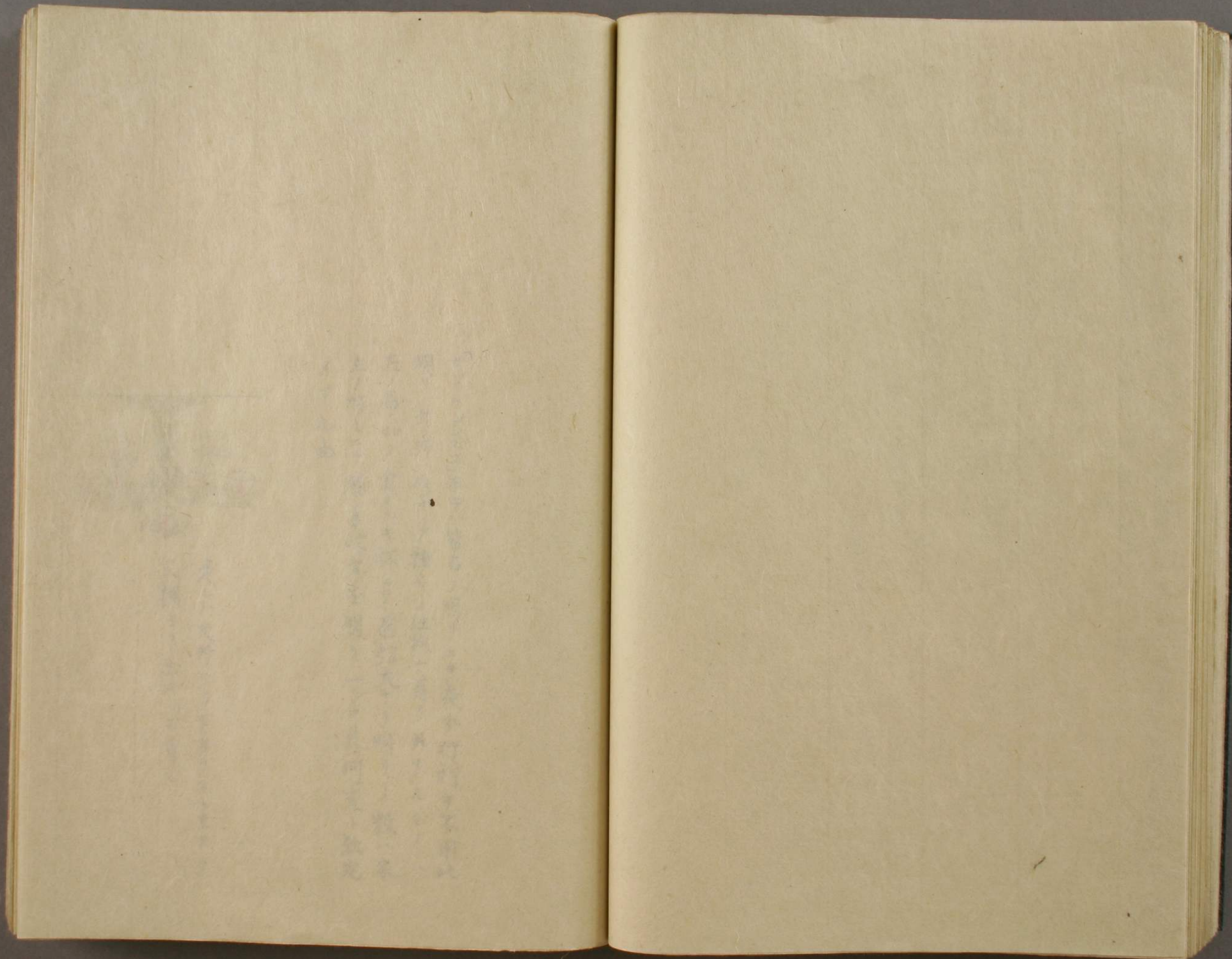
三ハ (陸ノ機械頭) ブリテン人 一書役 トウン人
助定役 ケツウエル人

日本咸臨丸乗組人士官以上

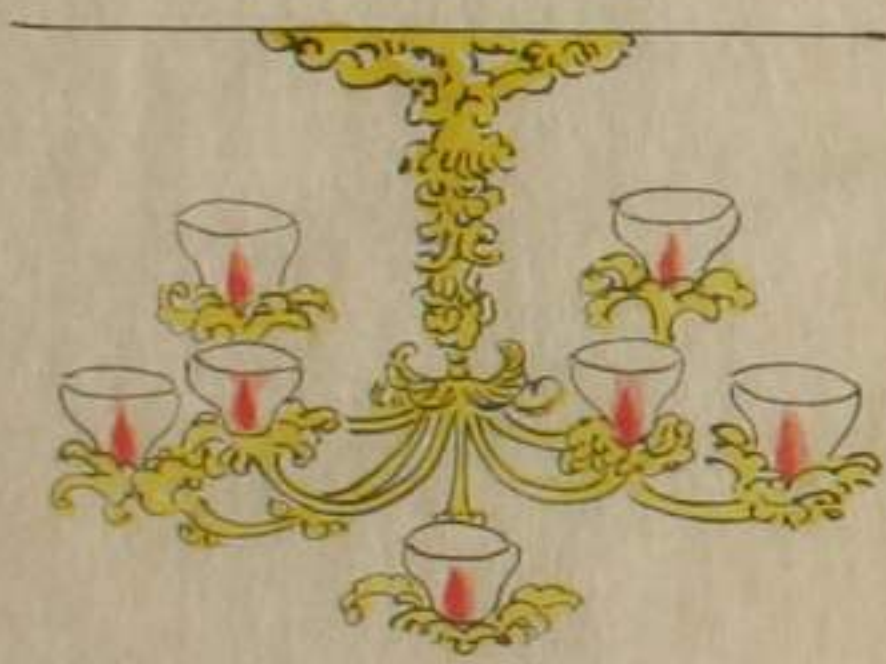
裏ラノ方ニ 醫師ノ見習

右住居ス





サフランシスコ市中ハ皆右ノ明リニテ夜分行灯ヲ不用此
 明リノ付ク所ハ硝子ニテ種々ノ仕掛ケ有リ美ナルモノハ
 左ノ圖ノ如ク金メッキ杯ニテ甚弘大ナリ明リノ教ハ家
 主ノ好ミニテ勝手次方を明リ一ツニ付何文ト歎定
 メアル由



是レハ天井ヨリ下カリタルモアリ
 又横ヨリ出タルモ有ル

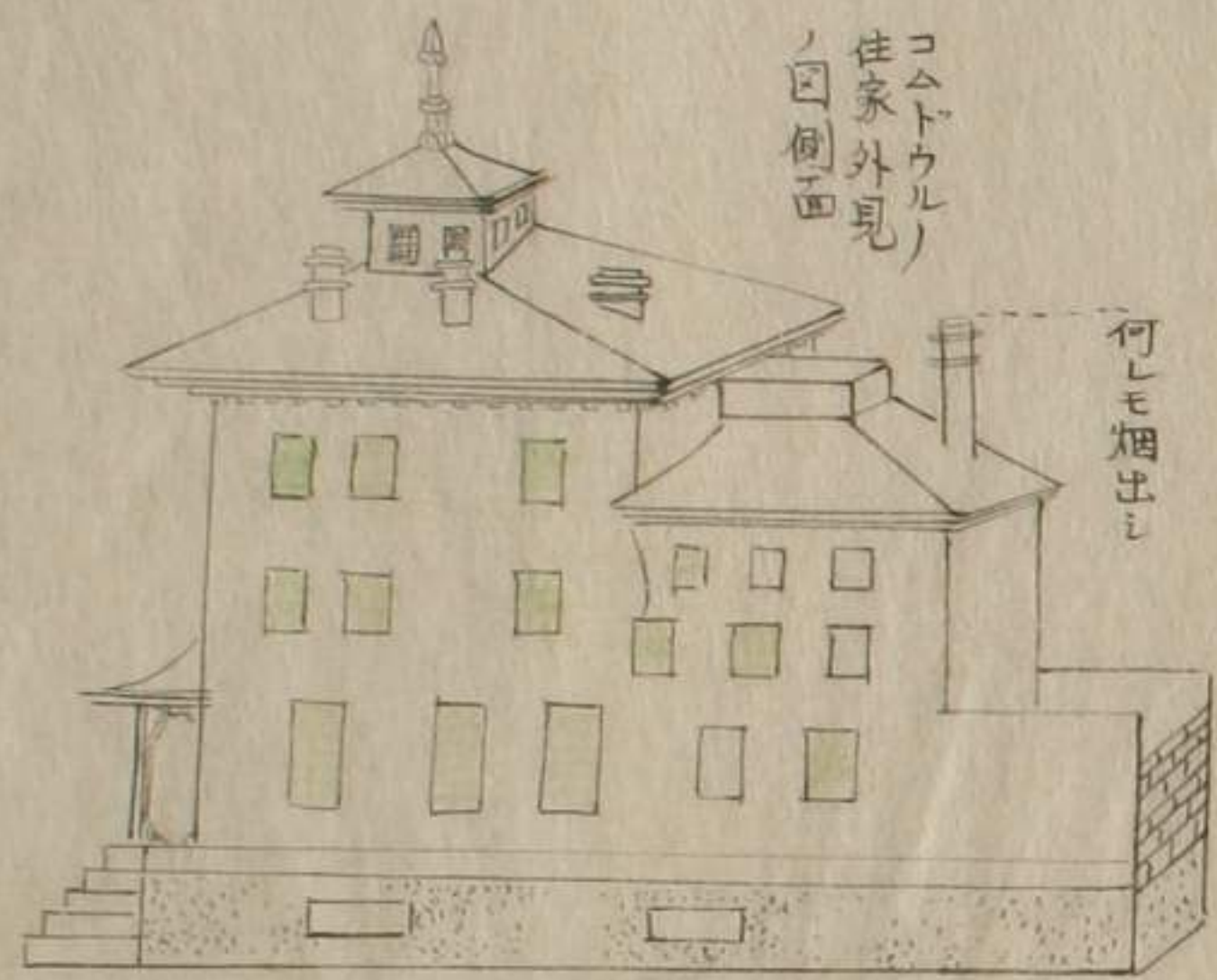
一回不見

一回不見

一回ハ船ヨリ荷ヲ陸ニ引揚ケル道具是ニテ上ケル時ハ重キモノモ一人ニテ手
軽ルニ引アカル

一回ハ下等士官住ム此人一刀ヲ帶シ夕方ヨリ夜中始終廻勤致居ル日本人也今
此辺ヲ往来スル時ハ右ノ人見送ル

一ワフトシキツプ船當昔是ハ「フレガット」ノ古キモノニテ最早航海モテキサル
船故砲臺ノ如ク当地ノ備ヘ付ケトナシ置ク此船ニ「カビタン」醫師
夫々士官并ニ歩兵水夫迄十分衆リ但居リ當昔非昔ヲ立テ
置キ甚嚴重ナリ此船ニ他ノ役人モ同居ノ由



コムトウル
住家外見
ノ回面

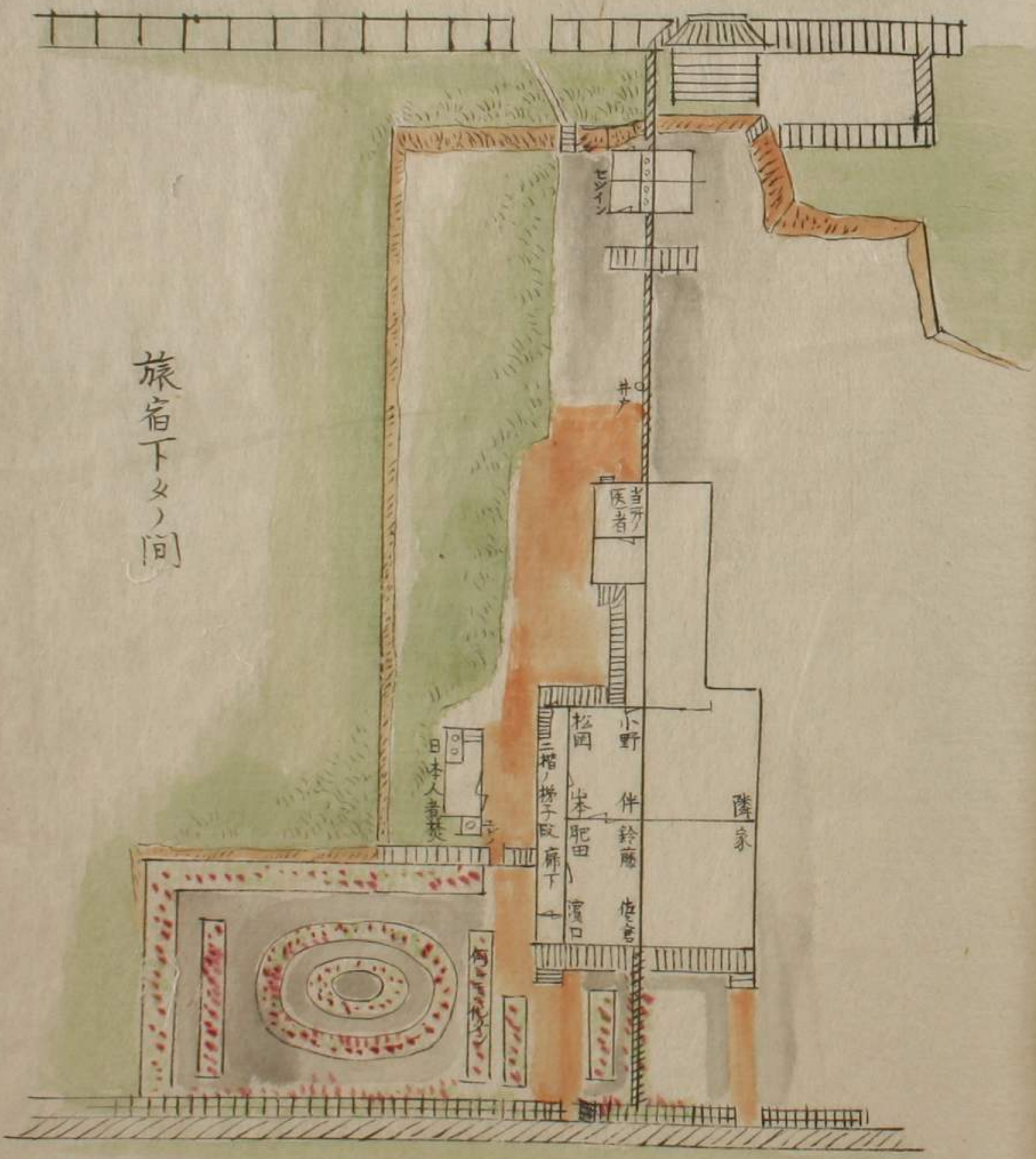
何レモ烟出し



縁ノ下ヲ入ッロ

日本人旅宿玄関

「カピタン」ノ家モ外形見分ハ士官ノ家作ト同根ナレ共中カノ造作ハ
異ニシテテ美ナリ



旅宿下々間



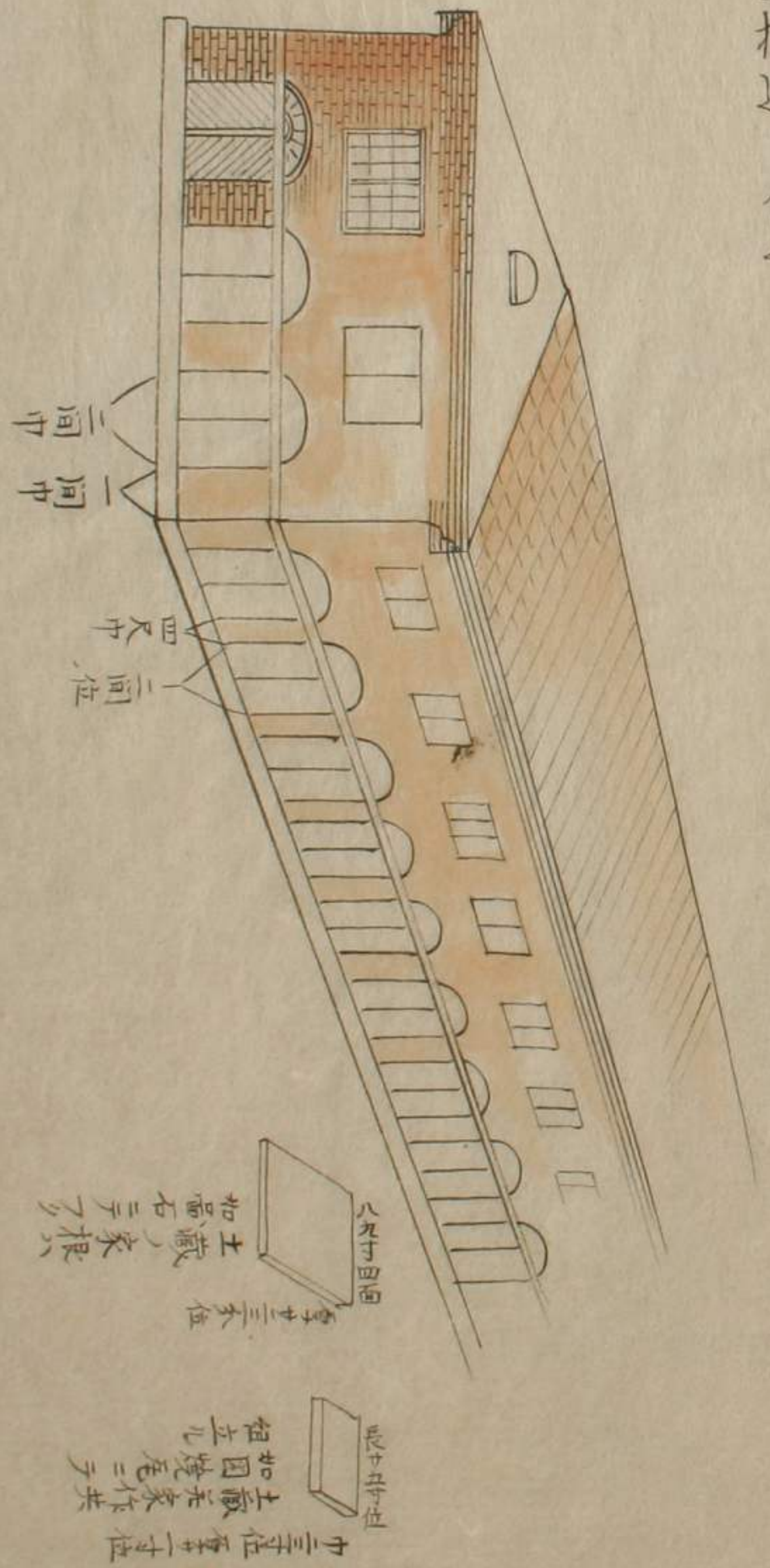
一 椽ノ下タハ住居所或ハ物置又ハ煮焚所ニ
 相成リ居ル支レ故サンフランシスコノ市中
 往来スルキハ椽ノ下タニ住ム人硝子
 障子ノ内ヨリ足下ニ取ル

此裏ノ張リ出レニ醫者ノ
 見習住居

隣家ニ
 此屋ニ
 牛ヲ牧フ

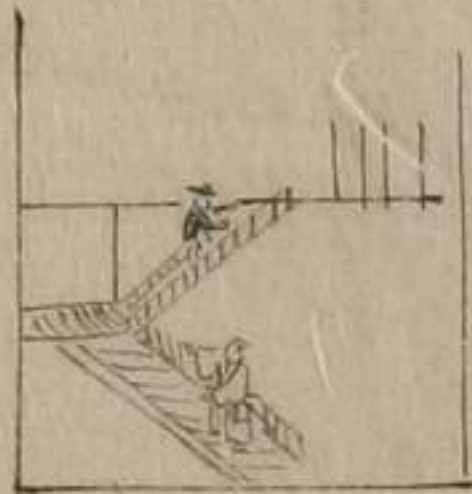
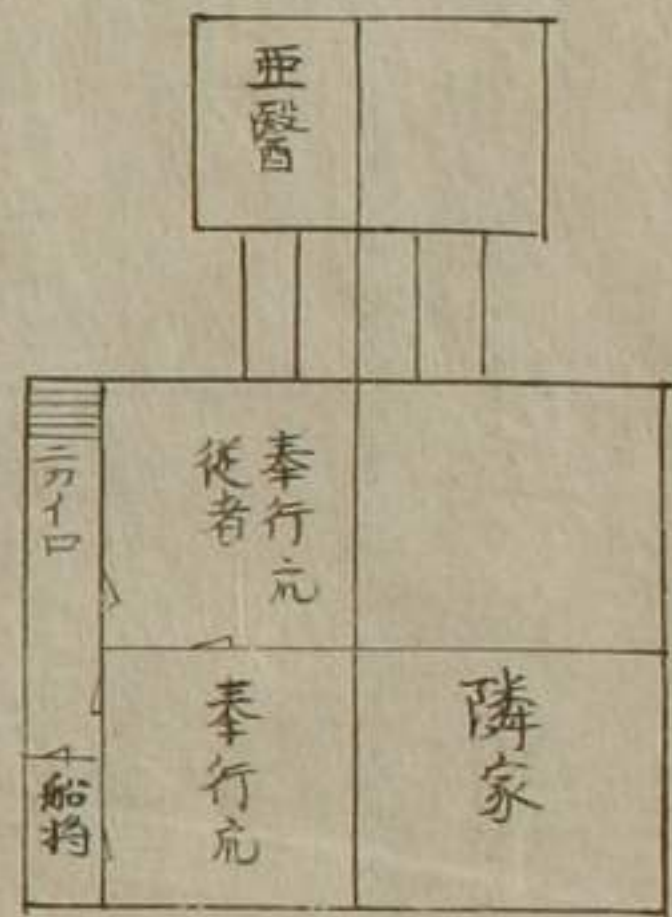
ホシ
 井ノ
 水ヲ
 引テ

上リ口

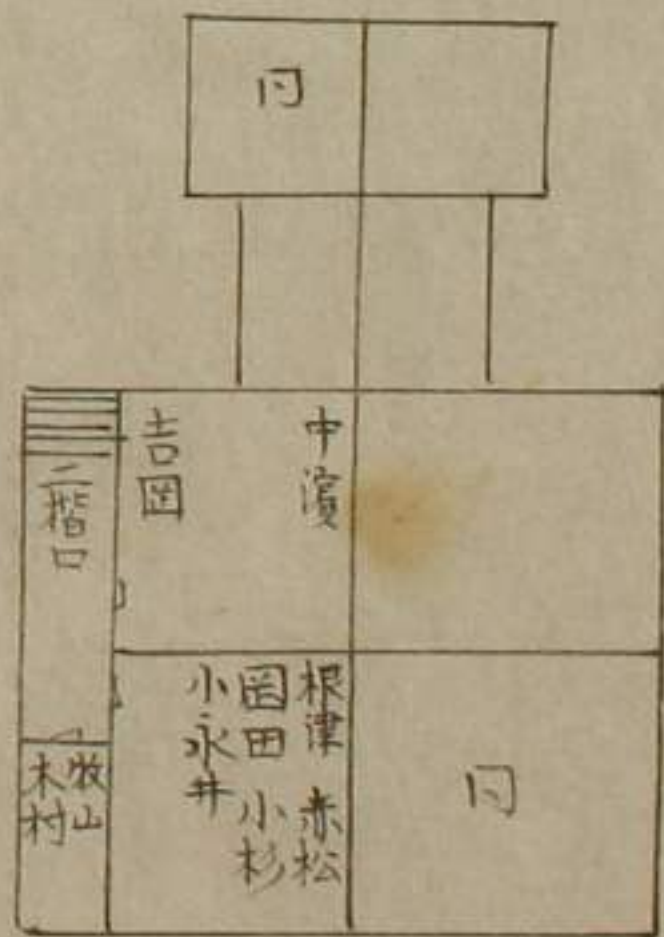


一前(園)イロハ番付土蔵ノ大キサハ長サ七拵ヲ余ニ如西側ヨリ二万巾ノ入り口ニテ
 四ツ、都合四十八ノ入り口巾十ノミテ入り口ニツツ、是レも二万巾ニテ前後ニテ六ツ何レモ
 二階造リ付也

二階



三階



一 二階ノ高キヲ我が国ニ倍ス依而何レモ一ツ
 二階ニ梯子ニツツ掛ケ置クナリ

四階目ハ造作未タ出来セズ

一当所ニテ大材ヲ運送スルニ牛二匹ヨリ十二疋運用スルヲ見ル



一牛ヲツカフニ歩トヨリ下知ヌ止スル
 歩止前後行運左右廻転等總テ
 牛自在ニ運動ス
 一牛用ノ先キニ樞因真輪ノ五ツク
 置ク是ハ並行スルニ隣ニキツク
 中ノ先カニカスル由

一井戸ニ風車仕掛ケアリ 風吹キハ始終水ヲ吸ヒ揚ケ居ルヤリ 当國ニテ我カ國ノ如キ井戸ヲ
 不見右ノ井戸ヲ見ルニ少キ穴ニテ浅深交ラニ不分ラ最モ雨水ヲ貯ヒ置キ是ヲ用ルト
 聞ク候シ其水ノ貯所ノ有リ所更ラニ知レス 昔フランシスコモ同根ニテ風車モ有リ又水ヲ
 樽ニ入レ車ニ載セ馬ニ引カセテ市中ヲ賣ル者モアリ 又風吹ク日ニ右ノ如クシテ往來ニ
 水ヲキツモ見ル其外椽ノ下タニ「ポンプ」^{如キモノ}ニテ道ニ水ヲ打ツモノモ有リ市
 中旅宿杯ニテハ壁ニ如國仕掛ケアリ 是ヲ「子ル片」ハ手洗水出ルモ有ル 蒸氣船
 ニテ水ヲ他方ヨリ運ビ来ルモアルナリ



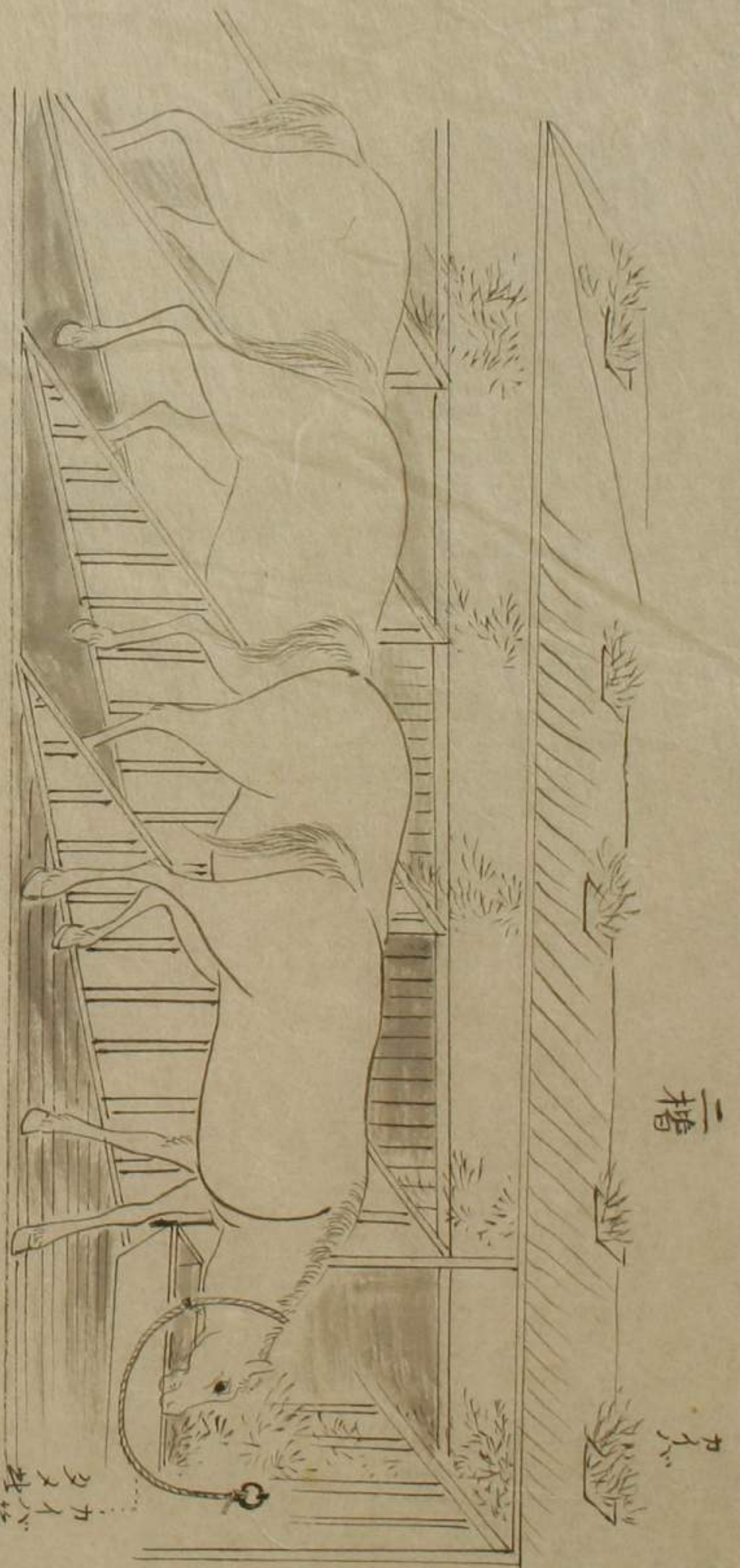
一当所ノ川ノ水ハ澄氣アリ 此水ノスミタルヲ
 不見始終濁水ナリ 此川ニ大ナル較多ク居リ
 亞人日ニ是ヲ釣ル 当番船ノ將官ヨリ折ク

較ヲ到來スルニ一間半余位ノ較アリ

一今夜隣家ニテ授琴ノ音ニ唄ヲウタフ聲聞ユ程ナリ士官人來リ我ホニ
來リ踊ヲ見ヨト云フ依之五六人ニ在隣炭ニ行キシ如酒者
ヲ出之士官三人ニテ踊リヲオドリコキウヲ引キ唄ヲウタ
ヒハヤシ我等ニ馳走ス右相濟政宿ノ爺士官一人ヲランター止
籠ヲ授ケ旅宿送ル

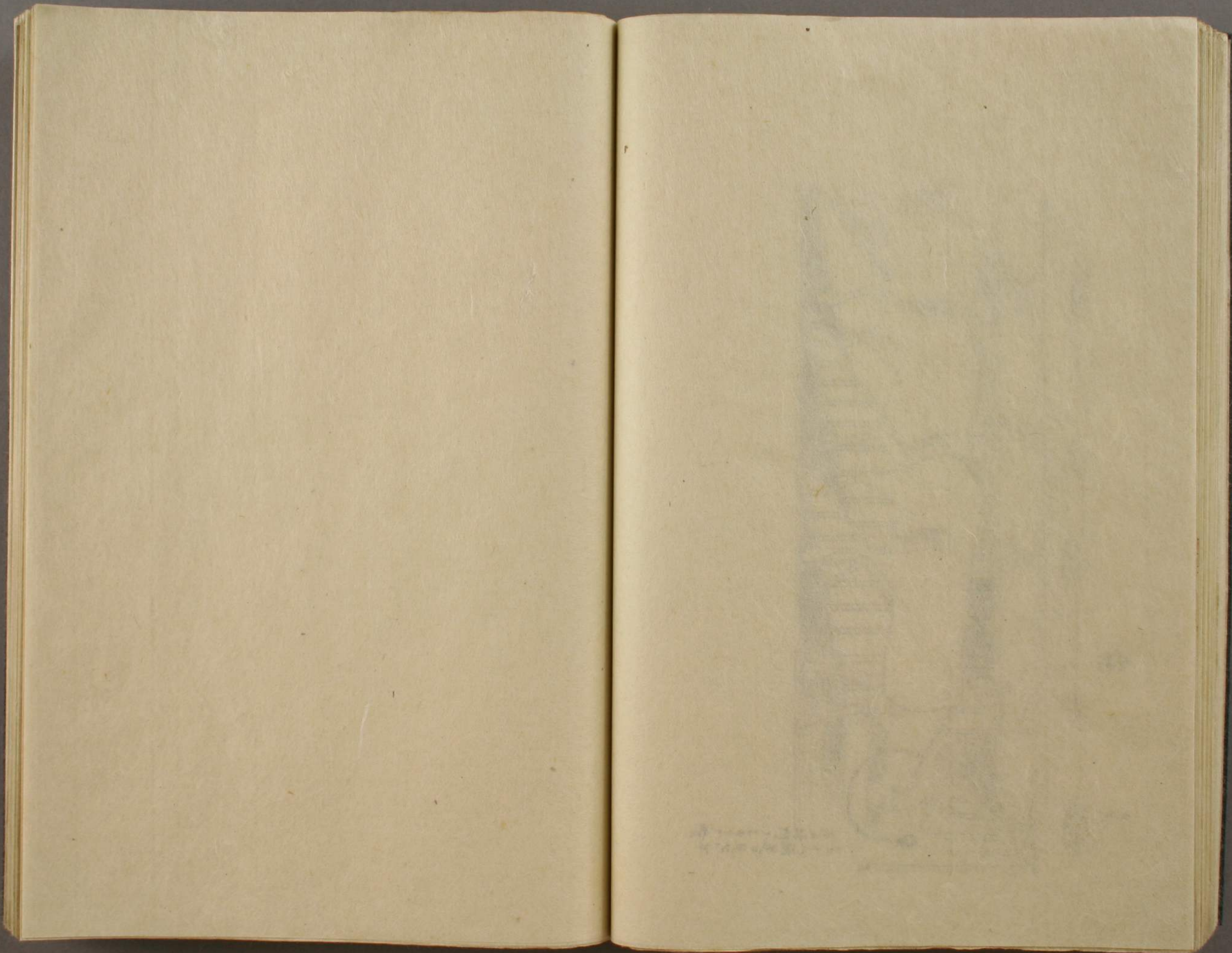
一馬屋ニ行キ見ルニ畷ノ如ク喰ヒ物ハ変ハラノ概ノ茶ヲキ
サニ二楷ヨリ落チル仕掛ケニ袴ニ置キ又別ニ箱ニ右ノ茶
ヲ小変ノヒキカラト水ニテ煉リ入是ヲ喰ハス其外ニハ豆
ノ如キモノハ更ラニクハセズソ湯ヲツカハセズ牛馬共
キンタマヲ去リ金踏ヲ拵チ付置キ馬ハ尾ノ毛ヲ切り短カ
ク成ニ置ク牛馬共ニ我國ノモノヨリ大ナリ大モ大小種類
多ク八九種ノ大ヲ見ル又鹿毛色ノ猫ヲ見ル是ハ旅宿ノ醫
者ノ方ニアリ何モカハリタルナシ

カハ、箱是ヲ見セカ
カハ、箱是ヲ見セカ
カハ、箱是ヲ見セカ



二槽

カハ



以下
3 丁
白紙

三月十七日晴天

一寒暖計 五十二度

一木船当番交代改館之事

三月十八日

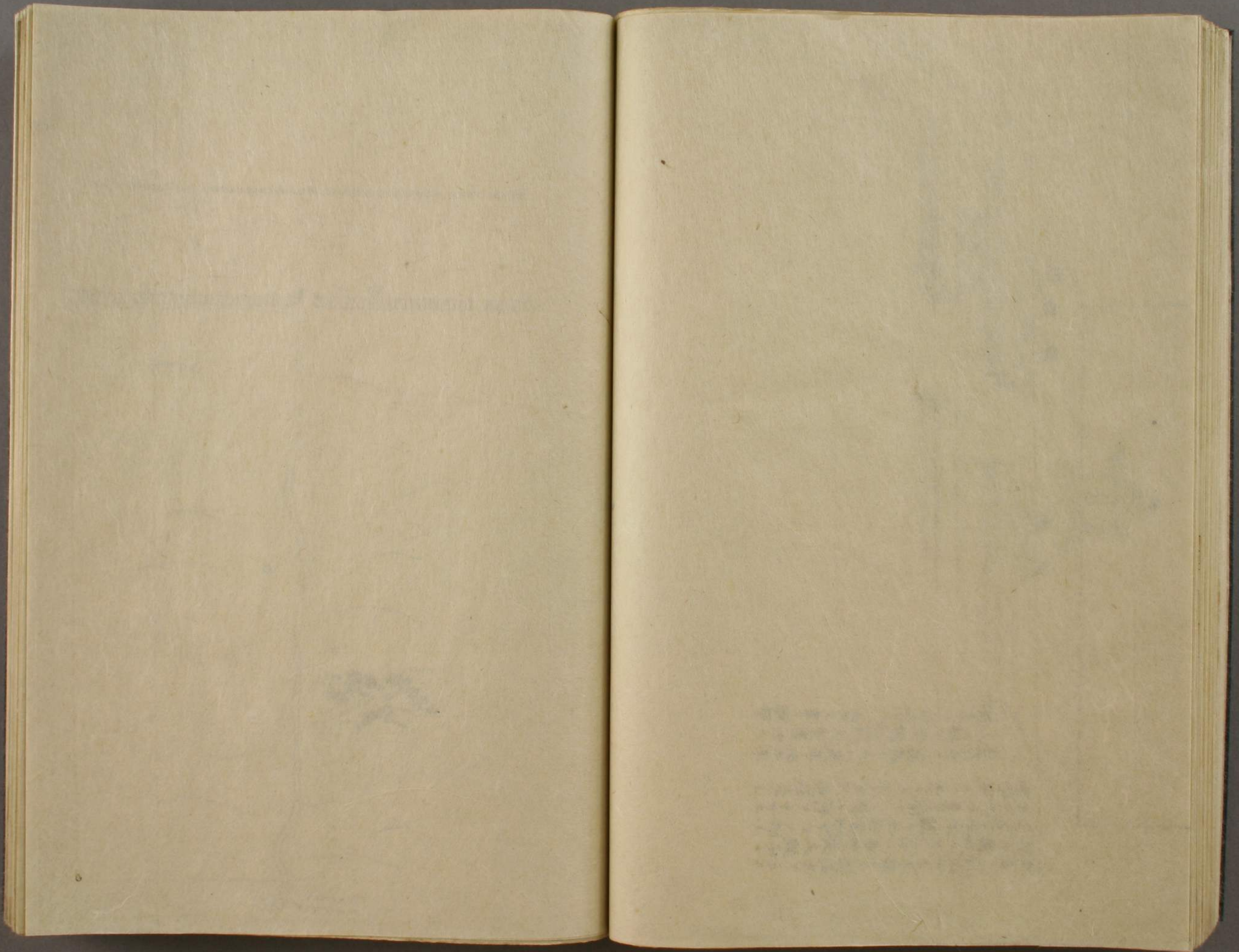
一折々雨降ル

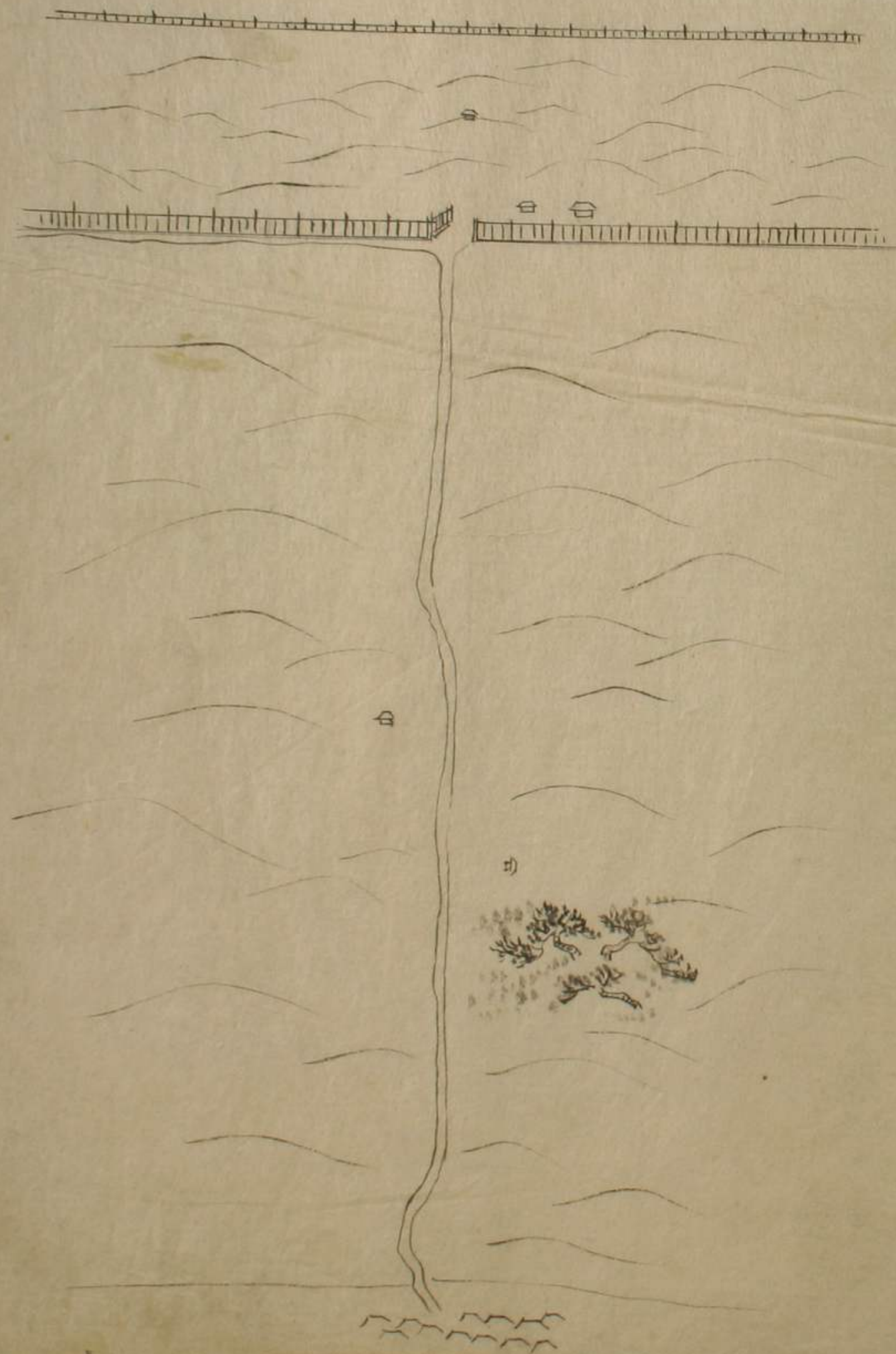
一勝君小野中濱サンフランシスコヨリ罷返ル

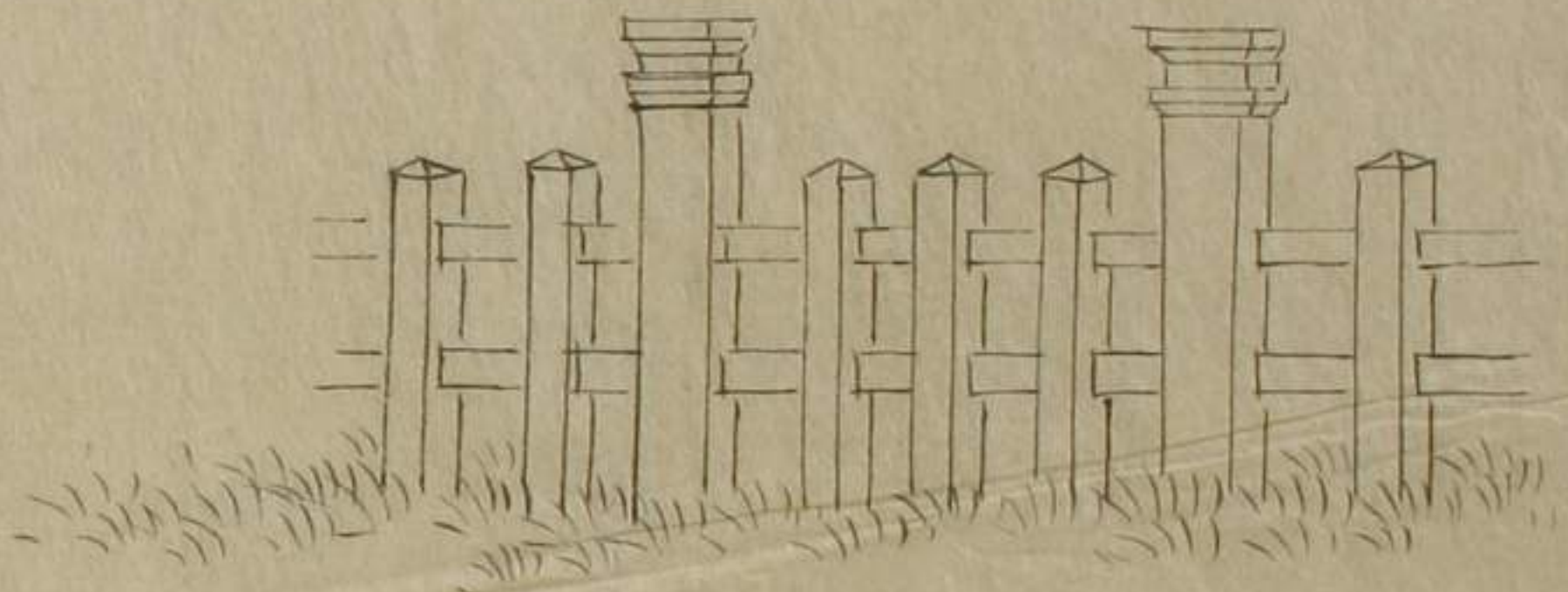
三月十九日晴天

一昨夜雨 今朝少雨

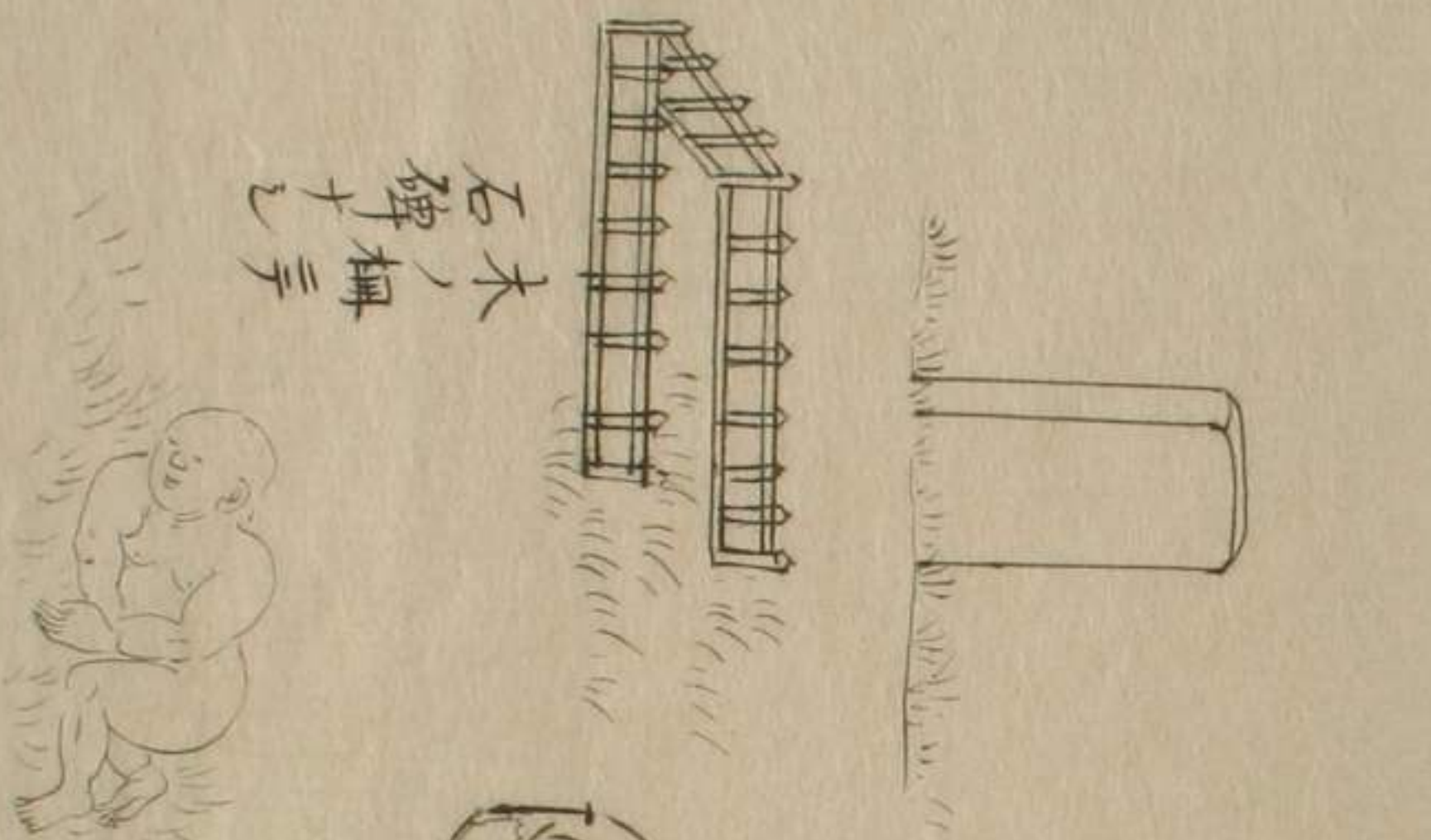
一カヒタン誘ニテ困印ノ土蔵に罷越シ説法ヲ聽問ス



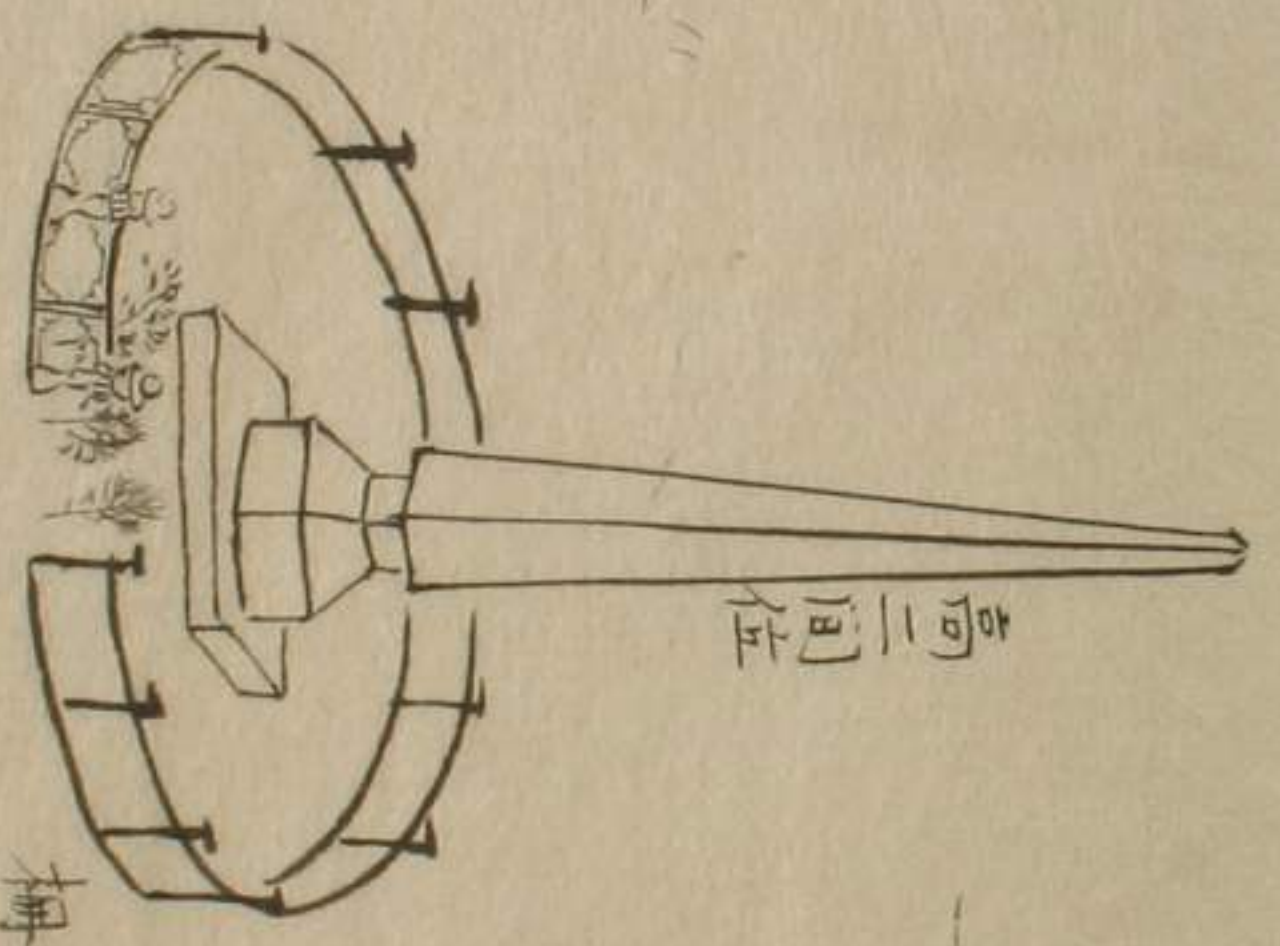




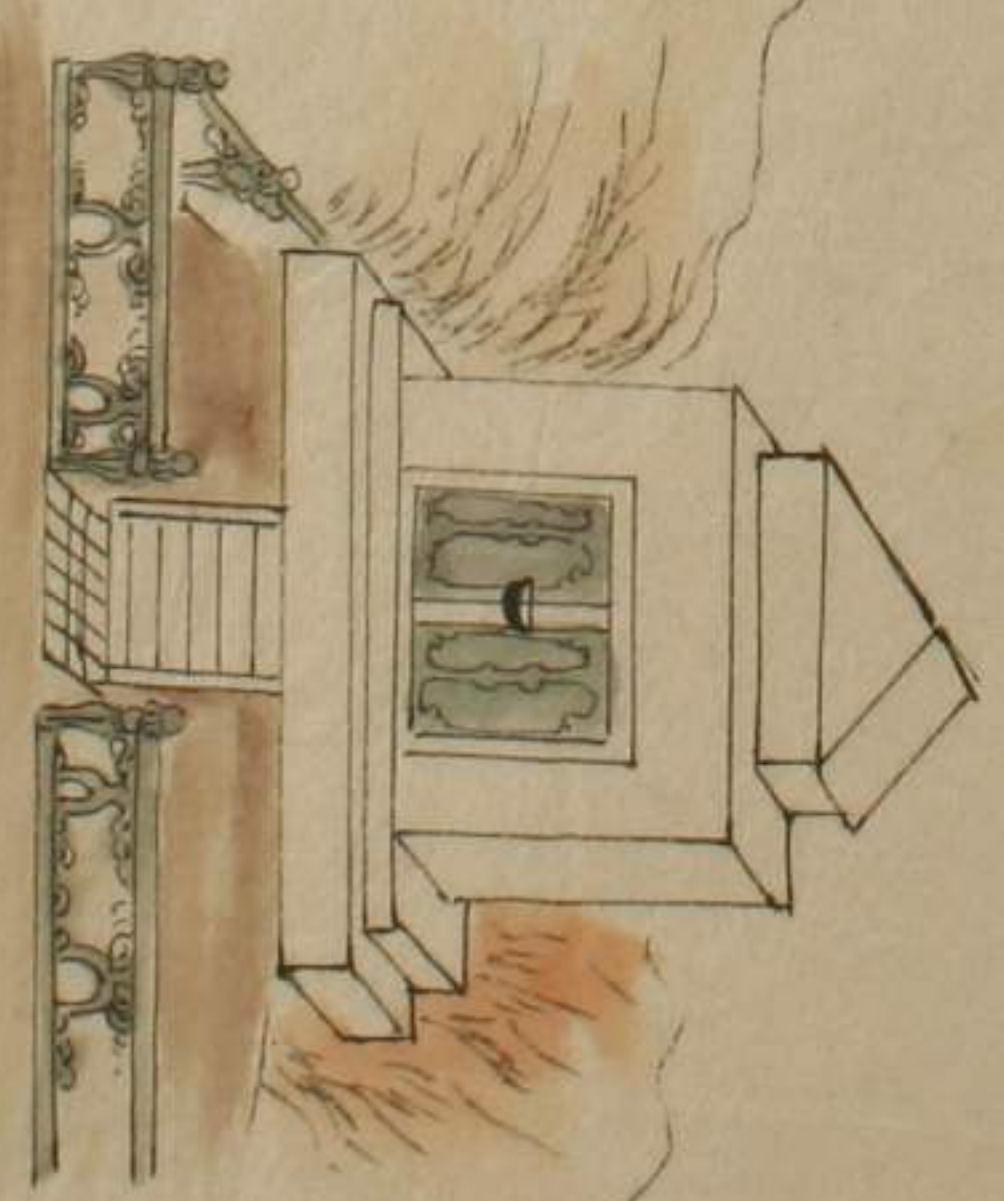
一墓所周圍如圖大角材ヲ以テ造ル墓地巾
 凡ソ八九丁長サハ何十丁アルヤ何里ア
 ルカ交ラニ見通セズ
 一途中悉ク砂地ニテ道巾廣ク横道更ラニ
 ナク道ノ中カニ水ワキ出ス所ナドアリ
 甚歩ミニク、總テ野山ニテ高山ナリ野
 原又ハ丸山ニテ山中柵（柵）多シ何レモ大
 木ニテ屈曲拳節ナリ異ナル小鳥多ク牛
 馬多クトコロトコロニ人家四五軒アリ
 是ハ多分牛馬ノ世話ヲスル者ナルニ
 二披掛ケノ小銃ヲ荷ヒ大ヲヒキツレ獺
 師ヤウノ者折々見ル



小見ヲ石ヲ
 キカニ石碑
 ノ代リニ置
 リモナリ

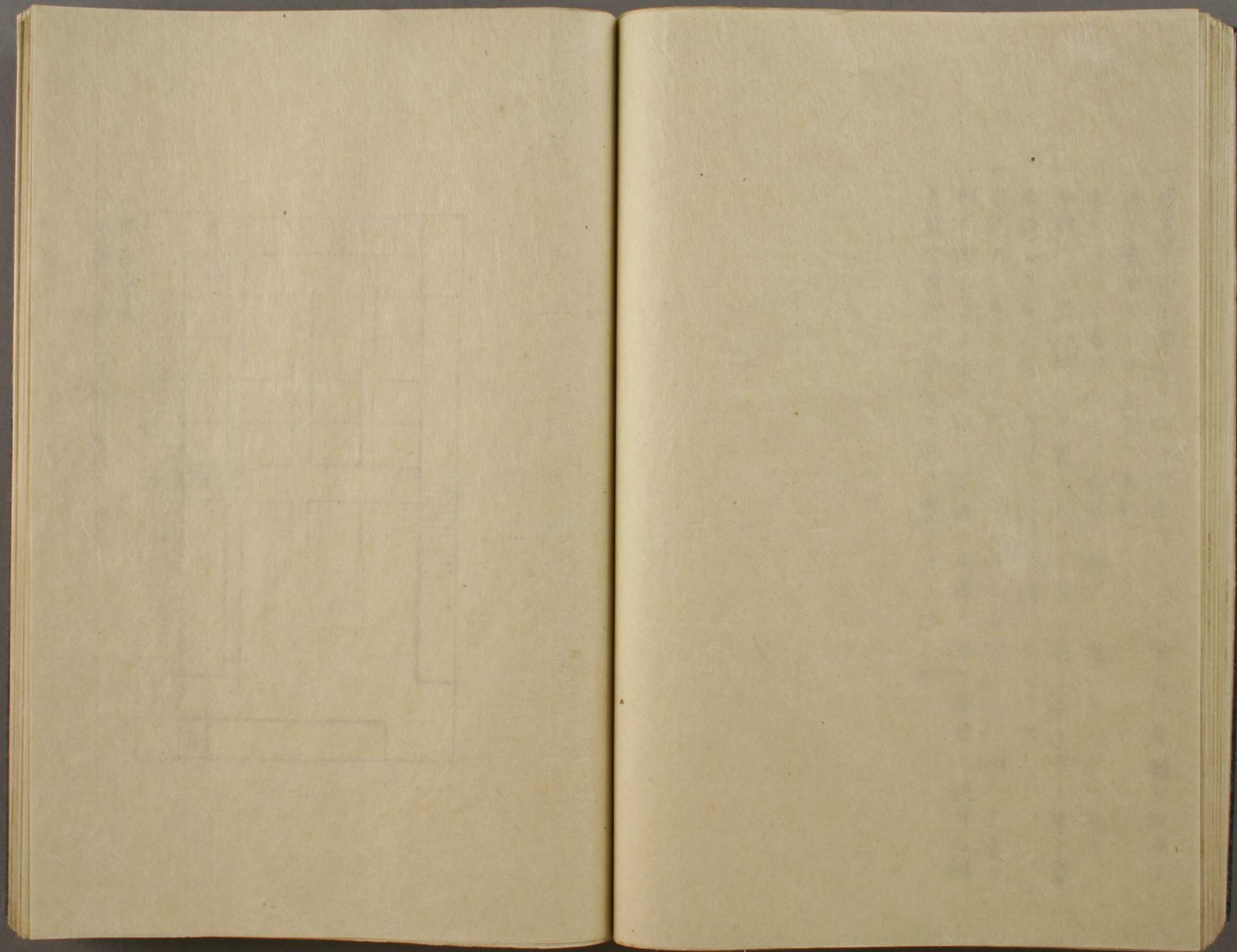


何レモ鋼或ハ鉄ノ鑄造ノ柵

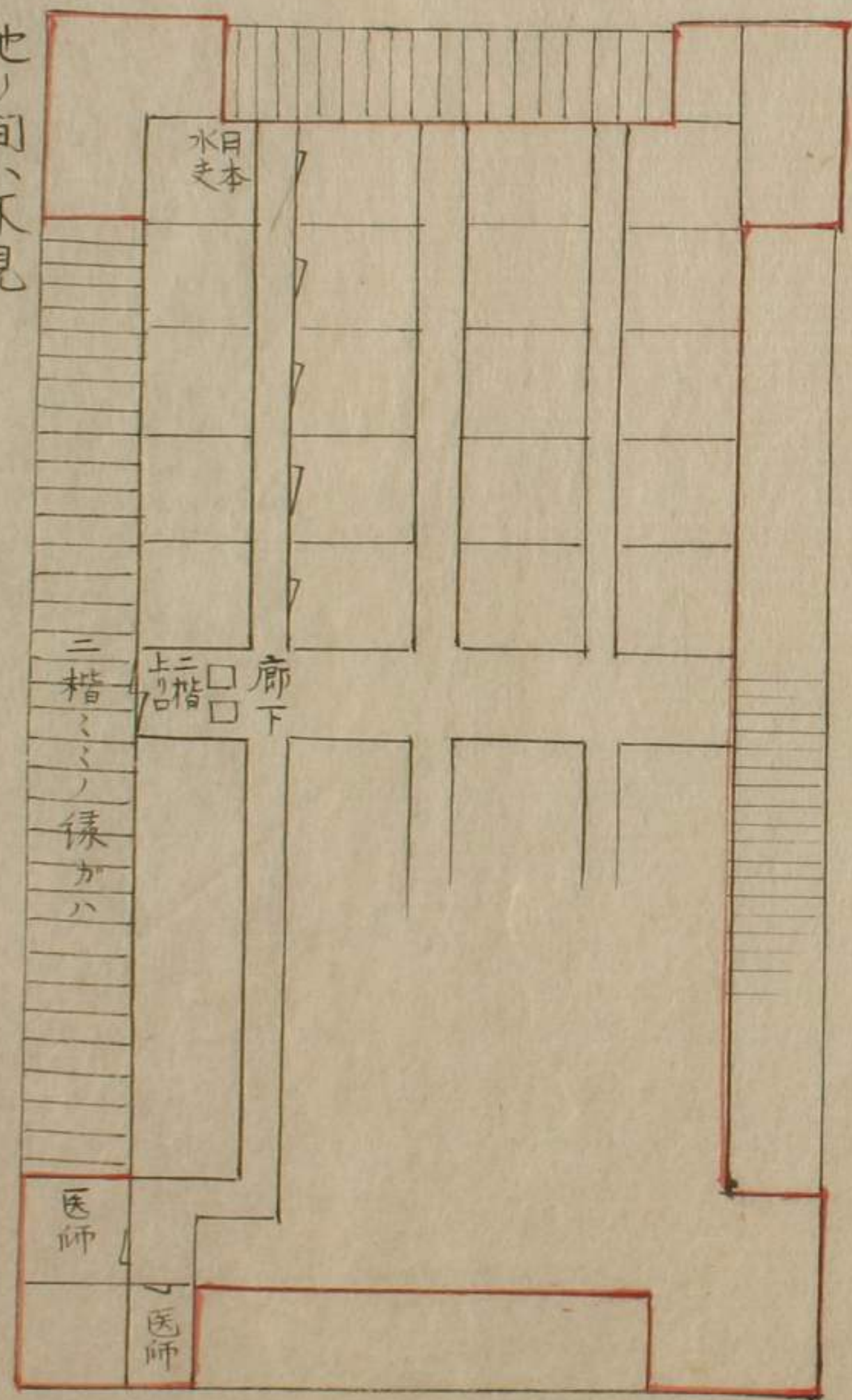


一間四面位ノ大サニテ
 石櫃ノ由鉄ノ鑄物
 ノ戸ヒラテ鑊前社

一草花ヲ持チ墓参ヲスル男女多シカモ今日ハ日曜日故今日
計リ墓参スルカ委委委ハ不知
一墓所入口ニ番所ヤウノ藤家一軒アリ馬一疋ツナギ置リ
一中程ニ小家一軒アリ是ニ人二人住ニ居リ源之助ノ墓ヲ案
内致シ呉ル此者ハ墓守リ又ハ穴掘リナルニシ
一石碑大小是レアリ何レモ「マルムル石」上品石極ニテ造リ
形ヲ稍々アリノ士官杯ノ石碑ハ周圍ニ銅ニ唐草ヲ鑄付ル柵
ヲ構ヒ其内ニ草花ヲ造リ置ク右ノ因ノ如ク

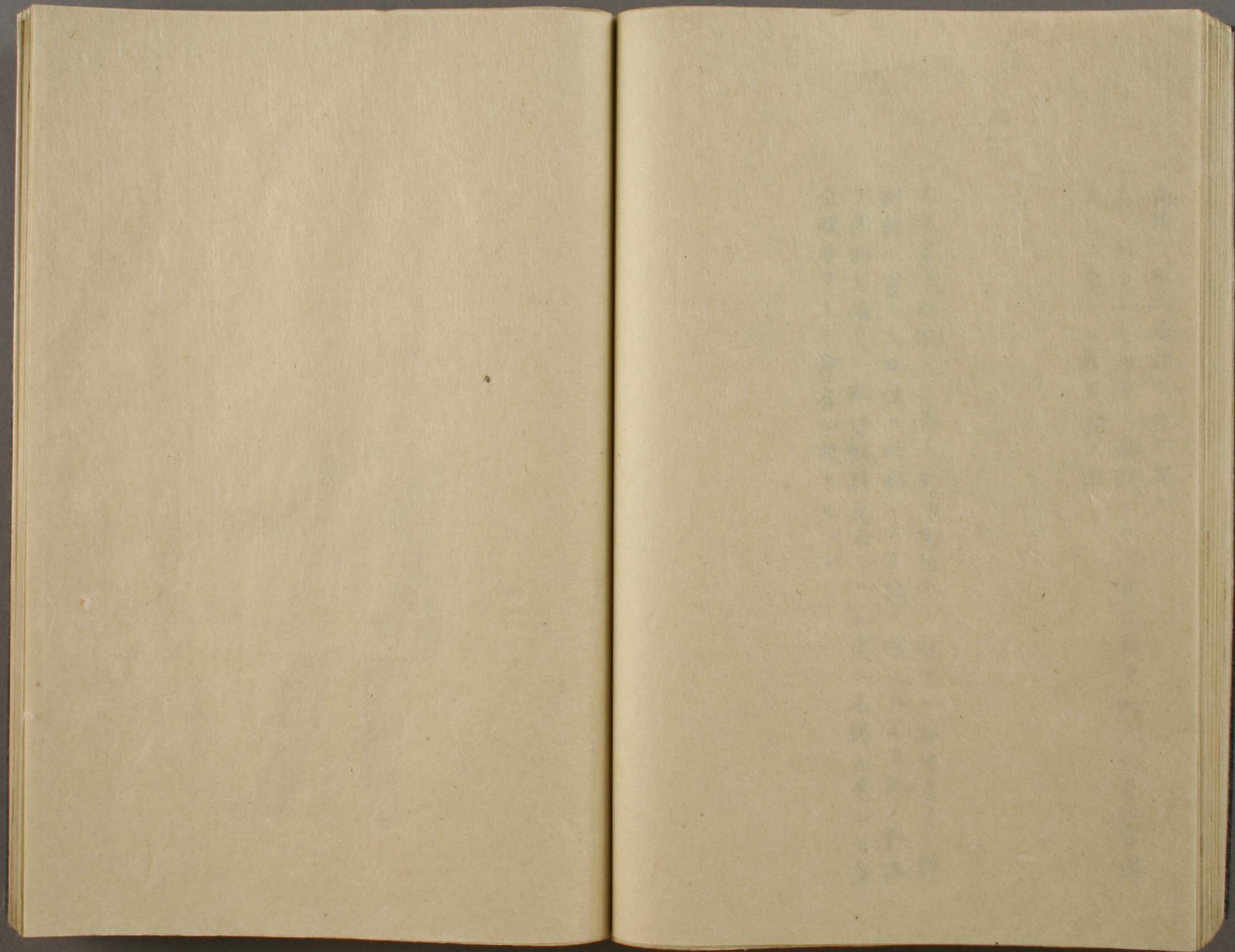


一 他ノ間ハ不見
 一 土臺ヨリ上迄家作形リ朱引キノ如ク



一病院ニ馬二疋計リカヒ置ノ
一右ノ外カニモ市中ニ病院一ヶ所有之由大町人出金被シ困
窮人ノ為メニ建テ置ク由

一右大蒸気船旅人三百人前後乗組居リ船中ニ料理屋又ハ評
判記ヲ買ル人杯住ハ此船ニテ夕飯ヲ喰シハ不立派ノ料理
ヲ免出シ依之ニ船賃飯料免出シハ不立派ニ不請丸是レモ多
分政府ヨリノ命有ル故ナルベシ

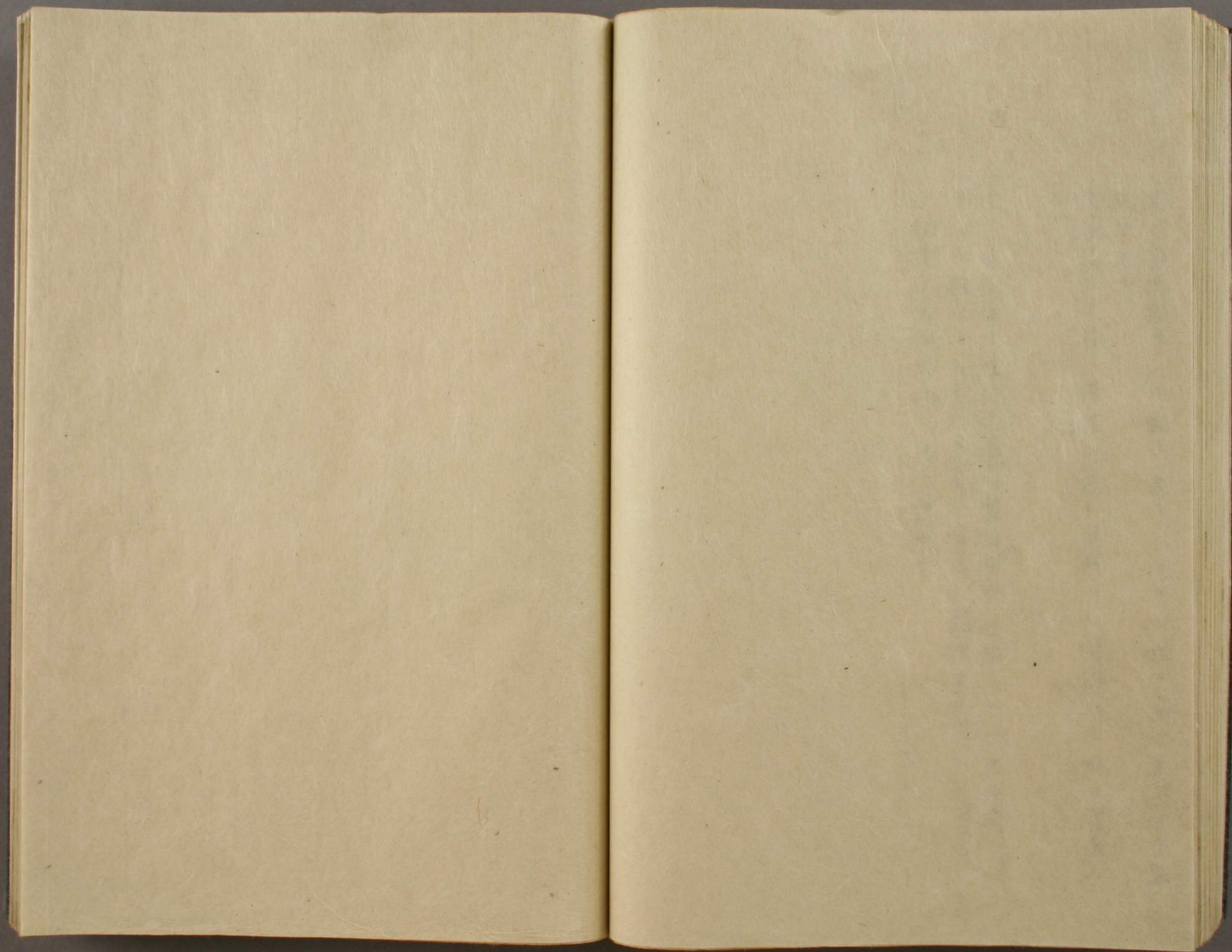






右ノ者共猥リニ此船へ乗り入ラサル松ニ「カビタン」ヨリ立
札ヲスル
又旅宿々モ右ノ者不入松ニ歩兵一人旅館入り口ニ當番ス
ルナリ

一右ノ者午後三時迄蒸氣へ乗組船中音楽シナガラ強攻ルベ
子シヤ村ウエレヲ村の者ハ往返共國旗を立てタル「ハツテ」
ラ牧艘ニ乗組向地へ渡り退散す



以下
3 丁
白紙

一夜ニ入り雨降ル丁微少ニシテ三度直キ止甲板上不湿

四月六日晴天

一十時五分「キ」ヨ王ノコ使者事努宰相来ル兵ヤル摸板ノ徒
ヲシタル礼服ヲ着シヌテ^レキ^レ礼服ヲ着シ冠ヲ金筋を一
本入レタル服曳を着シ太刀ヲ佩キ一人ニテ来ル此者元ハ
英人ノ由

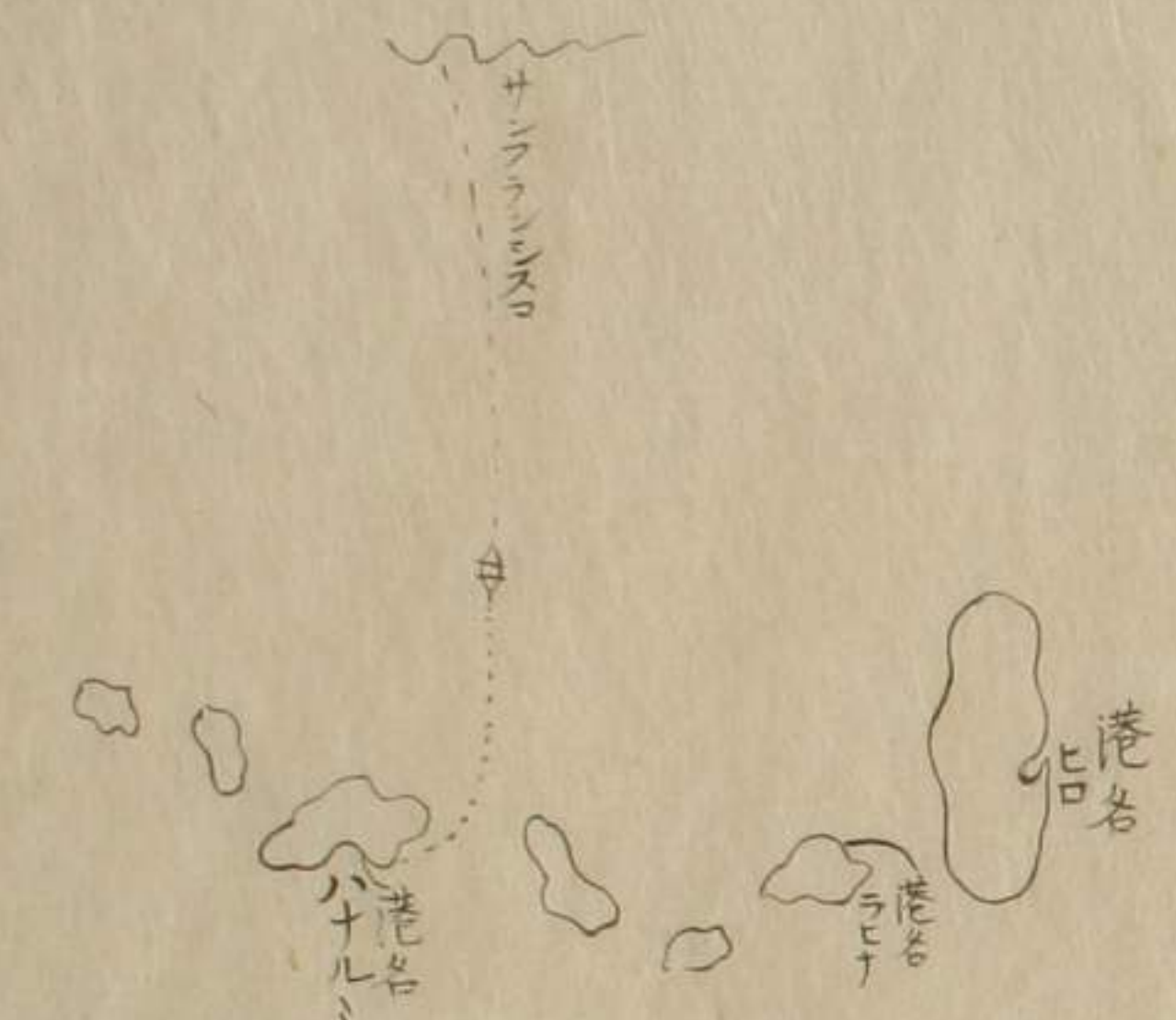
ワレケヒナ
谷人



白毛
此唐草何とモ全銀
ニテ造ヒトリ

一 此使者改陸々岸祝砲放発あり改の亦水船岸付ケニおぬ唐
以ニ付祝砲しそあり由船に出入し岸歩兵ニ命じ小銃の
礼ヲ為し大鼓を歩メセルサリ

サントウ井ス島分ケ



- ハワイー (長八十四里)
- マウイー (同 十五里)
- ラナイ (里数不知)
- モロカイ (同 八里)
- ワホ (同 四十五里)
- タワイー (同 四十五里)
- マイハウ (里数不知)

右七島ノ惣名ヲサントウ井スト云フ徳人員七万人ト云フをモ諸国ヨリ来
 リ此国ノ人別ニナリタル者追算入ス

右人口七万人ハ一崑ニハ少ク、
右崑里方ハ英国里方ニシテ一里ハ我ガ半里計リニ当ル

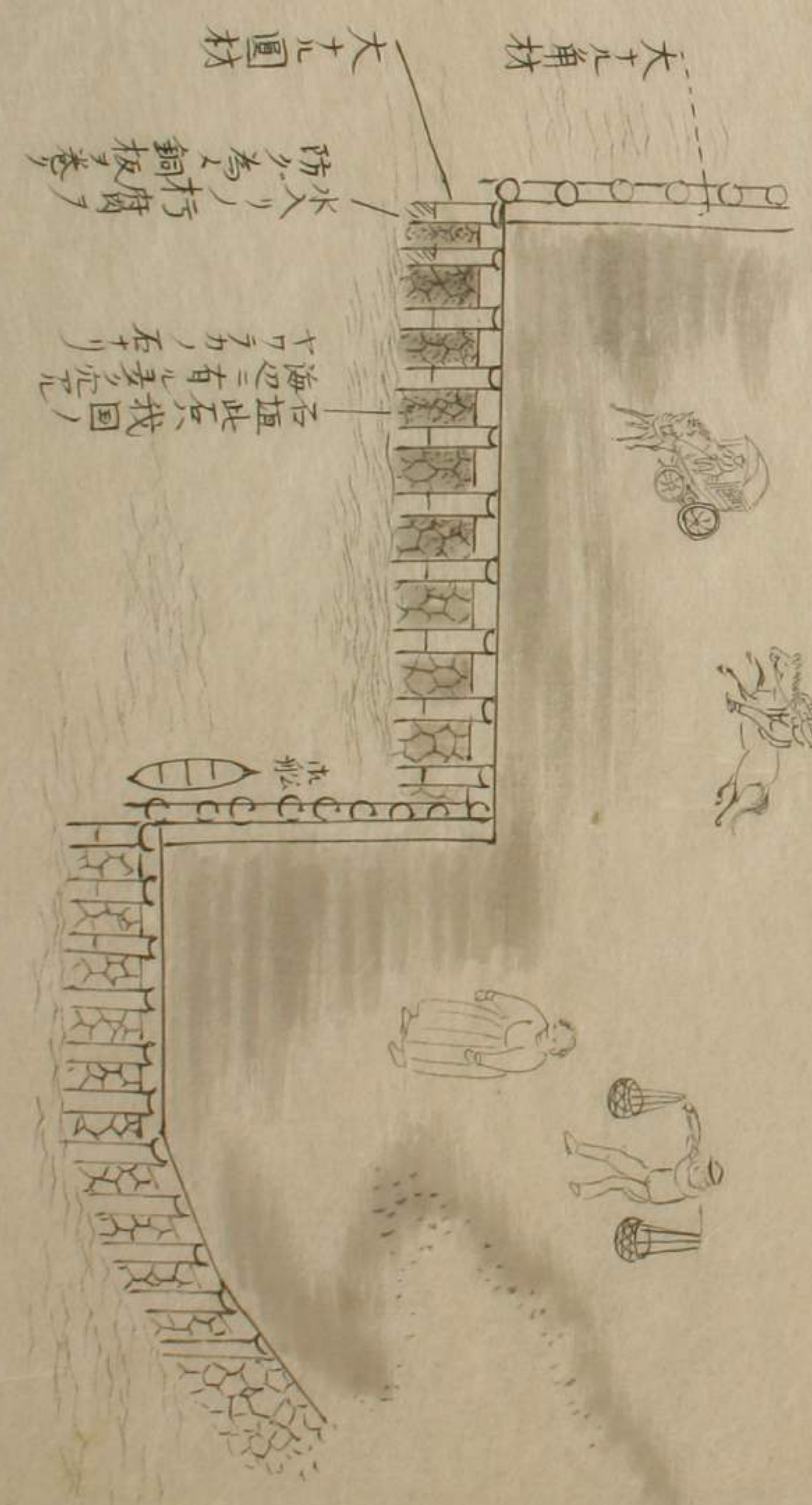
一此国寒暖ハ年中如左

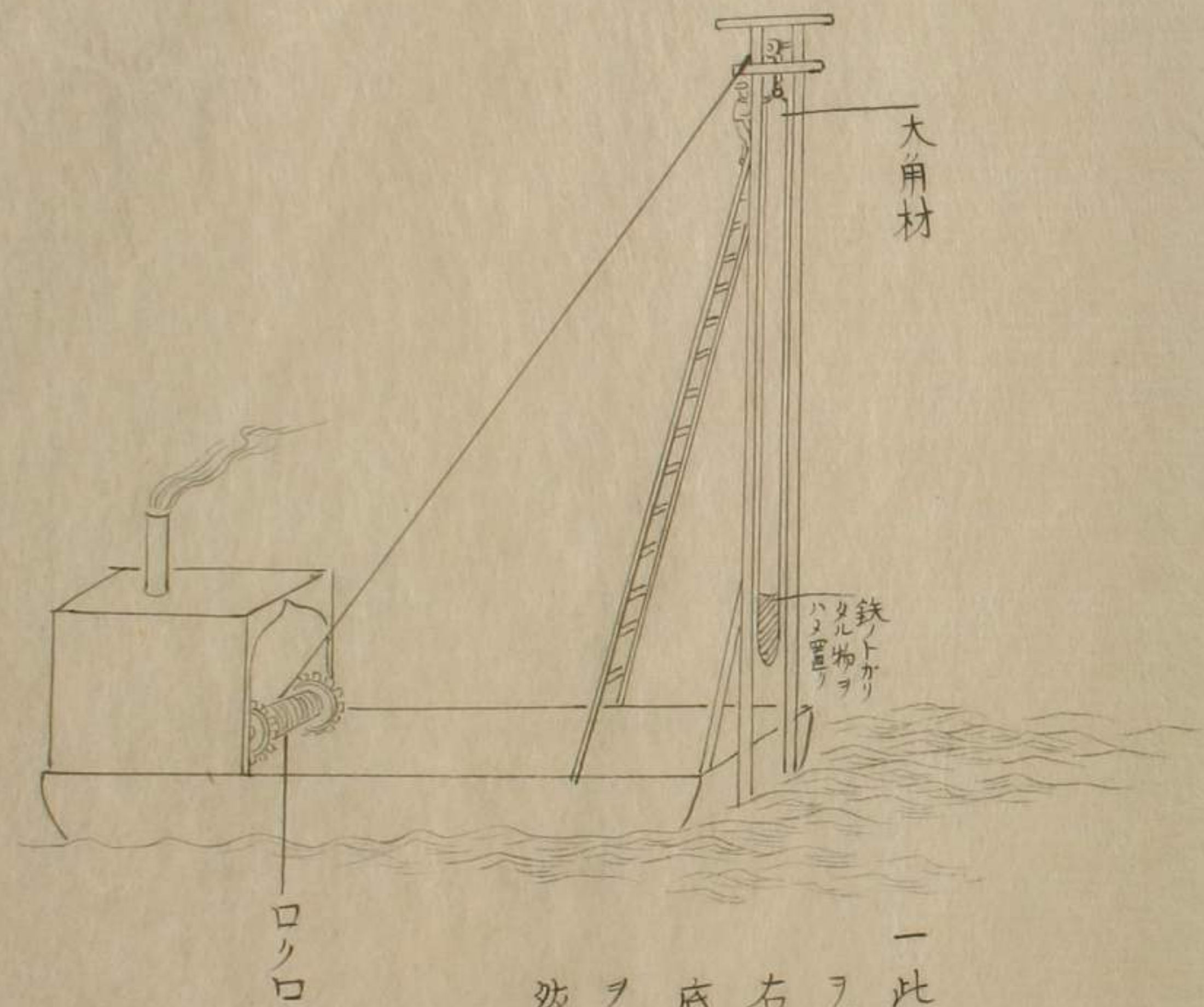
寒中 六十度
暑中 八十度



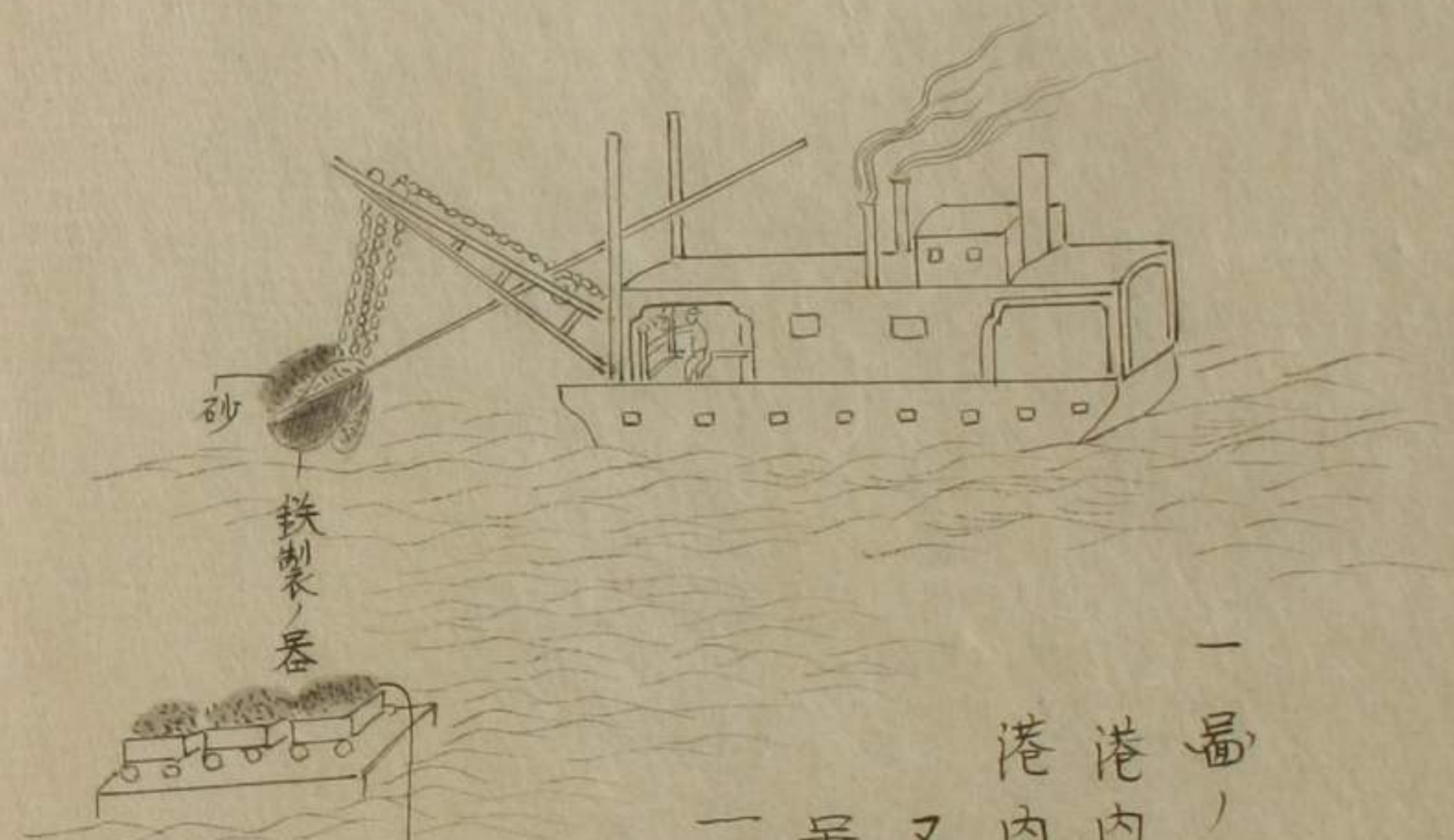
一右鳶裏ノ方モ救十里間峻阻ノ絶壁ニテ立チ木外人家更
 ラニ不見山ノ形勢伊豆国ニ似テ天城山位ノ高山有リ表ノ方
 モ山上ニ大木多クシテ德体ノ地勢我カ国ニ似タリ此節大陽
 頭上ニ光照ニ暑氣甚強ヨケレテ昼夜ノ差別ナク始終風吹
 キ折々微雨降り凌キ方甚安クモ船内ノ暑キト昼夜共寒
 暖計八十度以上ニテ云堪ヘカトシ
 一港ハ畷ノ如クニシテ窄狭く洄多ク出入ノ船ノ目下ニ暗礁
 ノ上ニハ半鐘建テ置キ高波ノ為メ又絶音トテ発シ其外
 木製ノ浮キ又モ繫船ノ左右ニハ大材ノ杭等打チ込ニ有ル

一港内救百石ノ間屈曲ニタル突出シ有之當時突出シ普請中
 ニテ甚弘大ナリ





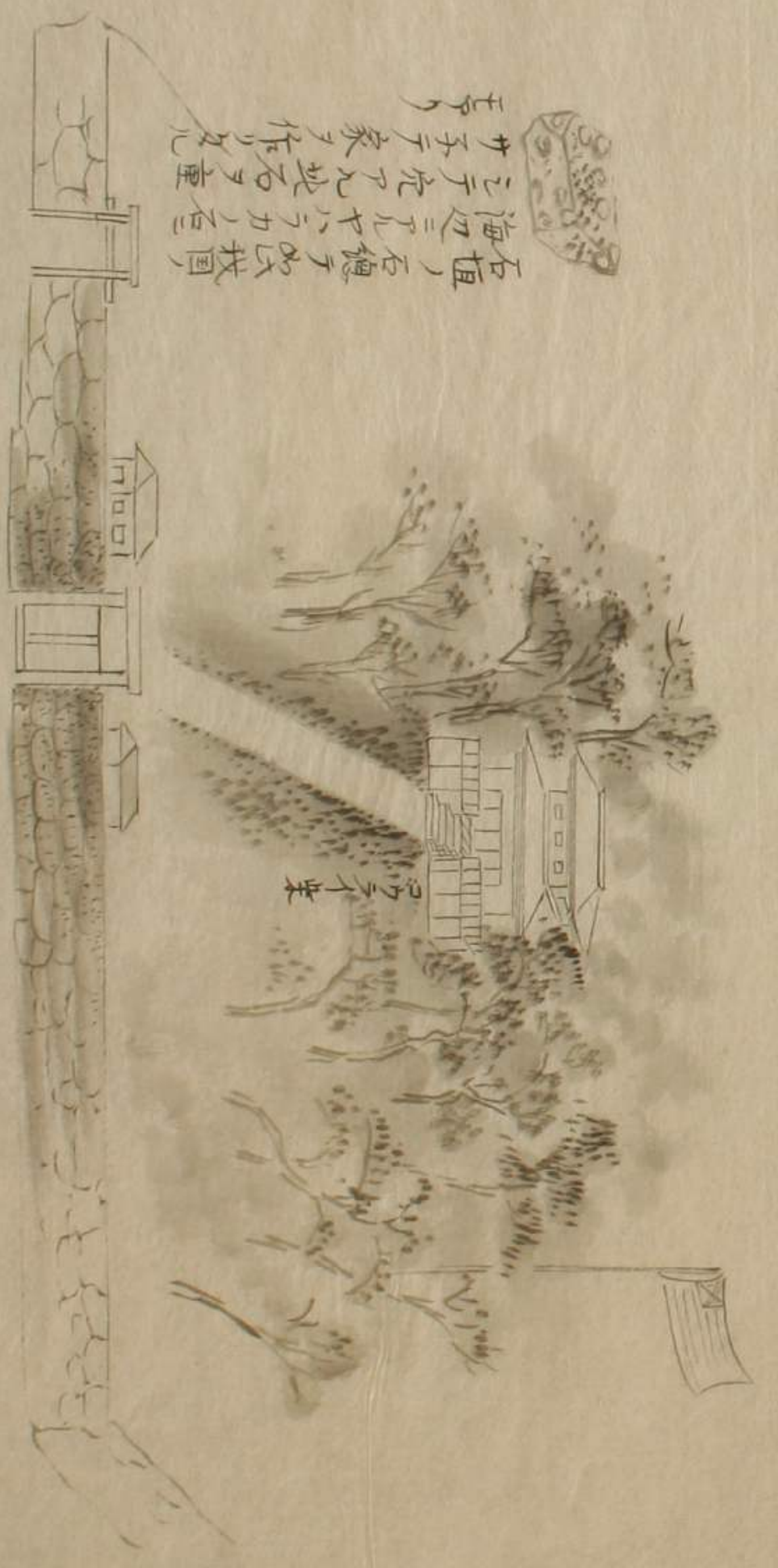
一此大角材ヲ蒸気仕掛ケテロクロ
ヲ以テ高ク引キ揚ケ梯子ノ上テ一人
右杖ノ繩ヲ取リハツヌバ大杖水
底ニキチコマル丁凡ソ四五尺是
ヲ以テ海底ヲヤハラケ
然シテ後チニ砂ヲサラウ



一畚ノ如キ箱中ニ蒸気仕掛ケ有之是ヲ
港内ニシテ置キ水底ノ砂ヲシヤクヒ揚ケ
港内浅キ所ヲホル
又一人ニテ取扱ヒ此「シヨリン」ノ如キ鉄製ノ
器ニテ一度スクリヒ揚ケタル砂カモツカウニ
一杯位

スクリヒ揚ケタル砂ヲ
此箱ニウツス

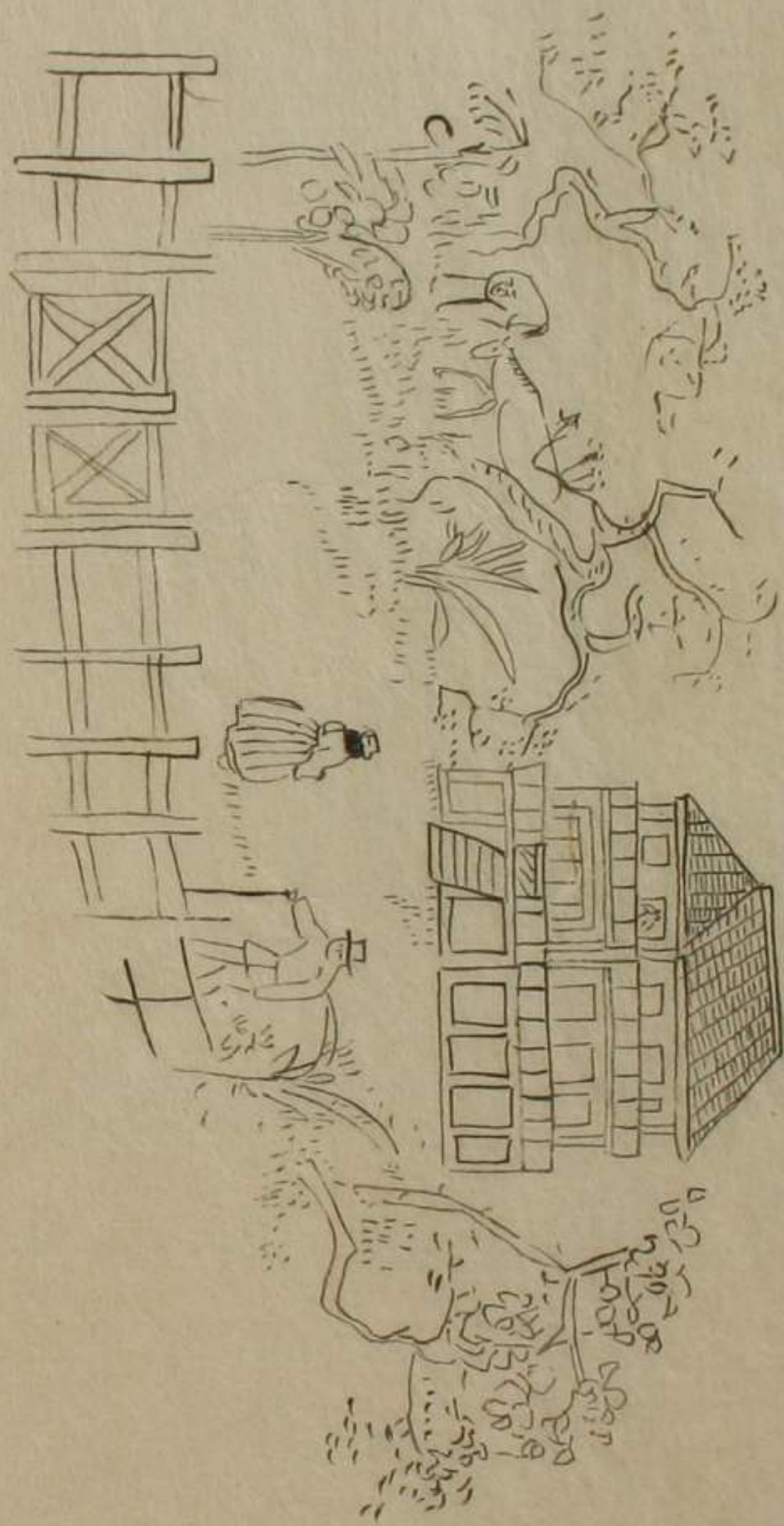
一土人を国王始下人ニシテ男共惣体色黒ク我々国ノ海辺
ニ住ル漁師ノ色黒キ者住ル意味の人多けれどアフリカ国
の人めく黒黒ニテもめ新くめをくちやれとる人少
一役人を英亜其外土人ナシ交り上と下有之
一ヨウロツバヤビア アメリカ其他ノ諸国ノ人此島ニ来リ住
居スル者多シ先年土列ヨリ漂流シタル寅右虫のト云者モ
此島ニ住居候ル由市中高賣屋も大他國の人ニシテ家作
モ吾等所有シとも多クハ受ナリ往來道中度々市中ニ空門内
ニ不入門戸ハ人の出入毎ニ開閉ス



石垣ノ石總テ以故貫
海辺ニルヤハニカノ石ニ
之ヲ穴凡地石ヲ重
サテテ家ヲ作リ及
テ

石ノ不柴

一英佛亜蘭其外支那ヨリ北国ニ来リ住居スル人ハ何レモ別
 荘有之昼ハ市中ニ出テ商賣ヲナシセツ時迄頃ヨリ別荘ニ
 歸ル別荘ハ何レモ田舎或ハ町ハツレノ見ハラシノヨキ所
 有ル





一板屋作りハ多分歩
位ノ者ノ住宅ナルニ

土民住宅是ヲ遠見スル
ハ故カ國の民家ニ
替ルニナシ

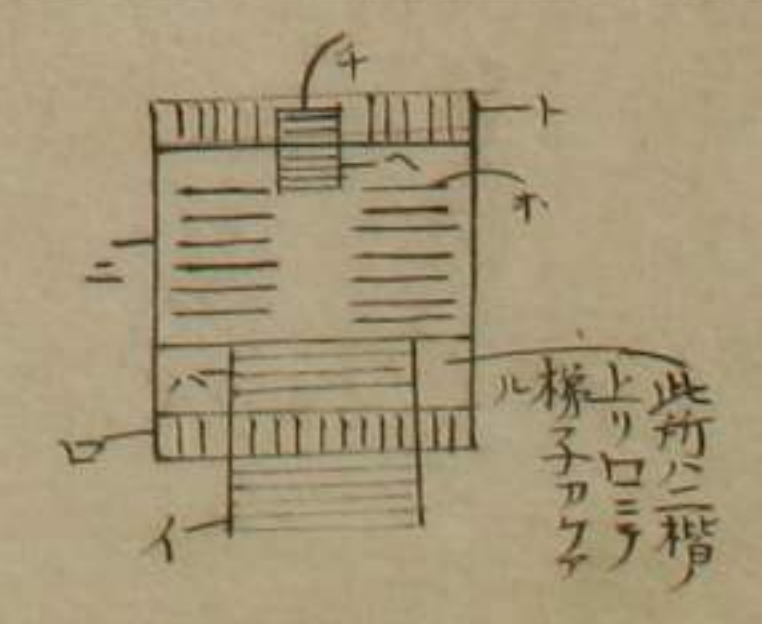
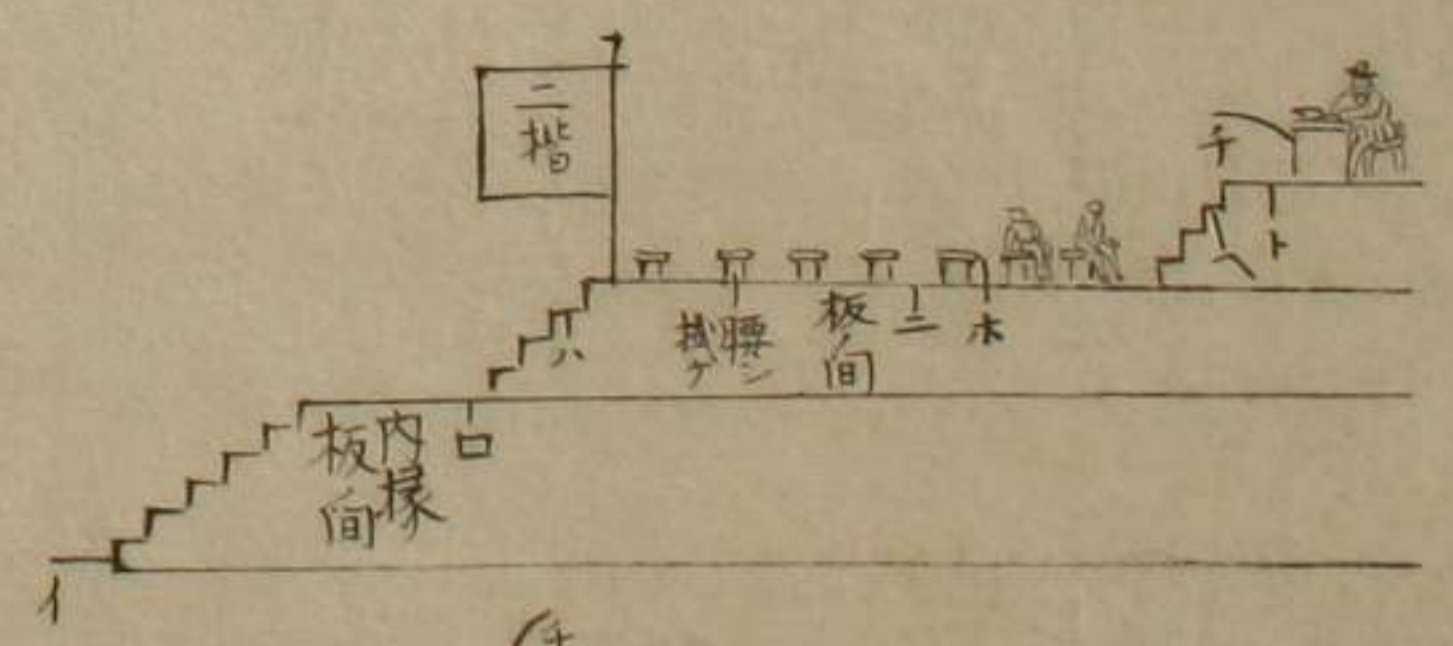
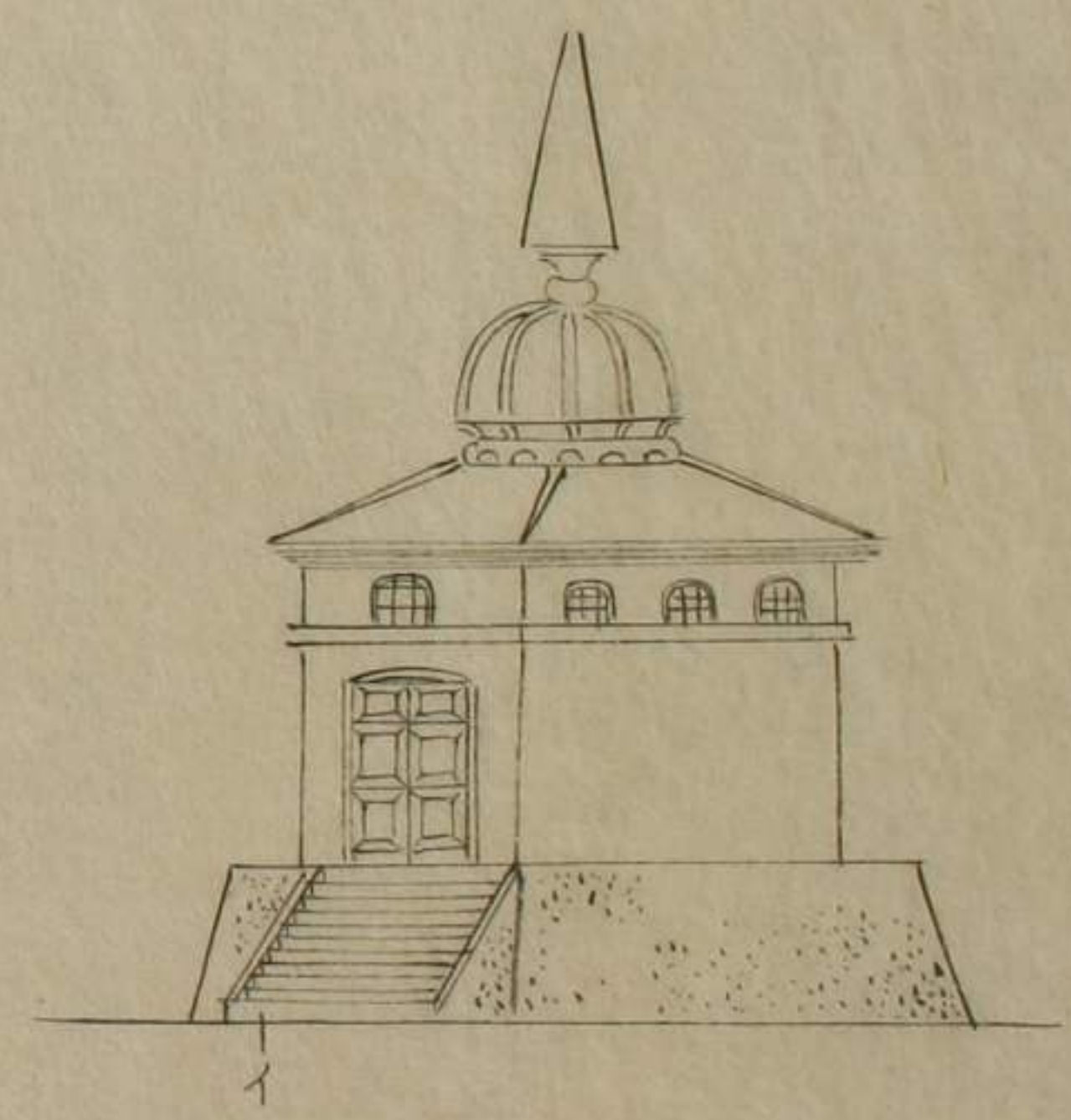


一此節当海岸埋立中ニ付是レニ老フ人足ハ何レモ眾人ノ由ニ
る働ラキヲ急タルハ付漆ノ役人其人足ヲムキキツテ
歳ナリ是ヲ夜分ハ呼集メ牢屋ニ入レ昼ハ人足ニ老フ由牢
中ニ又婦人ノ罪人有之是ニハ縫物を為被至男女共働ラキ
ノ多少ニ依リ出牢ノ日救も右ニ應マル由右牢屋ヲ遠見ス
ルニ徳テ歳季ノ作り方ニテ歩平守之門又大ナル大番を
為シ罪人若シ逃去ルハ此大喰ヒ付ク由之



一諸人ニ時刻ヲ知ラセンガ為メ市中ニ如番高サ十間前後ニ
四五間四面ノ大サナル堂アリ是上ニ時計仕掛ケ置クナリ

一寺院ノ如リ僧官ノ説法スル大ナル堂アリ内外甚矣ナリ



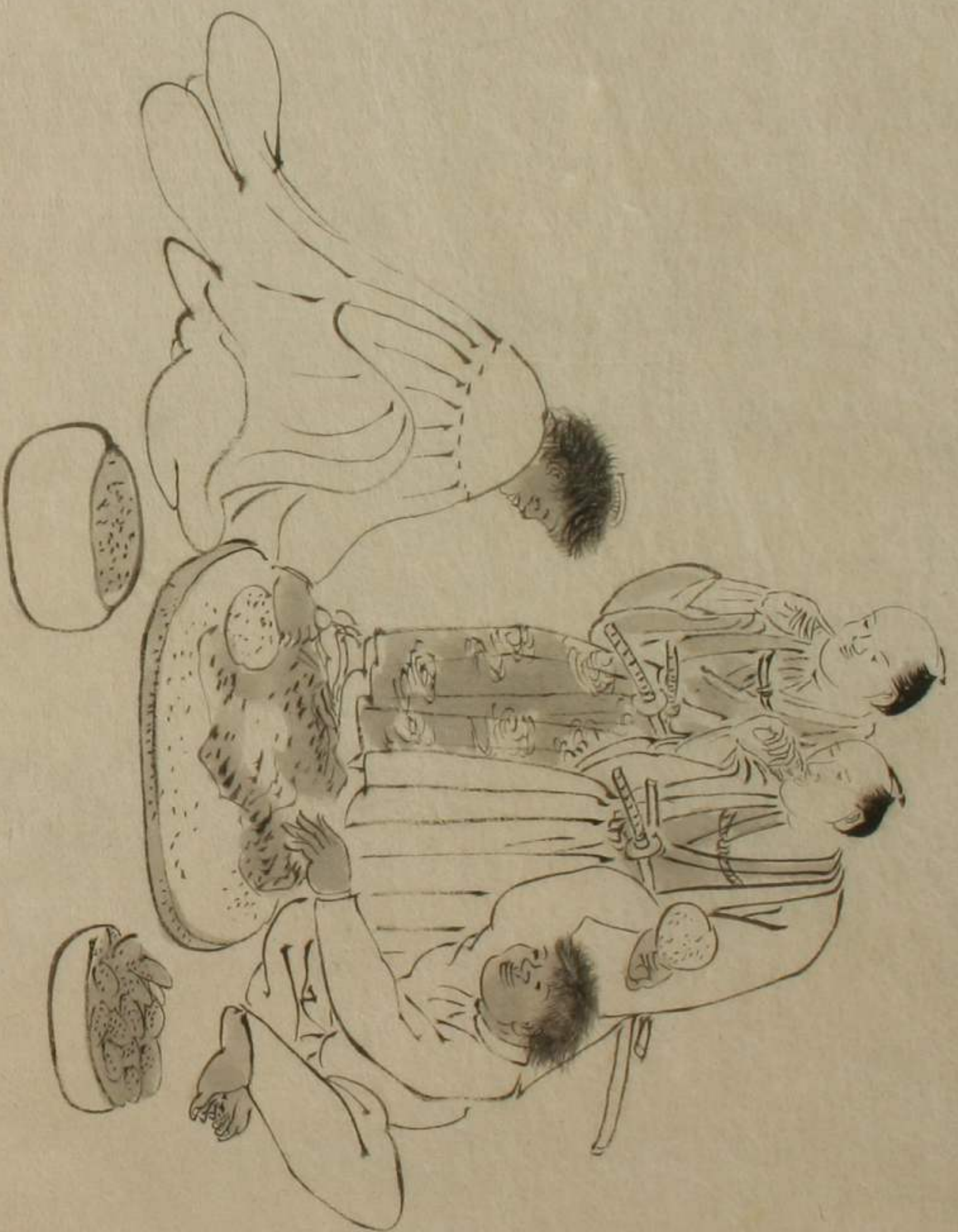
一女子ノ控ヒラサス為メ木ノ枝ヨリ細或ハ鎖ヲサケ置ク



十二位ノ女子

七ヤ計ノ女子

一水中ニ生ヅタル里芋ニ似タル芋ヲクサリカ
 之是ヲ如曇石ニテ搗春チ煉リテゼ真俵
 喰フ



草花ヲ細糸ニ
 通シ頭ニ懸ル



一町外ニ小川アリ土民男女共此川ニテ游泳スルヲ見ルニ
 女子陰部ヲカクサズ我等是ヲ見ルニ目ヲハナサズ見テ居ル
 時ハ其陰部ヲ掩藏スレ共長ガキニ堪ヘズ直キニテ放シ又
 ハ水中ニクバリ折ク頭ヲ出シテ岩石ノ蔭ナゾヨリ顔ヲ出
 シ大聲ヲ発シ物ヲ云フ





一椰子ノ木多シ此木梭桐ニ似テ大ナル實生ル此實ノ中カニ
 アマキ水アリ乳ノ味ニ似タリ又内面ニ白ロキミアリ味ハ
 クルミノ如ク左ノ図ノ如シ

水
 ミ
 内カハ邊ハ甚カキ極ノ
 木ノ如シ
 外トカハ

一此国ノ芭蕉ハ小木ニテモ尽ク實生ル是ヲ土人賣買スル其
 日増シノマクハ瓜ノ味ニ似タリ



並ニ似タル草
 是ニ花紅白アリ是ヲ
 庭ニ造リ置ク



一サイカチノ如キ葉ノ大木多シ葉甚小ニシテ木形リ甚宜シク
 園ノ如シ



- 一 芙蓉花 是ハ我國ノモノヨリ
- 一 花芭蕉
- 一 サホテン 是ハ何レモ大キクニテ
- 一 センダムン 赤キ花アリ
- 一 シムレ 柀
- 一 檉木ニ似タル木
- 一 スワウノ木
- 右ノ外不知木アリ

- 一 ユウセン花
- 一 フシロイ
- 一 シウ會トウ 何レモ花盛リ

- 一 西瓜 是ハ我が國ノ西瓜ニ似タルモアリ又因ノ如クシテ色白ミヲオビタルモアリ青キモアル味甚宜シ



- 一 マクワ瓜 是ハ大キクシテ少シモ

- 一 トウナス
- 一 大根 形ハ少シ小シ味
- 一 菜
- 一 木瓜
- 一 トウガラシ 是ハ大木ニテ年中
- 一 里芋 是ハ田ノ中ニ造リ
- 一 サツマ芋 是ハ田ノ中ニ造リ
- 一 茄子 此木年中カ

右ノ外草木ノ實ニ不知モノアリ年中暖國故欽西瓜具外ノモノニ年中生リ有ルモノアリト云フ



一鶏

一家鴨

一鶴

右ノ外鳥類ヲ不見

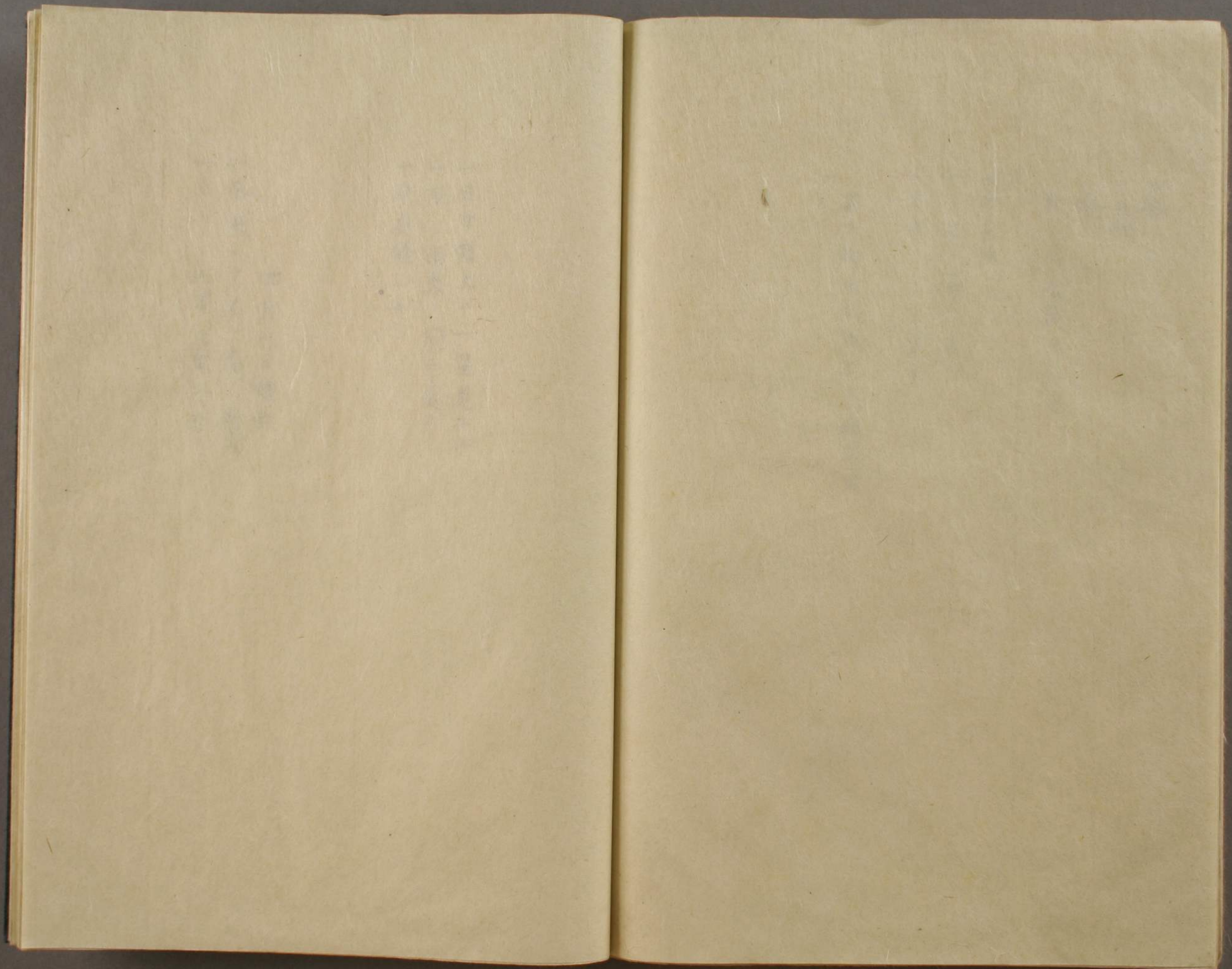
一キン魚

一トビノ魚

一イナ

多シ

右ノ外不知魚二三種見ル



一日中頭上ニ一星見ユル
一凡南東ノ間ニ變ヌ
一今夜晴レル

四月八日晴天
一風東ノ左右ニ度々變ル
一口ノ五里六里七里

一春正月浦賀出帆以來大鷲沖辺ヨリ「サンフランシスコ」迄ノ
洋中又同所出船昨日迄日々馬鹿鳥ヲ不見日ナシ然ルニ今
日ハ此鳥ヲ不見外ニ畚ノ如キ鳥多シ



大キサ鳩ヨリ少シ大ナリ

一今日ハ是レ迄不見異鳥ヲ見ル此鳥空中高キヲ飛ビ其大サ
ノヨリ大ナリ羽色ハ不分明腹白シ



尾ヲ開ラシキハ如畚

一午前後共ニ微雨降レ氏 甲板上不湿
一方向 西半南
一夜ニ入口ヲ 五六七八里
一折々微雨降り来ル

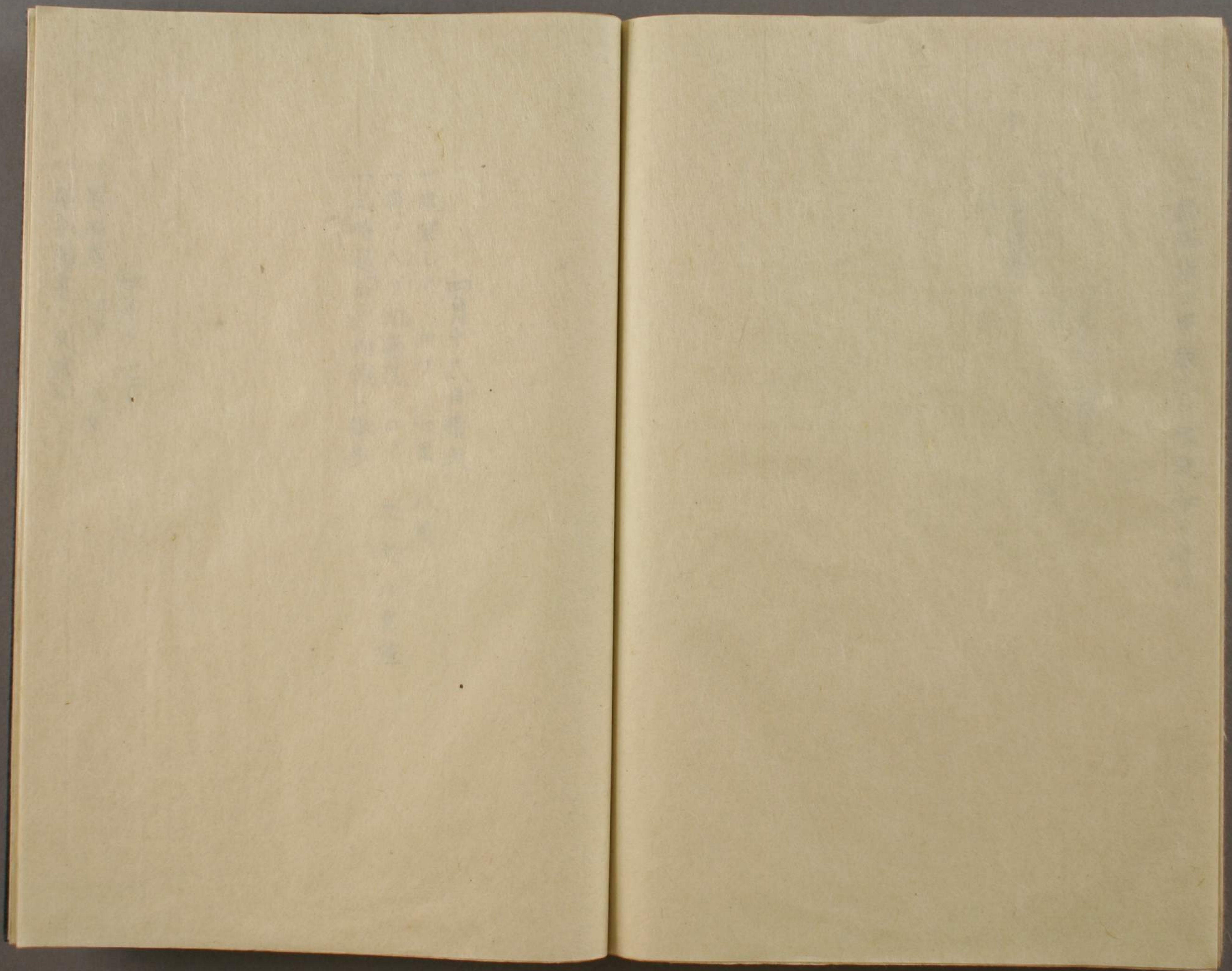
一 動搖強ク甲板上ニ水波打キ込ム

四月九日晴天

一口フ 八里 七里 六里

一 今夜晴レ

一口フ 七里



四月十六日晴天

一 風宜シク 口フ 七里

一 夜ニ入り 風適度 口フ

一 三時過 ホシ雨 誠ニ 微少

八里

九七 八里強

四月十七日

一 風適度 口フ 八里

一 夜久薄曇り又晴ル

一風適宜十外 口フ 九里十里弱
 一十時ホイ来ル
 一異鳥ヲ見ル形子見外宜シカラス大サ一ヨリ少シ小ナリ如
 番



一夜晴ル
 一口フ 六里半 五里

四月廿三日晴天

一風少ク
 一口フ 五里前後
 一夕刻鶴ニ似タル鳥「ベサーン」スホーム「来ル」
 上ニ宿ス
 一夜晴ル



後千ニ「ヤクホー」

一風次才ニ風ル
一口フ 三里 四里

四月廿五日
一西ノ方ニ当テ龍巻ル空中ニ黒雲起リ其雲ノ中カヨリ白
布ヲサケタル如ク白キモノ下カル



一風且依之今朝七時五十四分蒸氣ヲ発ス
一風十云
一口フ 六里
一寒暖計 八十七度
一蒸氣部屋ハ百十六度
一午後五時過「ホ」末リ雨甚微少降ル
一今夜晴ル

